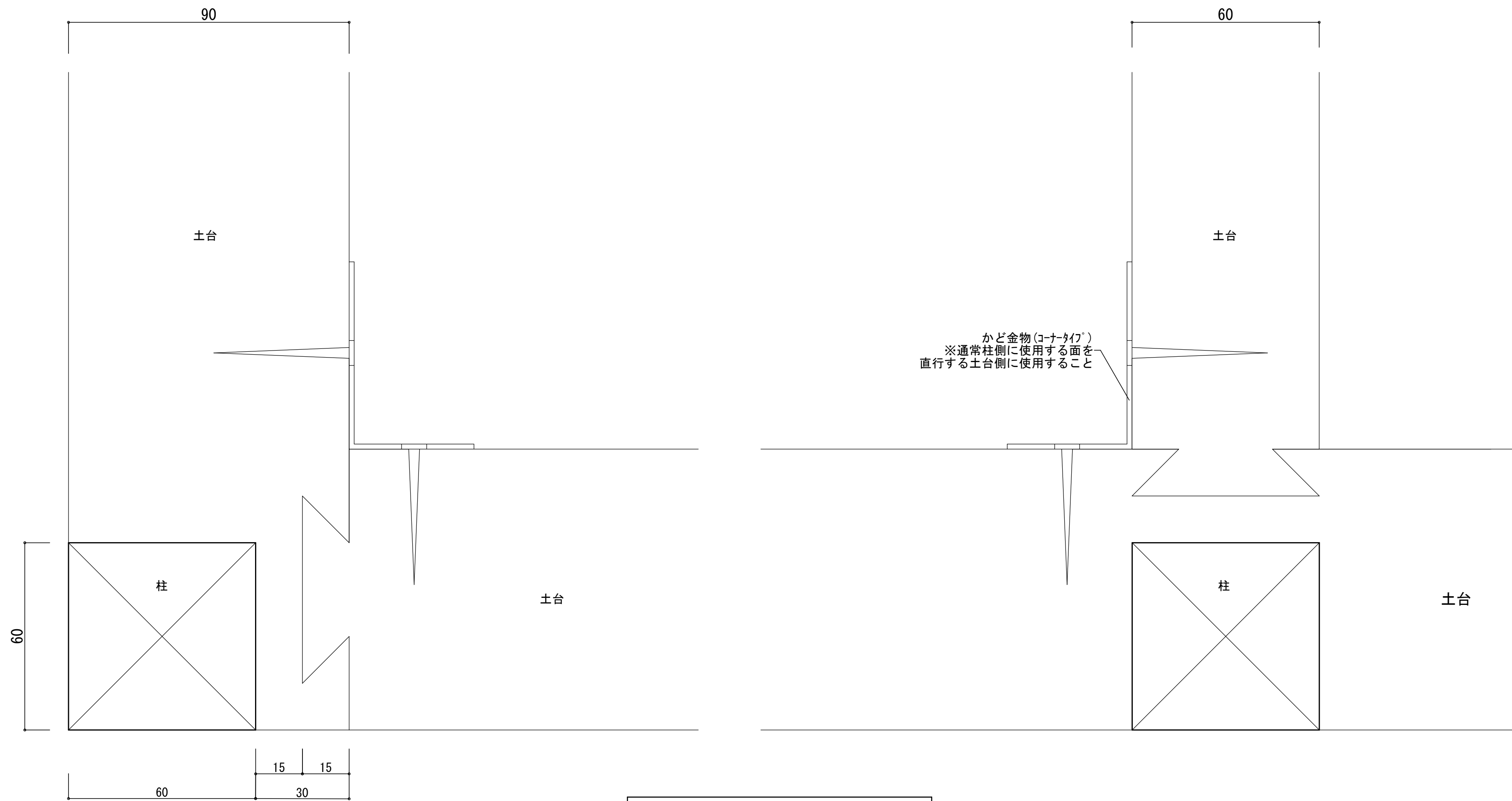
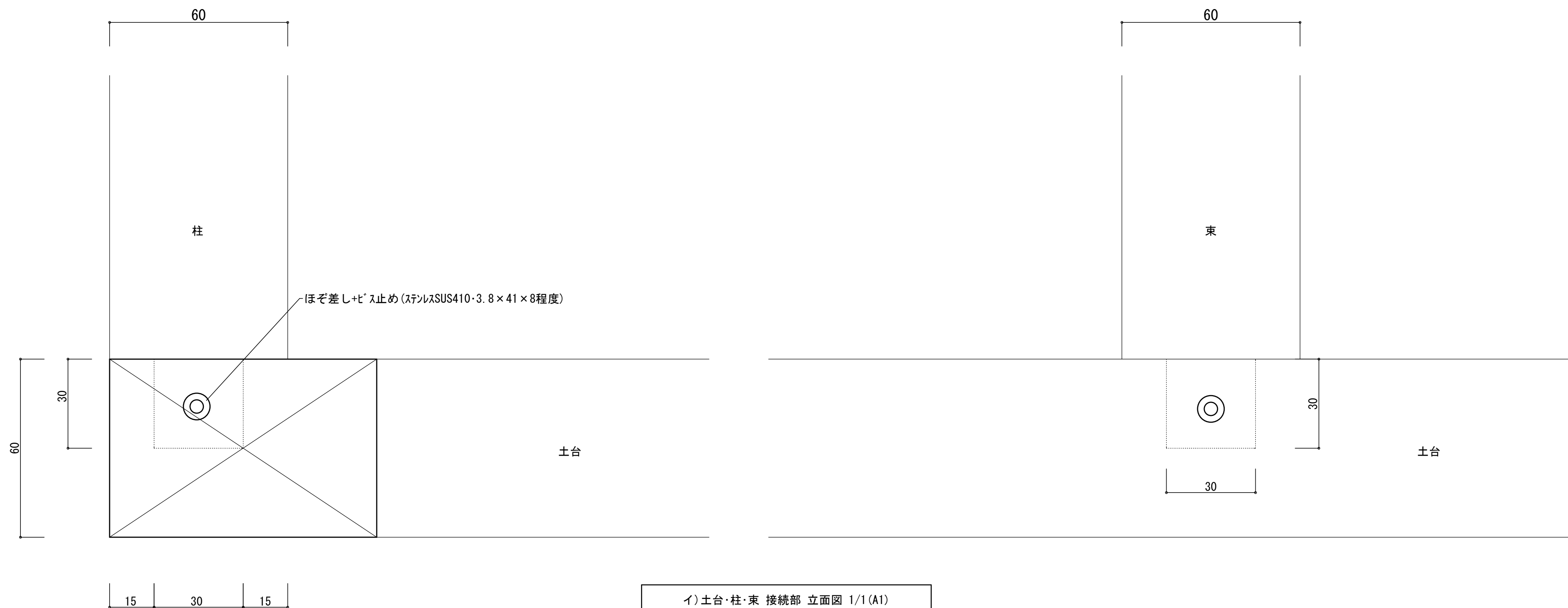
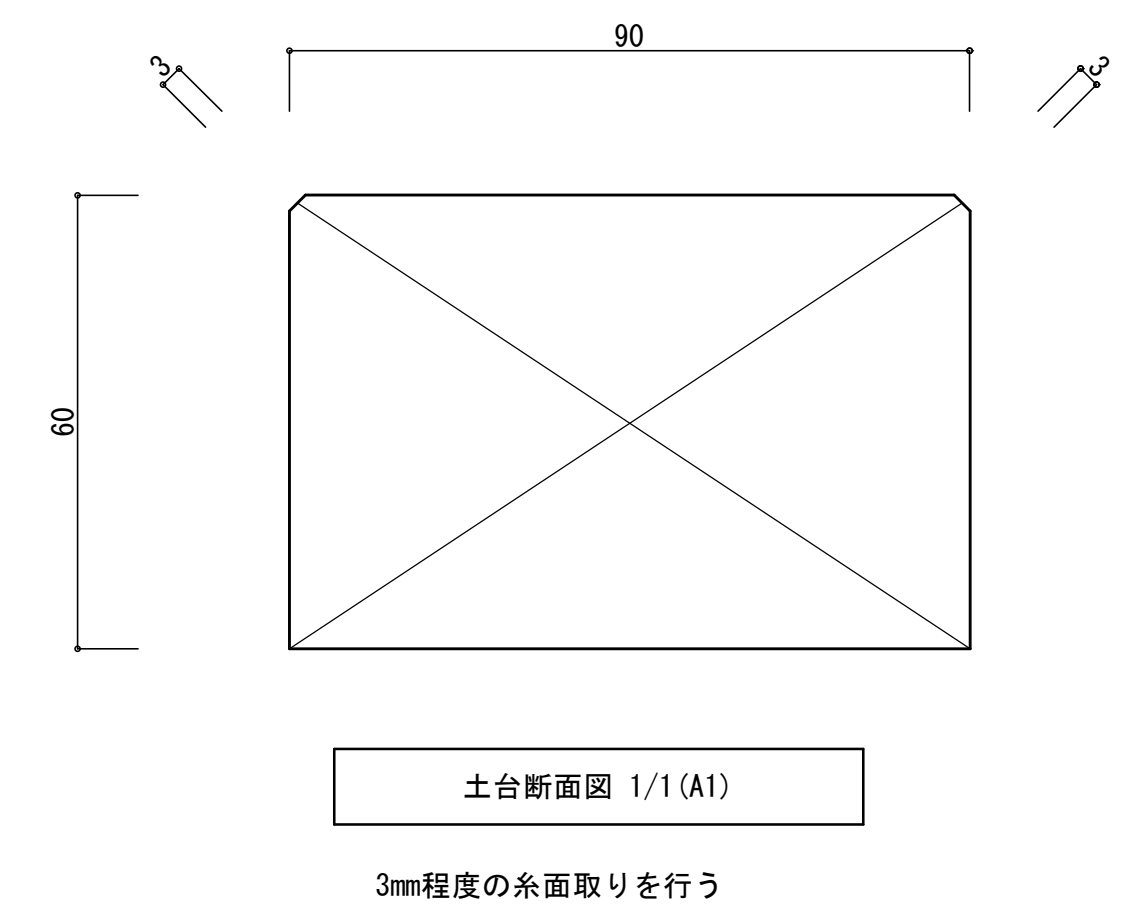
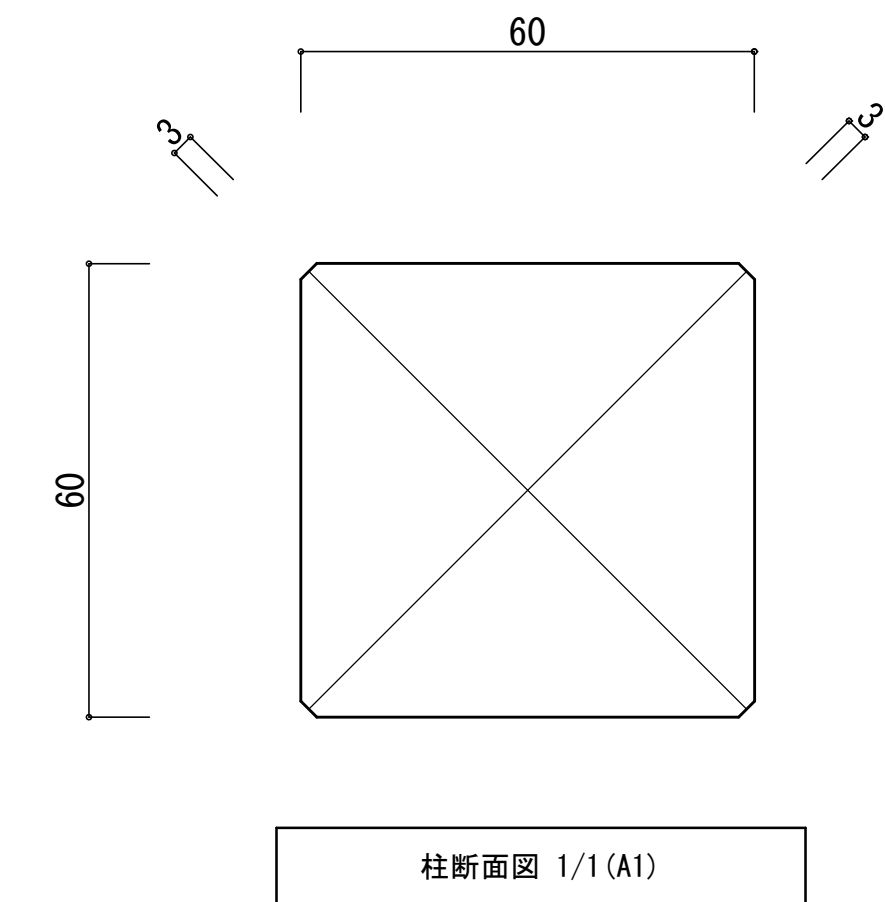


仮設計画図  
S = 1/100(A1)・1/200(A3)

<p>(1) 高台Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ下部で耐力壁とする合板の張り方</p> <p>【高台Ⅰ】</p>	<p>(2) 照明器具を仕込む箇所で耐力壁とする合板の張り方</p>	<p>(3) 照明器具を仕込む箇所で耐力壁としない合板の張り方</p>	<p>(4) 高台Ⅰ下部 柱間の合板の張り方</p>	<p>(5) 高台Ⅱ・Ⅲ下部、絵本スペースの外周部側板の合板の張り方</p> <p>【高台Ⅱ・Ⅲ】</p> <p>図の寸法は高台Ⅱの寸法とする</p> <p>【絵本スペース】</p>
<p>【高台Ⅱ・Ⅲ】</p> <p>釘のピッチはN50@150以下とする 耐力壁の両端柱と土台(床梁)の接合部はかど金物(コーナータイプ)を使用する アンカーボルトは耐力壁の左右近辺と外周部四隅に施工し、柱芯より150~200mm以内で施工する 耐力壁としない表面の合板の釘ピッチは倍とする 図の寸法は高台Ⅰの場合の寸法とする</p>	<p>(7) 倉庫の合板の張り方(Y方向・外側)</p> <p>(8) 倉庫の合板の張り方(Y方向・内側)(X方向t12合板)</p> <p>(9) 倉庫の合板の張り方(GB-R t12.5)</p>	<p>(10) 展示室の合板の張り方</p> <p>釘のピッチはN50@150以下とする 耐力壁の両端柱と土台(床梁)の接合部はt12/OK同等品を使用する アンカーボルトは柱芯より150~200mm以内で施工する 指示のある柱(柱H)にはアンカーボルトとホルダウ金物を用いて、既存土間コンクリートに緊結する</p>		
<p>(6) 絵本スペース合板の張り方</p> <p>釘のピッチはN50@150以下とする 耐力壁の両端柱と土台(床梁)の接合部はかど金物(コーナータイプ)を使用する アンカーボルトは耐力壁の左右近辺と外周部四隅に施工し、柱芯より150~200mm以内で施工する 耐力壁としない表面の合板の釘ピッチは倍とする</p>	<p>(7) 倉庫の合板の張り方(Y方向・外側)</p>	<p>(8) 倉庫の合板の張り方(Y方向・内側)(X方向t12合板)</p>	<p>(9) 倉庫の合板の張り方(GB-R t12.5)</p>	<p>(10) 展示室の合板の張り方</p>
<p>(6) 絵本スペース合板の張り方</p> <p>釘のピッチはN50@150以下とする 耐力壁の両端柱と土台(床梁)の接合部はかど金物(コーナータイプ)を使用する アンカーボルトは耐力壁の左右近辺と外周部四隅に施工し、柱芯より150~200mm以内で施工する 耐力壁としない表面の合板の釘ピッチは倍とする</p>	<p>(7) 倉庫の合板の張り方(Y方向・外側)</p> <p>釘のピッチはN50@150以下とする アンカーボルトは柱芯より150~200mm以内で施工する</p>	<p>(8) 倉庫の合板の張り方(Y方向・内側)(X方向t12合板)</p> <p>釘のピッチは外周部: @200、中間部: @300程度とする アンカーボルトは柱芯より150~200mm以内で施工する 指示のある柱(柱H)にはアンカーボルトとホルダウ金物を用いて、既存土間コンクリートに緊結する</p>	<p>(9) 倉庫の合板の張り方(GB-R t12.5)</p> <p>釘のピッチは@150以下とする アンカーボルトは柱芯より150~200mm以内で施工する</p>	<p>(10) 展示室の合板の張り方</p> <p>釘のピッチはN50@150以下とする 耐力壁の両端柱と土台(床梁)の接合部はt12/OK同等品を使用する アンカーボルトは柱芯より150~200mm以内で施工する 指示のある柱(柱H)にはアンカーボルトとホルダウ金物を用いて、既存土間コンクリートに緊結する</p>

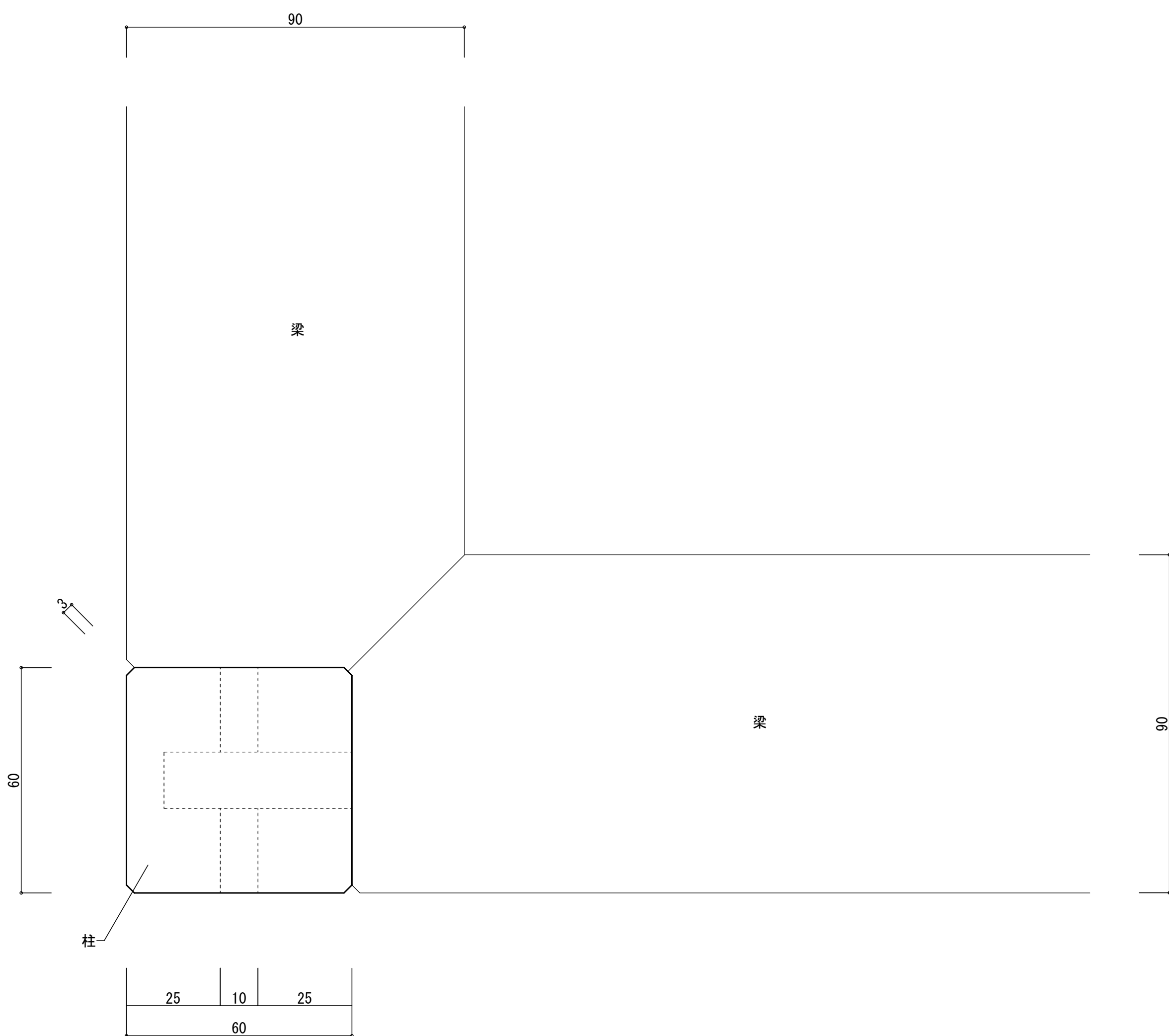


イ) 土台・柱 接続部 平面図 1/1 (A1)

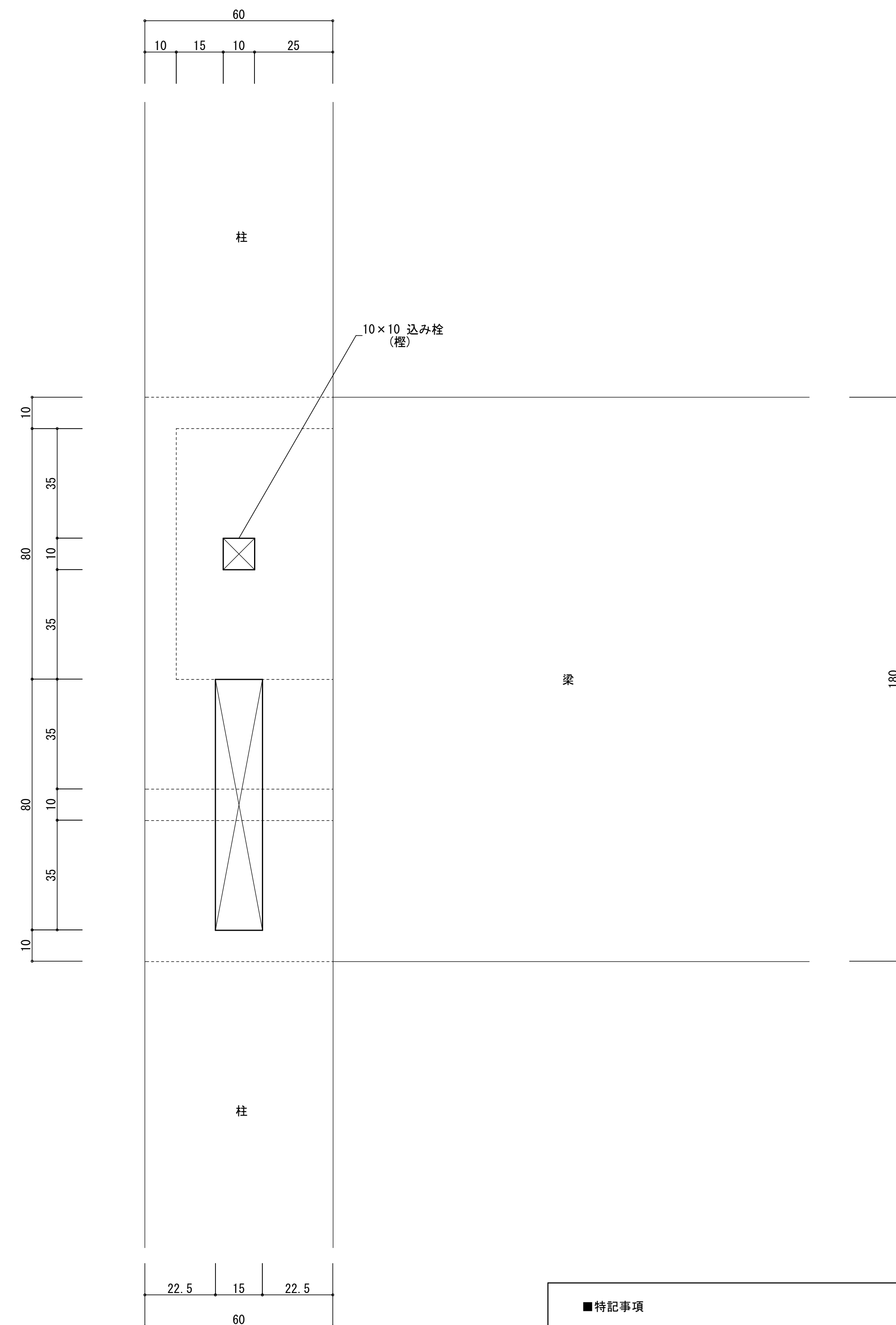


イ) 土台・柱・束 接続部 立面図 1/1 (A1)

■特記事項  
 柱、梁、土台・手摺は全てヒノキ材(三重県産)、束は杉材(三重県産)とする  
 見えがかりとなる柱・手摺は、ヒノキ・上小節以上とする  
 込み栓は、見えがかりとなる梁と柱の接合部に設ける  
 見えがかりにならない梁と柱の接合部は、ほぞ差し+1'止めとする  
 土台と柱の接合部は、ほぞ差し+1'止めとする  
 見えがかりとなる部材は3mm程度の糸面取りを行う

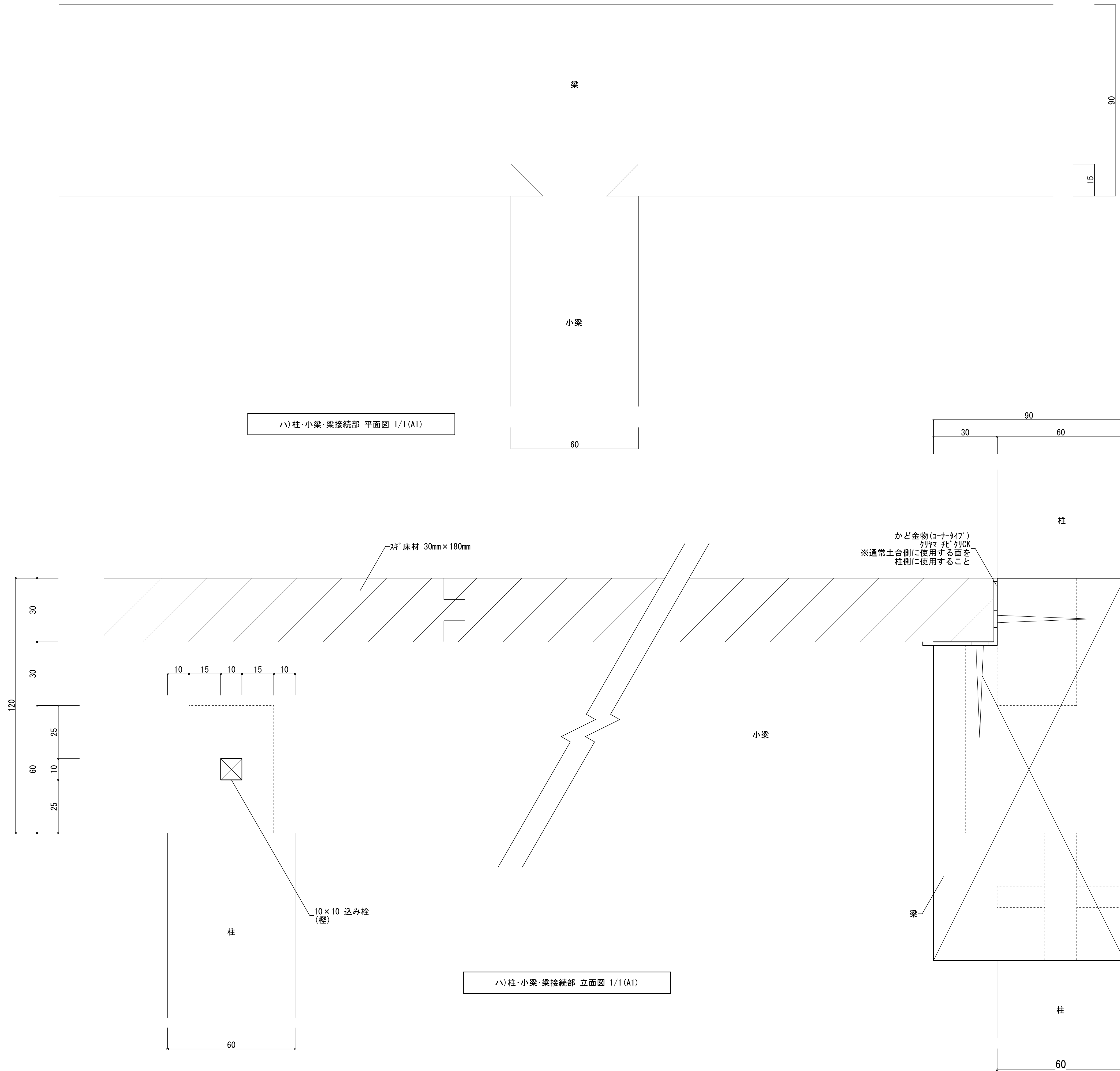


□) 柱・梁接続部 平面図 1/1 (A1)



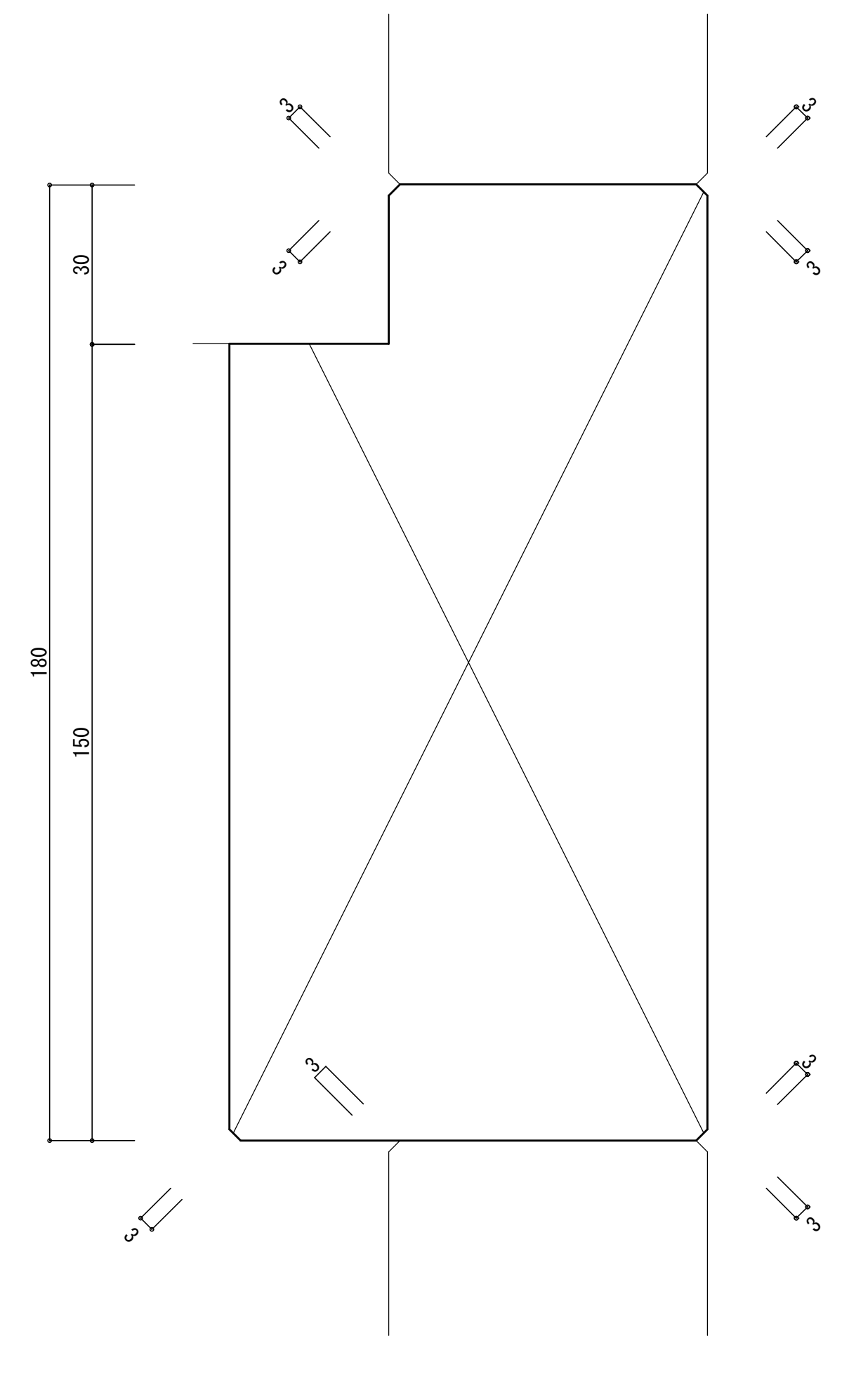
□) 柱・梁接続部 立面図 1/1 (A1)

■特記事項  
 柱、梁、土台・手摺は全てヒノキ材(三重県産)、束は杉材(三重県産)とする  
 見えがかりとなる柱・手摺は、ヒノキ・上小節以上とする  
 込み栓は、見えがかりとなる梁と柱の接合部に設ける  
 見えがかりにならない梁と柱の接合部は、ほぞ差し+ビス止めとする  
 見えがかりとなる部材は3mm程度の糸面取りを行う



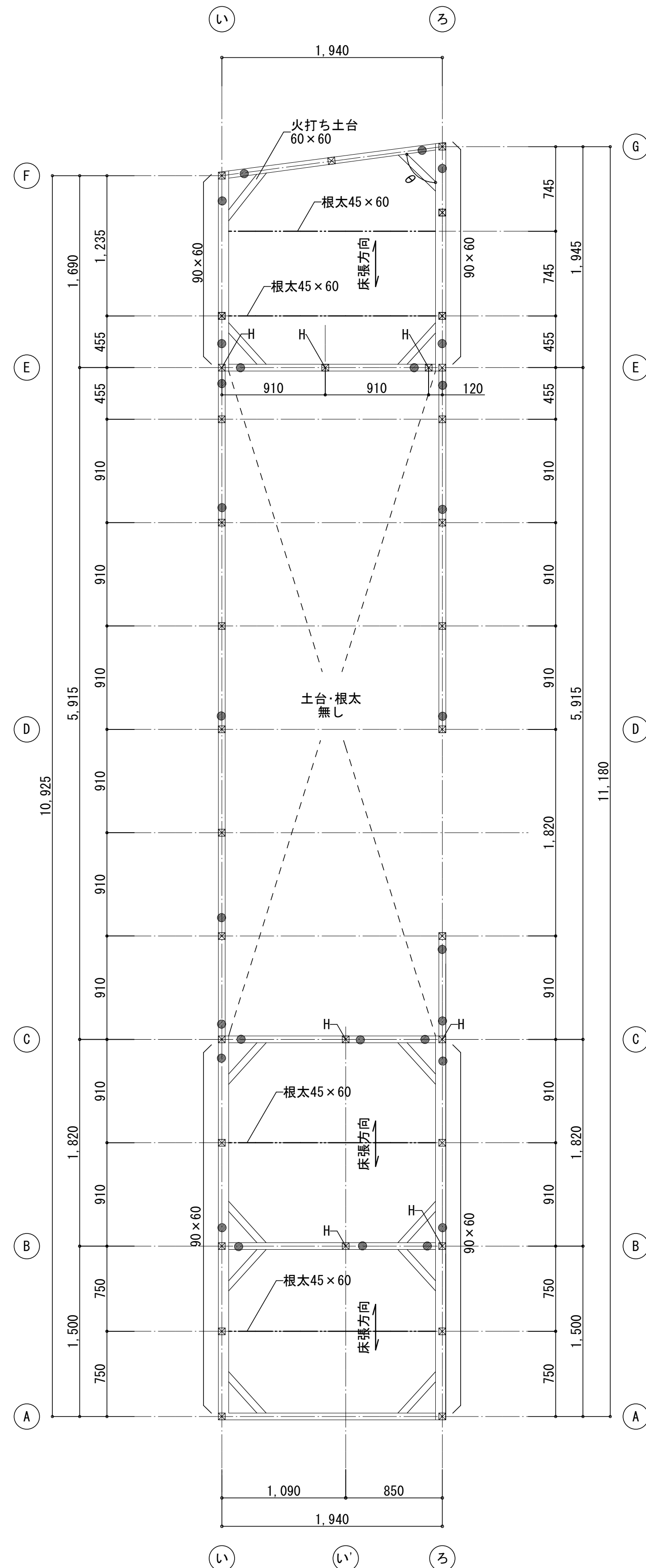
ハ) 柱・小梁・梁接続部 平面図 1/1 (A1)

ハ) 柱・小梁・梁接続部 立面図 1/1 (A1)



梁断面図 S=1/1 (A1)

■特記事項  
 柱、梁、土台・手摺は全てヒノキ材(三重県産)、束はスチ材(三重県産)とする  
 見えがかりとなる柱・手摺は、ヒノキ上小節以上とする  
 込み桎は、見えがかりとなる梁と柱の接合部に設ける  
 見えがかりにならない梁と柱の接合部は、ほぞ差し+ビス止めとする  
 見えがかりとなる部材は3mm程度の糸面取りを行う

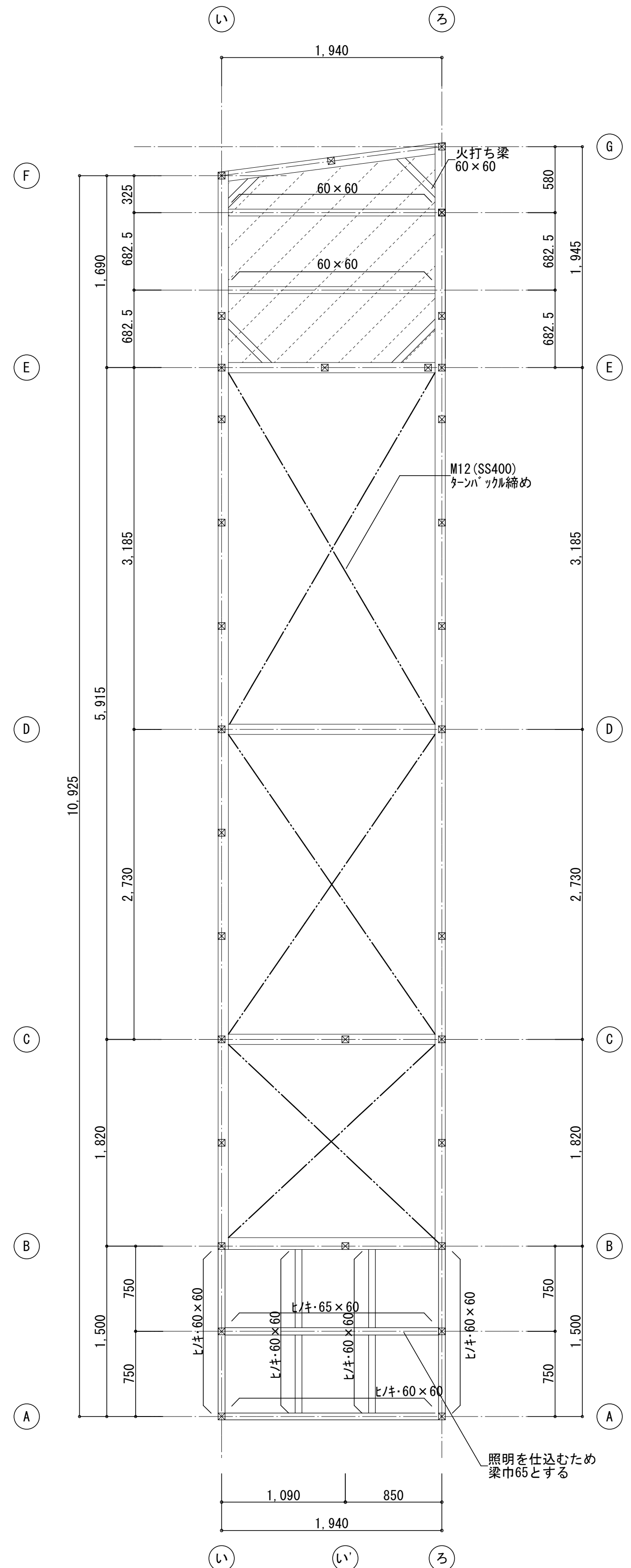


土台伏図 S=1/30 (A1)

θは現場合わせとする

**特記事項**

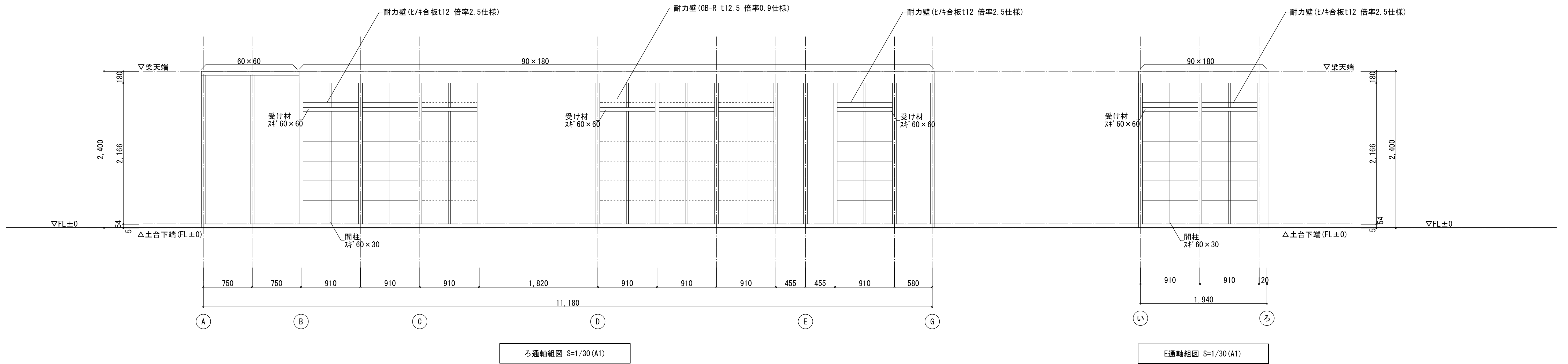
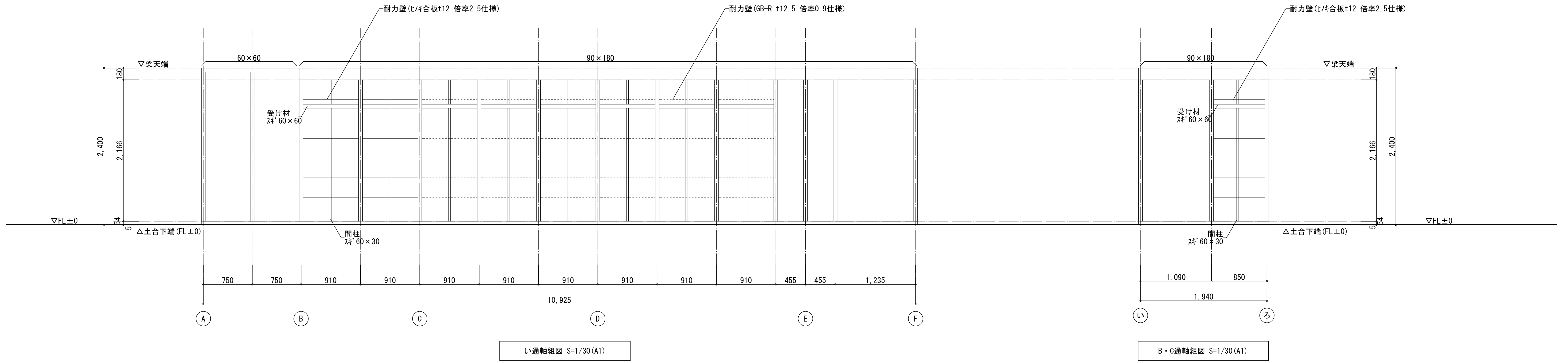
- ☒ 印は、上部柱 (スチール・無等級以上) 60×60を示す
- 印は、根太 (スチール・無等級以上) 45×60を示す
- 特記無き土台 (スチール・無等級以上) は60×60を示す
- 土台下は敷きモルタルを施す
- 火打土台は60×60 (スチール・無等級以上) とする
- 印は、接着系後施工アンカ-M12用 L=60 (接着系) を示す
- アンカ-M12は土台両端部・接合部・耐力壁端部・及び1.8m以内の間隔で配置すること
- 柱Hはアンカ-M12と引抜耐力10kN以上ネジ・ワシ物を用いて既存土間コンクリートに緊結すること (7箇所)
- アンカ-M12が施工不可と思われる場合は監督員と協議すること

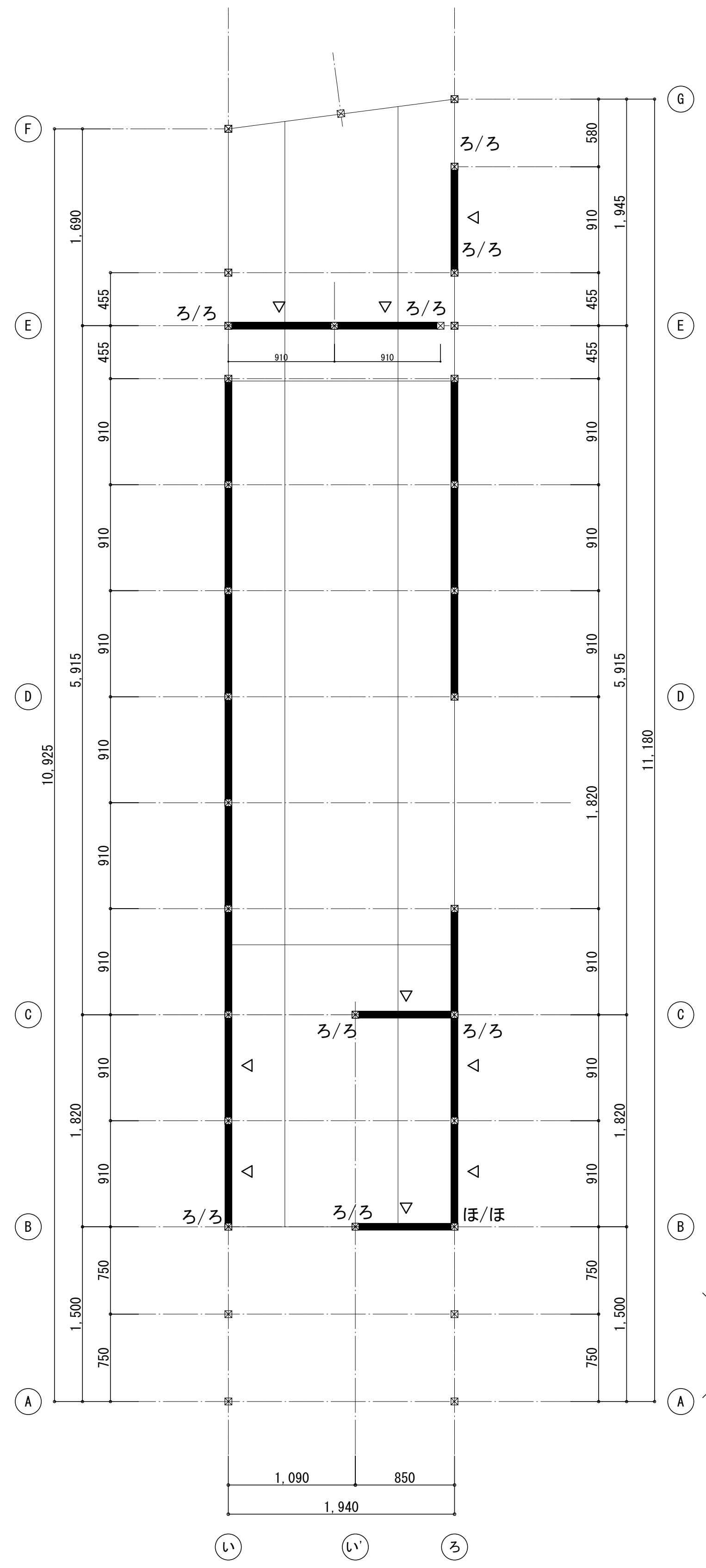


梁伏図 S=1/30 (A1)

**特記事項**

- ☒ 印は、下部柱 (スチール・無等級以上) 60×60を示す
- 印は、鉄筋ブレースを示す
- は、梁を示す
- 特記なき梁はスチール (無等級以上・90×180) とする
- 見えがかりとなる梁60×60-65×60は、スチール上小節以上とする
- 火打梁は60×60 (スチール・無等級以上) とする
- 網掛けの範囲は梁上にヒキ合板 t12を施す





A~A通  
土台・柱の接合部は  
接合詳細図(イ)参照

金物指示図 S=1/30(A1)

1階必要壁量の計算 [面積(m<sup>2</sup>), 壁長・壁量(cm)]

必要壁量(地震力)		
床面積	係数	必要壁量
18.54	11.00	203.94

1階存在壁量の計算

軸組の種類	存在壁量(X方向)				存在壁量(Y方向)				
	壁長	個所	倍率	存在壁量	壁長	個所	倍率	存在壁量	
構造用合板壁 2.5	91.00	2	2.50	455.00	91.00	5	2.50	1137.50	
構造用合板壁 2.5	85.00	2	2.50	425.00					
石膏ボード 0.9					91.00	10	0.90	819.00	
	合計				880.00	合計			
					判定	OK			

1階側端部分必要壁量の計算

必要壁量(X方向)						必要壁量(Y方向)					
側端部分(上)			側端部分(下)			側端部分(左)			側端部分(右)		
床面積	係数	必要壁量	床面積	係数	必要壁量	床面積	係数	必要壁量	床面積	係数	必要壁量
4.45	11.00	48.95	4.70	11.00	51.70	4.59	11.00	50.49	4.68	11.00	51.48

1階側端部分存在壁量の計算

存在壁量(X方向)						存在壁量(Y方向)									
側端部分(上)			側端部分(下)			側端部分(左)			側端部分(右)						
壁長	個所	倍率	存在壁量	壁長	個所	倍率	存在壁量	壁長	個所	倍率	存在壁量	壁長	個所	倍率	存在壁量
91.00	2	2.50	455.00	85.00	2	2.50	425.00	91.00	2	2.50	455.00	91.00	3	2.50	682.50
								91.00	6	0.90	491.40	91.00	4	0.90	327.60
合計			455.00	合計			425.00	合計			946.40	合計			1010.10

1階壁充足率の計算

壁充足率(X方向)						壁充足率(Y方向)					
側端部分(上)			側端部分(下)			側端部分(左)			側端部分(右)		
存在壁量	必要壁量	壁充足率	存在壁量	必要壁量	壁充足率	存在壁量	必要壁量	壁充足率	存在壁量	必要壁量	壁充足率
455.00	48.95	9.29	425.00	51.70	8.22	946.40	50.49	18.74	1010.10	51.48	19.62

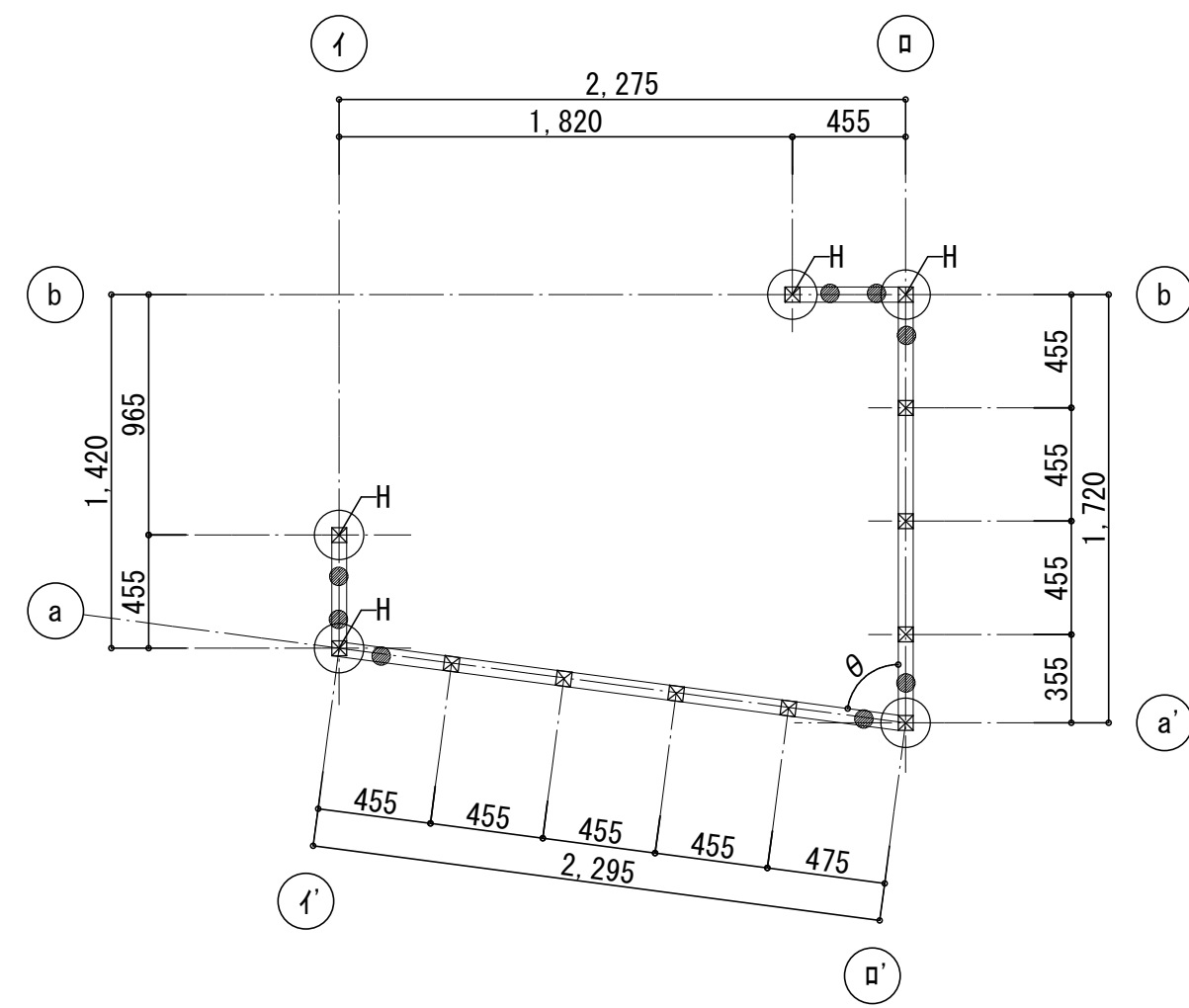
(備考)  
・側端部の壁充足率が全て1を超えているので壁率比の検討は不要です。

**特記事項**

- ろ/ろ : 柱頭金物 / 柱脚金物
- ▽ : 耐力壁(t/合板 t12・壁倍率2.5倍)を示す
- : 耐力壁(GB-R t12.5・壁倍率0.9倍)を示す
- ( )内は短期許容引張耐力を示す
- ろ : かど金物(コナイク)クヤマ 片クICK (3.6kN)同等品
- ほ : かど金物(コナイク)ハイフリーガムコーナ(8.8kN)同等品

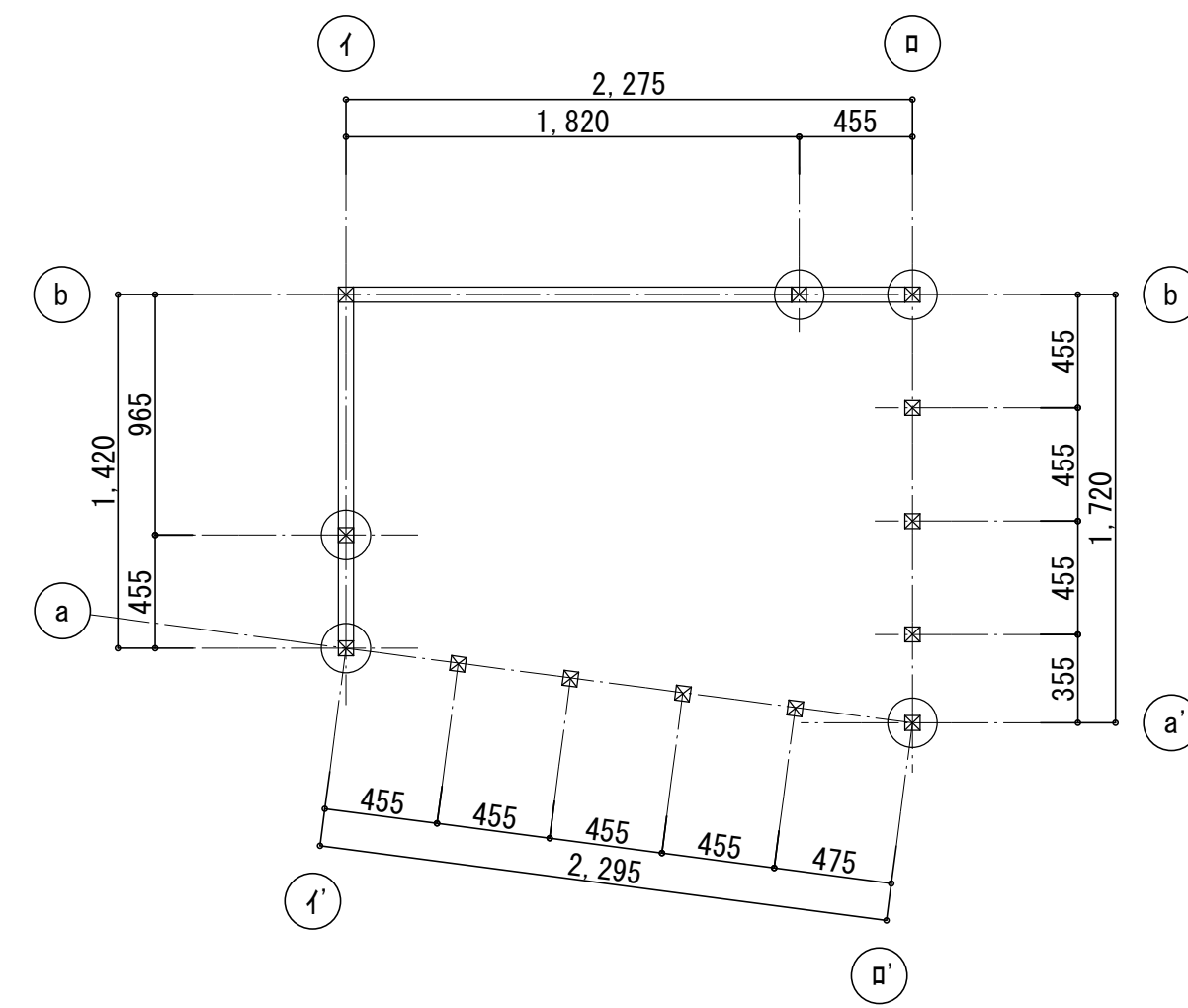
金物指示なし柱は、短ほぞ差し、かすがい打ちとする





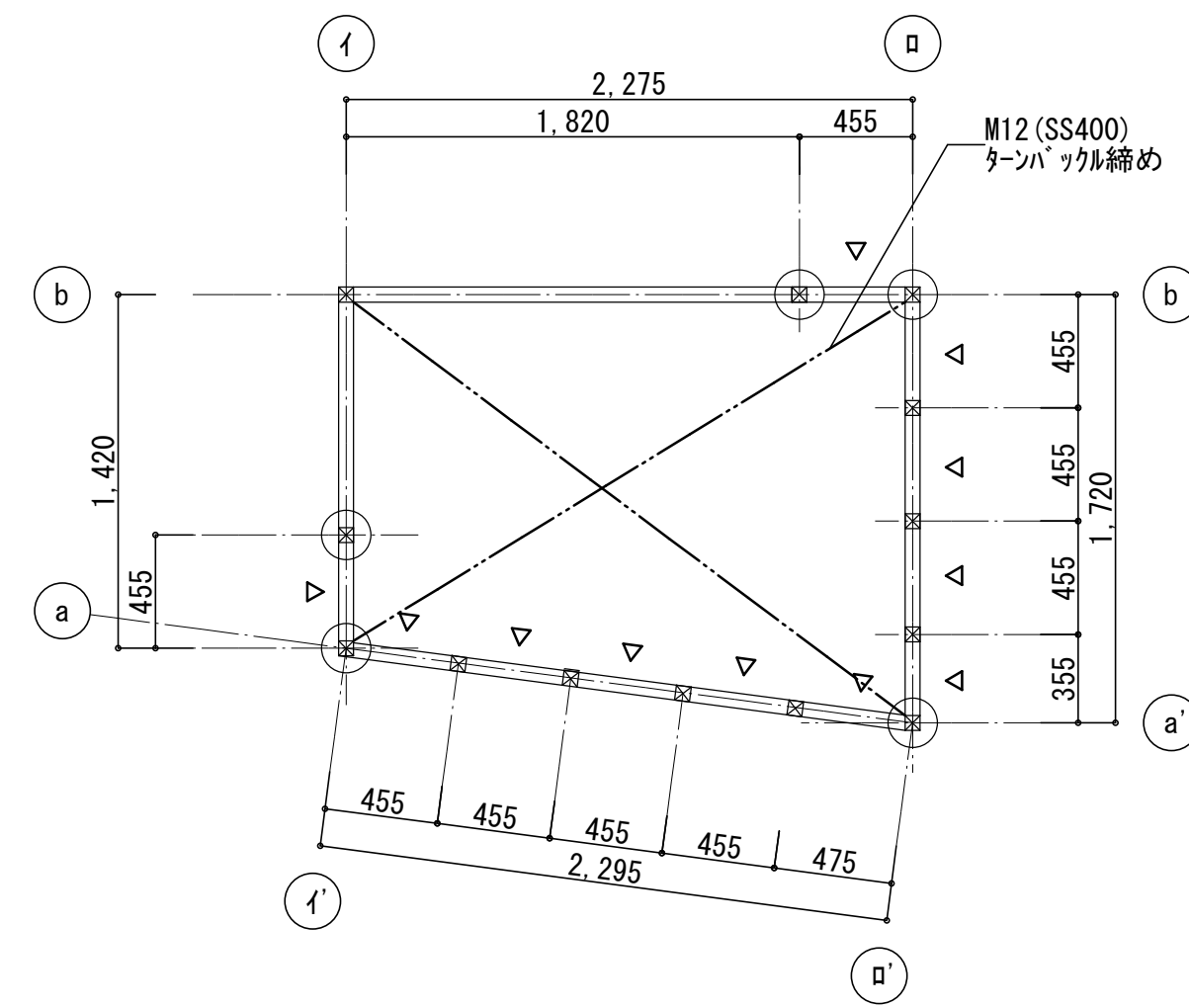
土台伏図 S=1/30 (A1)

θは、現場合わせとする



開口部梁伏図 S=1/30 (A1)

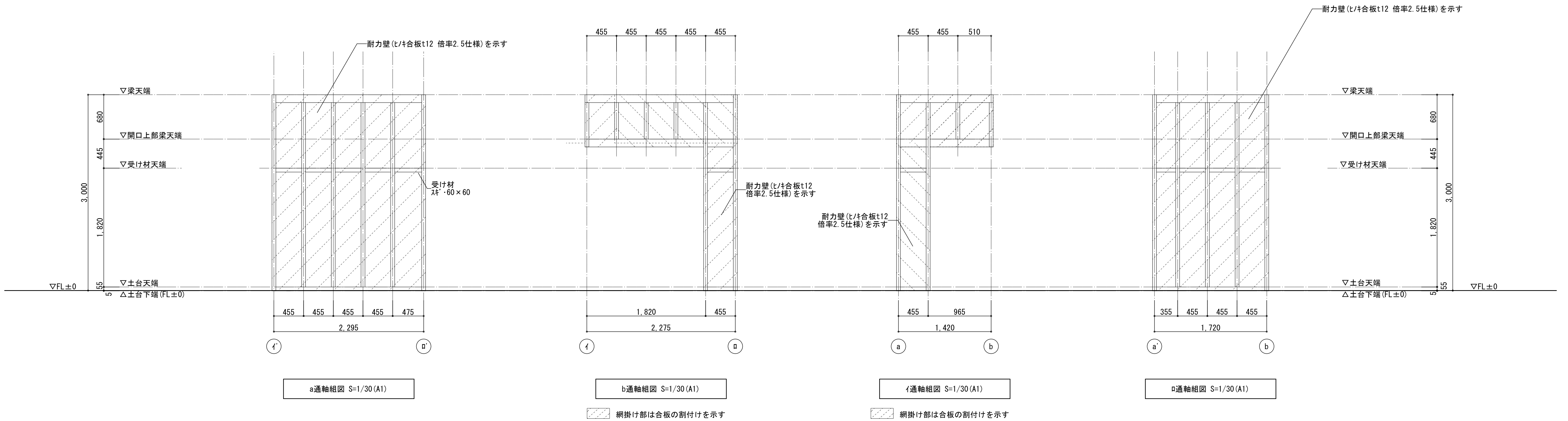
(FL+2.320)



梁伏図 S=1/30 (A1)

特記事項

- ☒ 印は、柱 (スチール・無等級以上) 60×60を示す
- ☒ 印は柱勝ちにする柱とする
- 展示室土台は (t/キ・無等級以上) 60×60を示す
- 土台下は敷きモルタルを施す
- 印は、鉄筋ブレースとする
- 梁は (スチール・無等級以上) 60×120とする
- 印は、接着系後施工アジャ-M12用 L=60 (接着系)を示す
- アジャ-M12は土台両端部で配置する
- 柱Hはアジャ-M12と引抜耐力10kN以上ヘルダの金物を用いて
- 既存土間コンクリートに緊結すること (4箇所)
- アジャ-M12が施工不可と思われる場合は監督員と協議すること
- △ 耐力壁 (t/キ合板t12 倍率2.5仕様)を示す



a通軸組図 S=1/30 (A1)

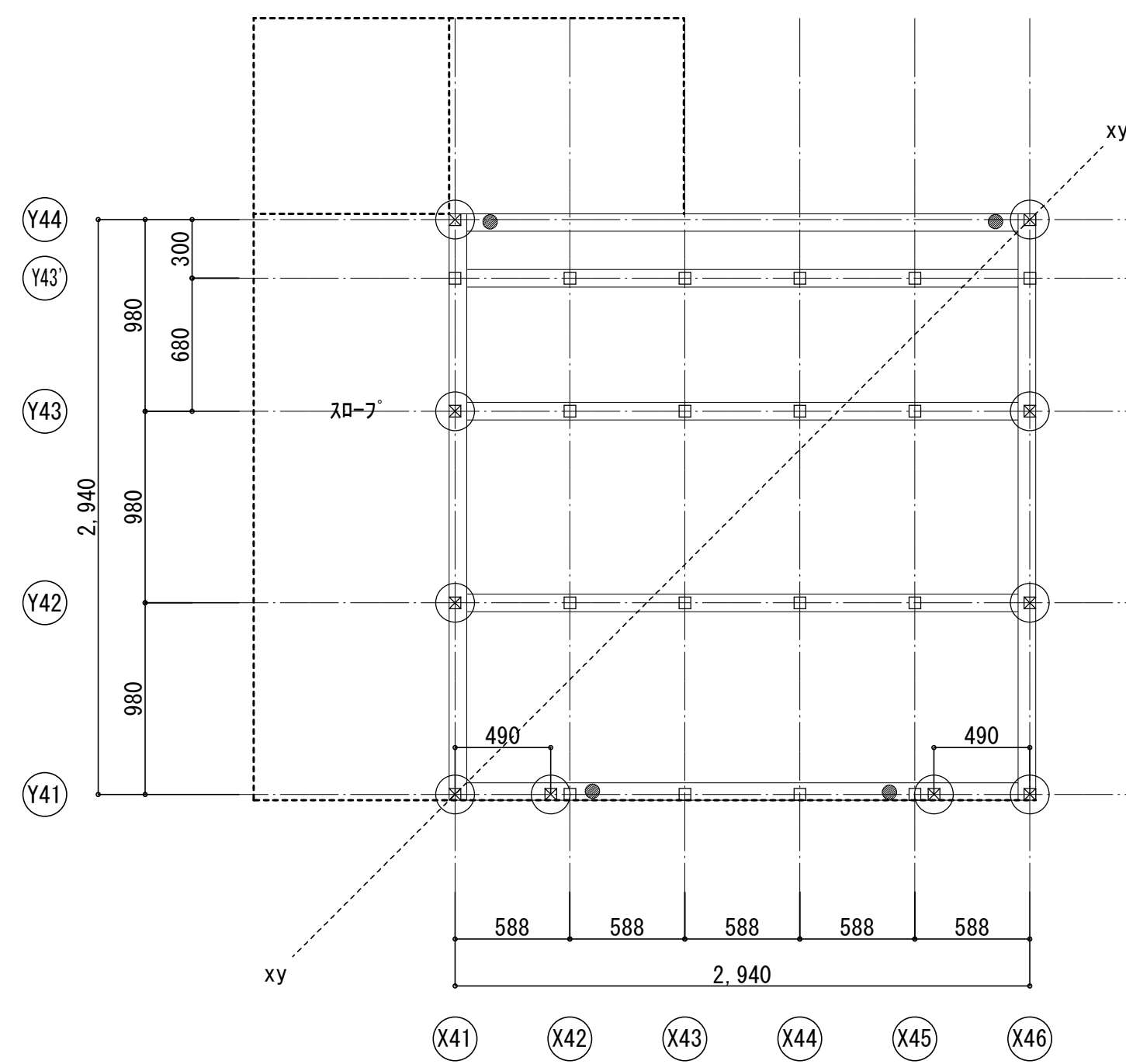
b通軸組図 S=1/30 (A1)

I通軸組図 S=1/30 (A1)

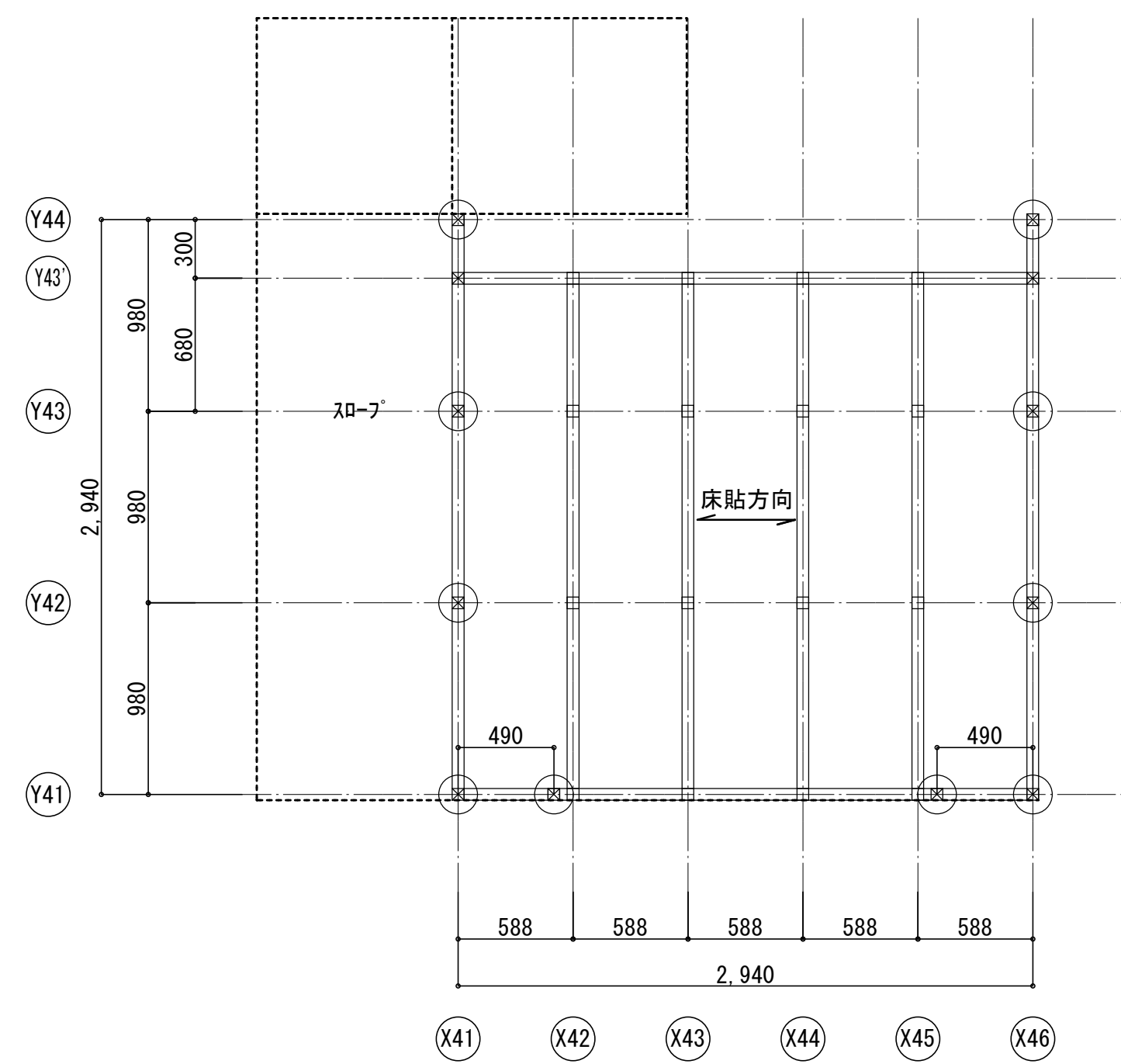
D通軸組図 S=1/30 (A1)

網掛け部は合板の割付けを示す

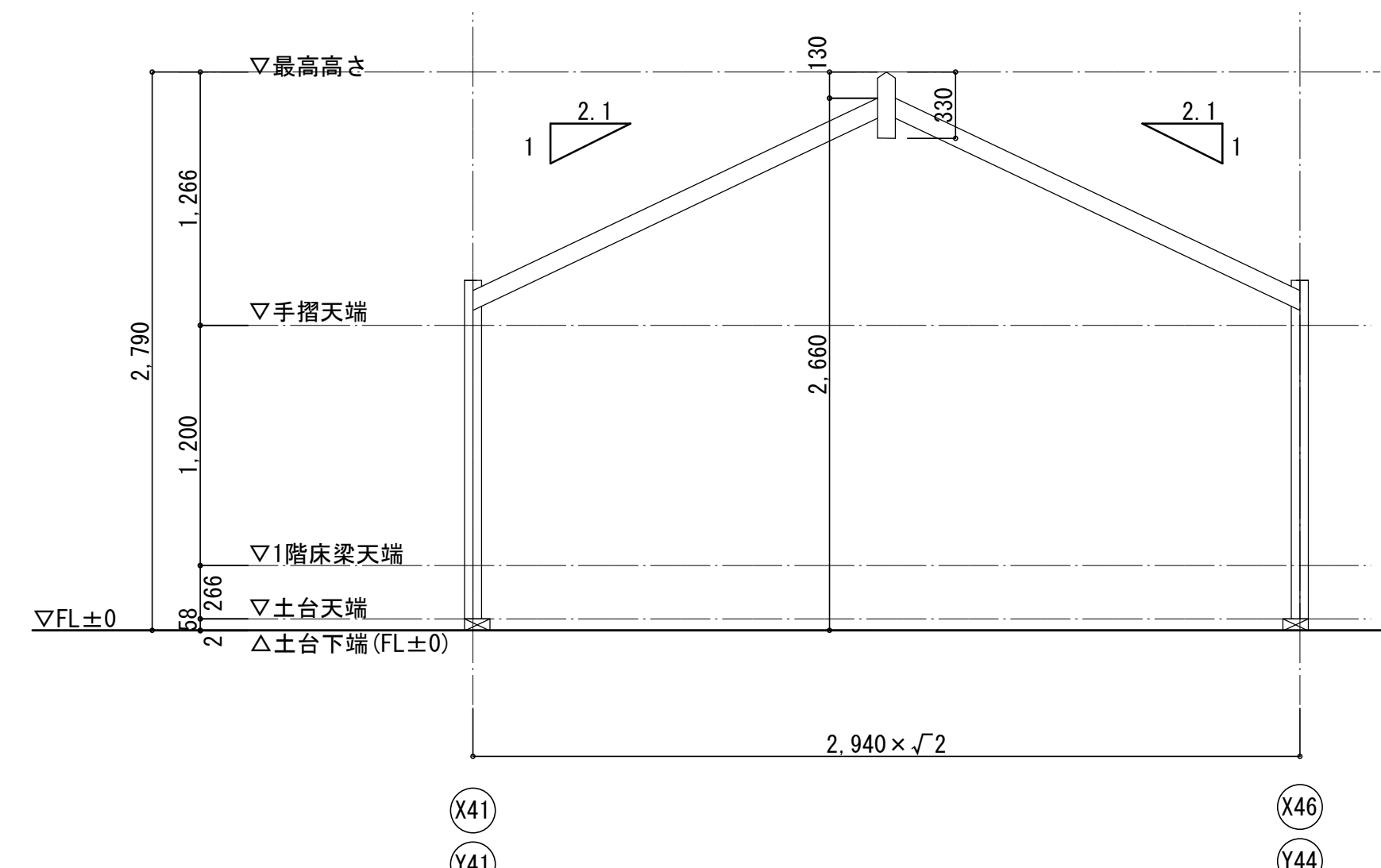
網掛け部は合板の割付けを示す



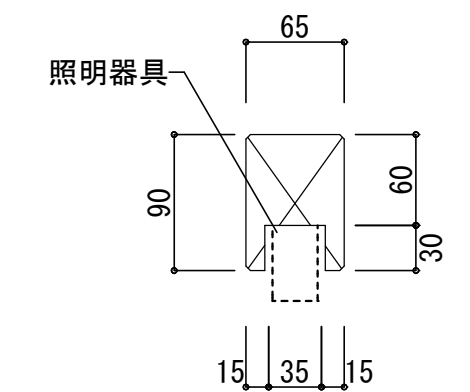
土台伏図 S=1/30 (A1)



床梁伏図 S=1/30 (A1)



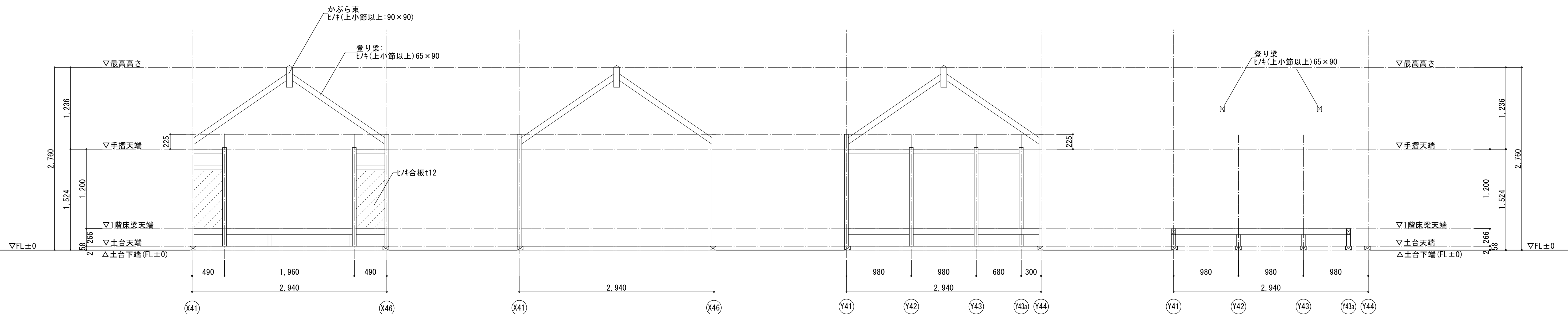
xy-xy軸組図 S=1/30 (A1)



登り梁断面図 S=1/5 (A1)

- 特記事項**
- ☒ 印は、柱 (t/キ・上小節以上) 60×60を示す
  - ⊗ 印は手摺まで通す柱とする
  - 印は、束 (キ・無等級以上) 60×60とする
  - 土台 (t/キ・無等級以上) は90×60とする
  - 土台下は敷きもみにて高さ調整を行うこととする
  - 土台・柱・束の接合部は接合詳細図(イ)とする
  - 特記無き梁 (キ・無等級以上) は60×90を示す
  - 柱・梁・小梁の接合部は接合詳細図(ロ) (ハ)とする
  - 印は、接着系後施工アンカ-M12用 L=60 (接着系)を示す
  - アンカ・ルトは既存土間コンクリートに緊結する
  - アンカ・ルトが施工不可と思われる場合は監督員と協議すること
  - 手摺柱と登り梁の接合部は 接着材併用のうえ、ほぞつなぎ+込栓10×10 (樫)をする

登り梁には照明器具を設置するための掘込みを設けること  
配線を仕込む箇所は、梁同材で蓋をし、隠蔽配線とすること

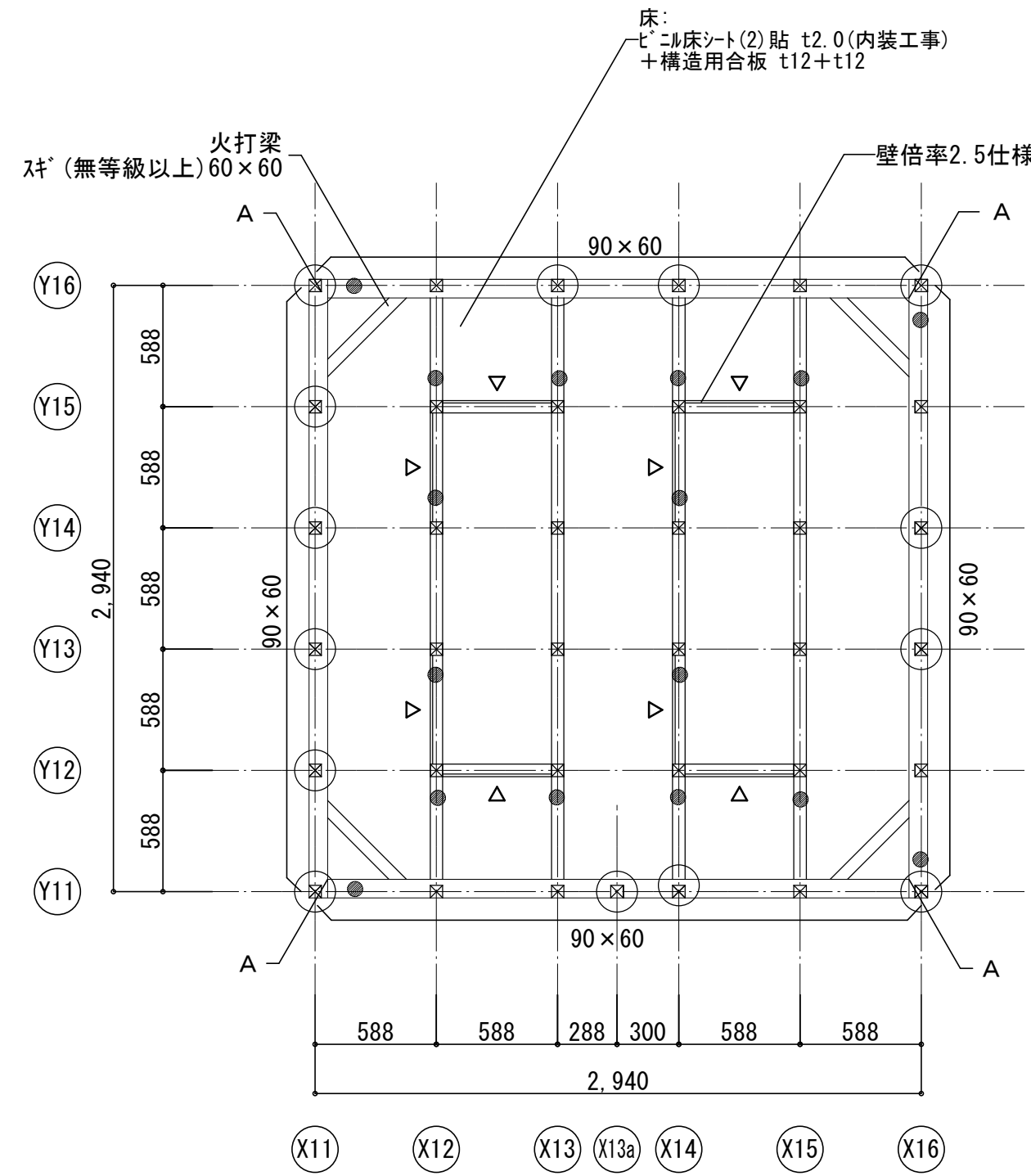


Y41軸組図 S=1/30 (A1)

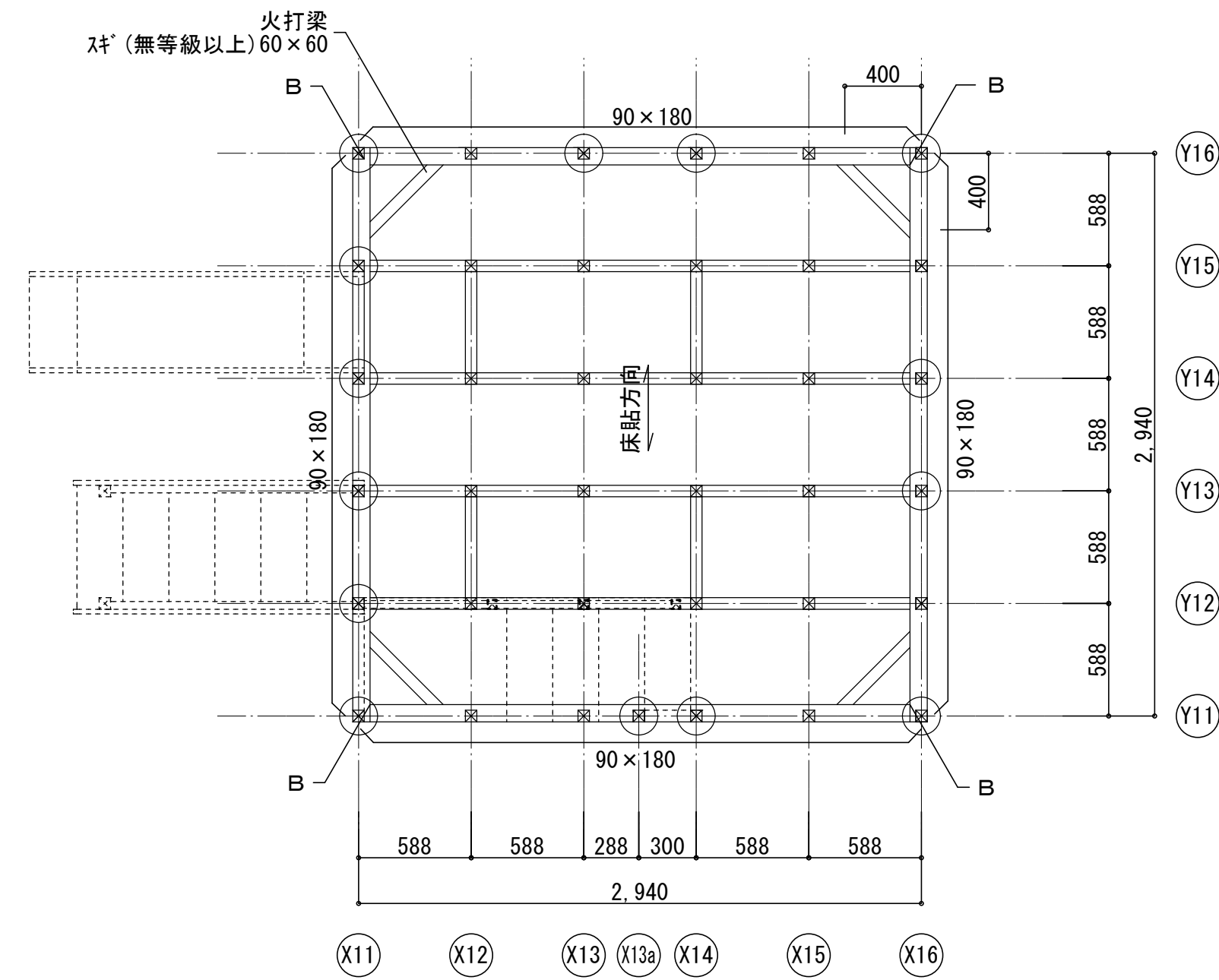
Y44軸組図 S=1/30 (A1)

X41軸組図 S=1/30 (A1)

X43軸組図 S=1/30 (A1)



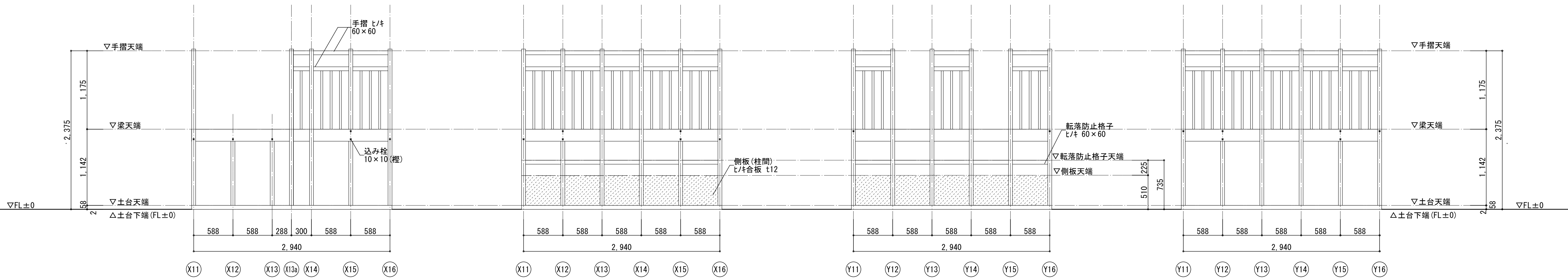
土台・床伏図 S=1/30(A1)



梁伏図 S=1/30(A1)

- 特記事項**
- 印は、柱(七/キ・上小節以上)60×60を示す
  - ⊗ 印の柱は手摺まで通す柱とする  
手摺まで通す柱(東)と土台・梁の接合部は、かど金物(コーナー) クリマ 片'クリCK 同等品を使用する  
土台(七/キ・無等級以上)は外周部を90×60とし、内部は60×60とする  
土台下は敷き材にて高さ調整を行うこととする  
A接合部は接合詳細図(イ)とする  
特記無き梁は、60×90(七/キ・無等級以上)とする  
外周部の梁は、90×180(七/キ・上小節以上)とする  
火打梁は60×60(ス/キ・無等級以上)とする  
B接合部は接合詳細図(ロ)とする  
柱・小梁・梁の接合部は接合詳細図(ハ)とする  
手摺子はス/キ φ30とし、@140以下とする
  - △ 耐力壁(七/キ合板t12 倍率2.5仕様)を示す  
耐力壁の高端柱(東)と土台・梁の接合部は、かど金物(コーナー)を使用する
  - 印は、接着系後施工アンカ-M12用 L=60(接着系)を示す  
アンカ-M12は耐力壁の左右近辺、外周四隅に施工し、既存土間コンクリートに緊結する  
アンカ-M12が施工不可と思われる場合は監督員と協議すること

床天端 FL+89  
柱脚仕口金物 かど金物(コーナー)クリマ 片'クリCK (引抜3.6kN)同等品  
耐力壁とする合板の張り方は合板の張り方指示図(1)(2)(3)参照

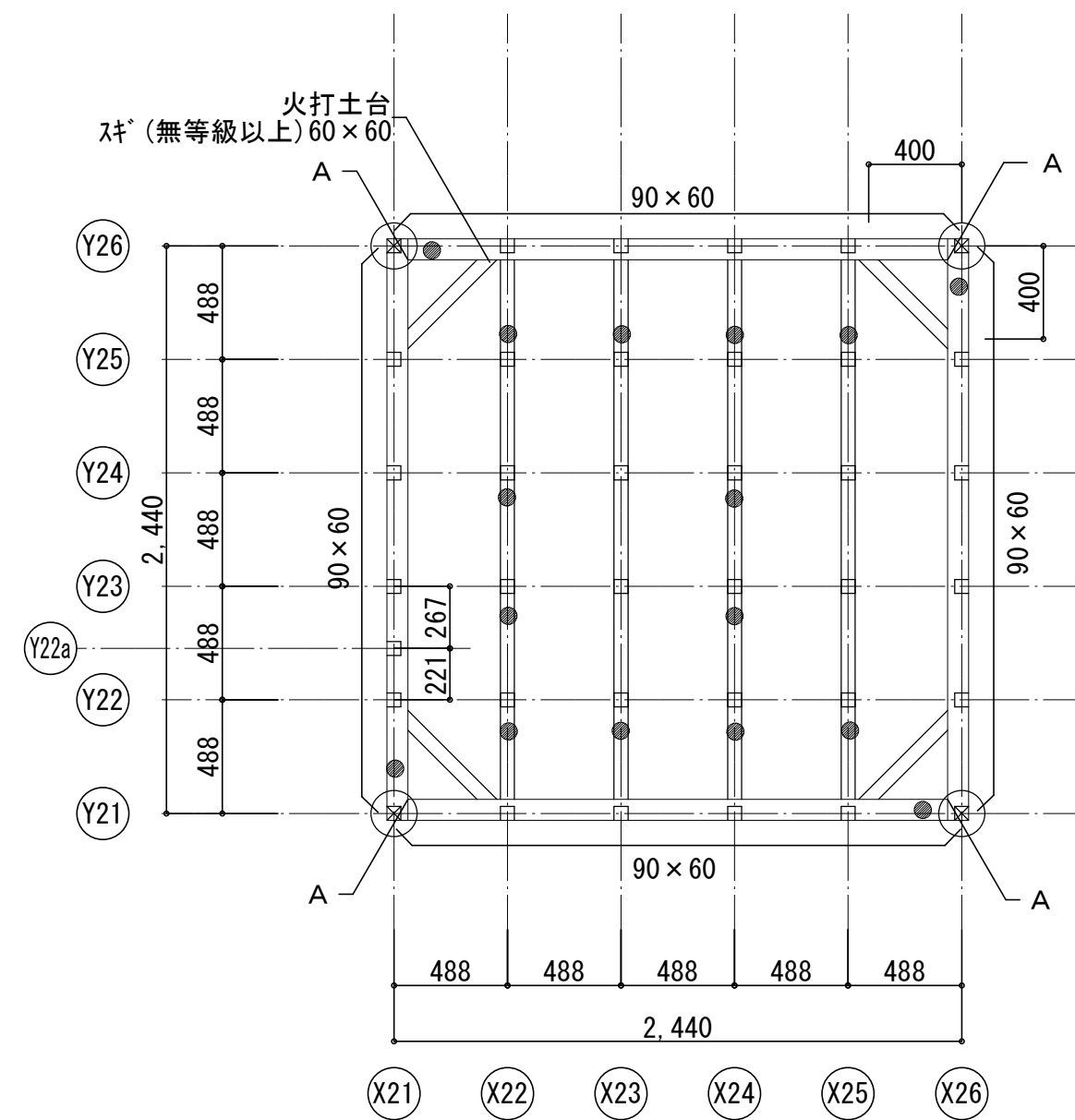


Y11通軸組図 S=1/30(A1)

Y16通軸組図 S=1/30(A1)

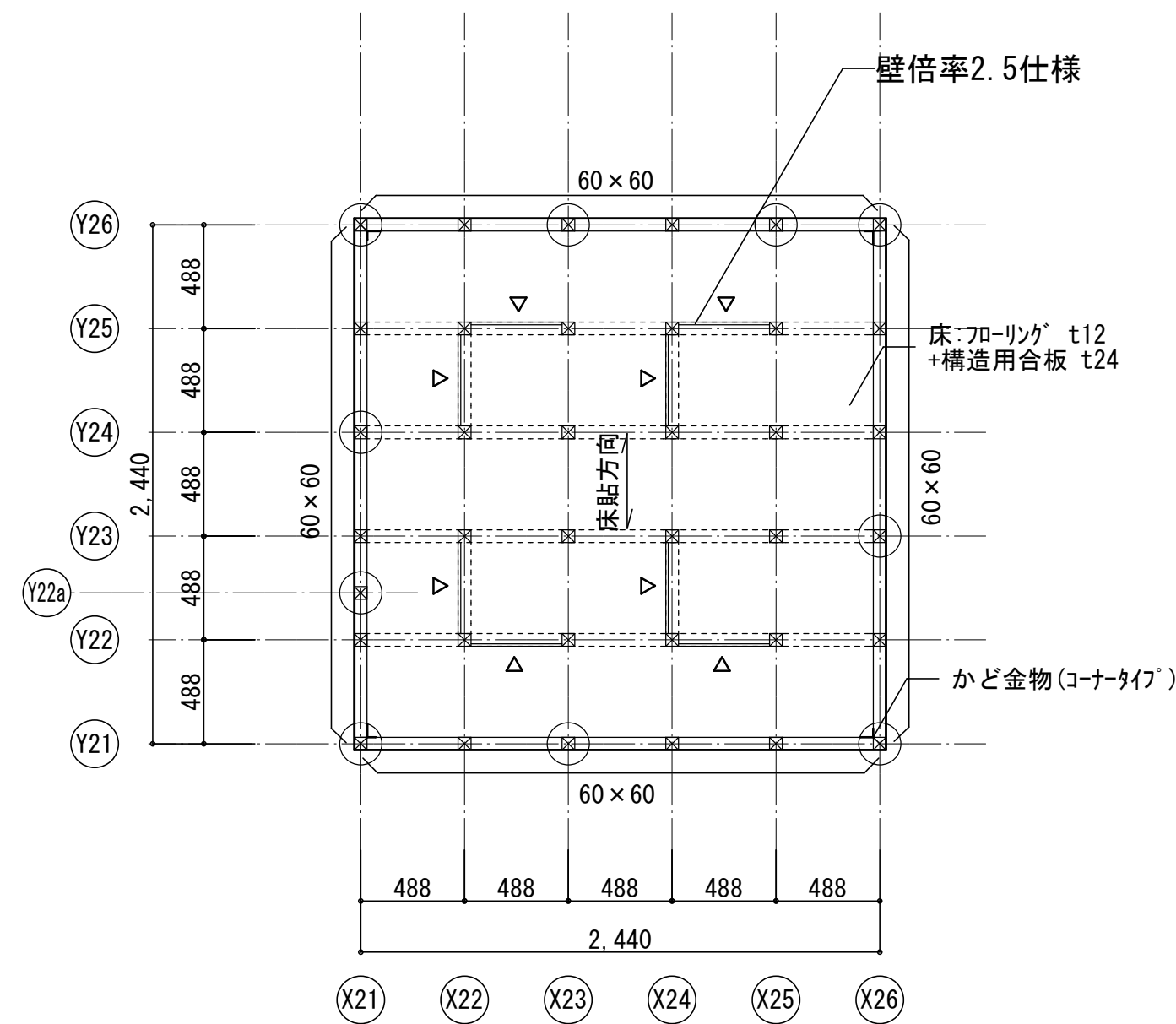
X11通軸組図 S=1/30(A1)

X16通軸組図 S=1/30(A1)



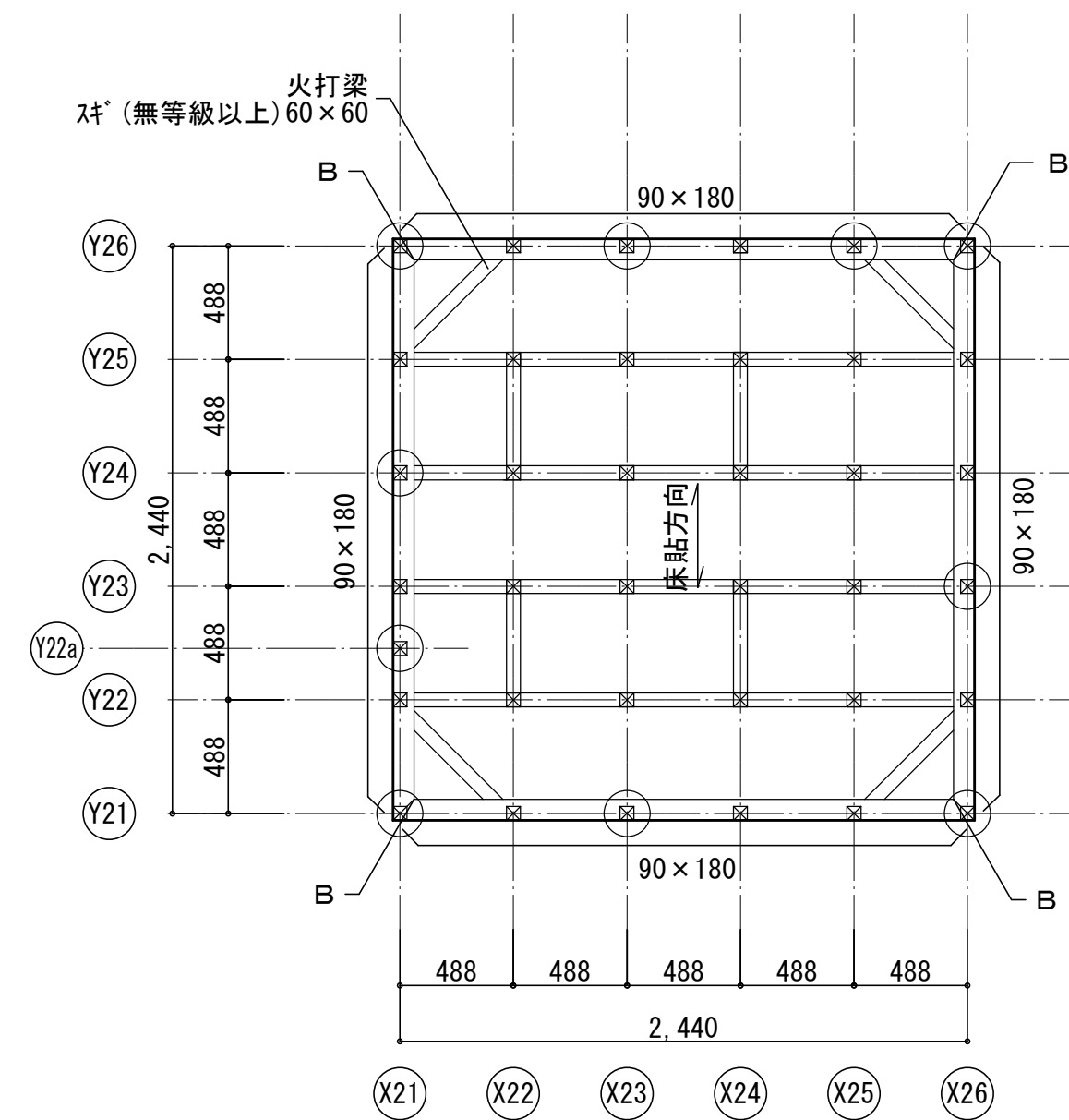
土台伏図 S=1/30 (A1)

柱脚仕口金物 かど金物(コナタイ)クマ 片クク(引抜3.6kN)同等品



床伏図 S=1/30 (A1)

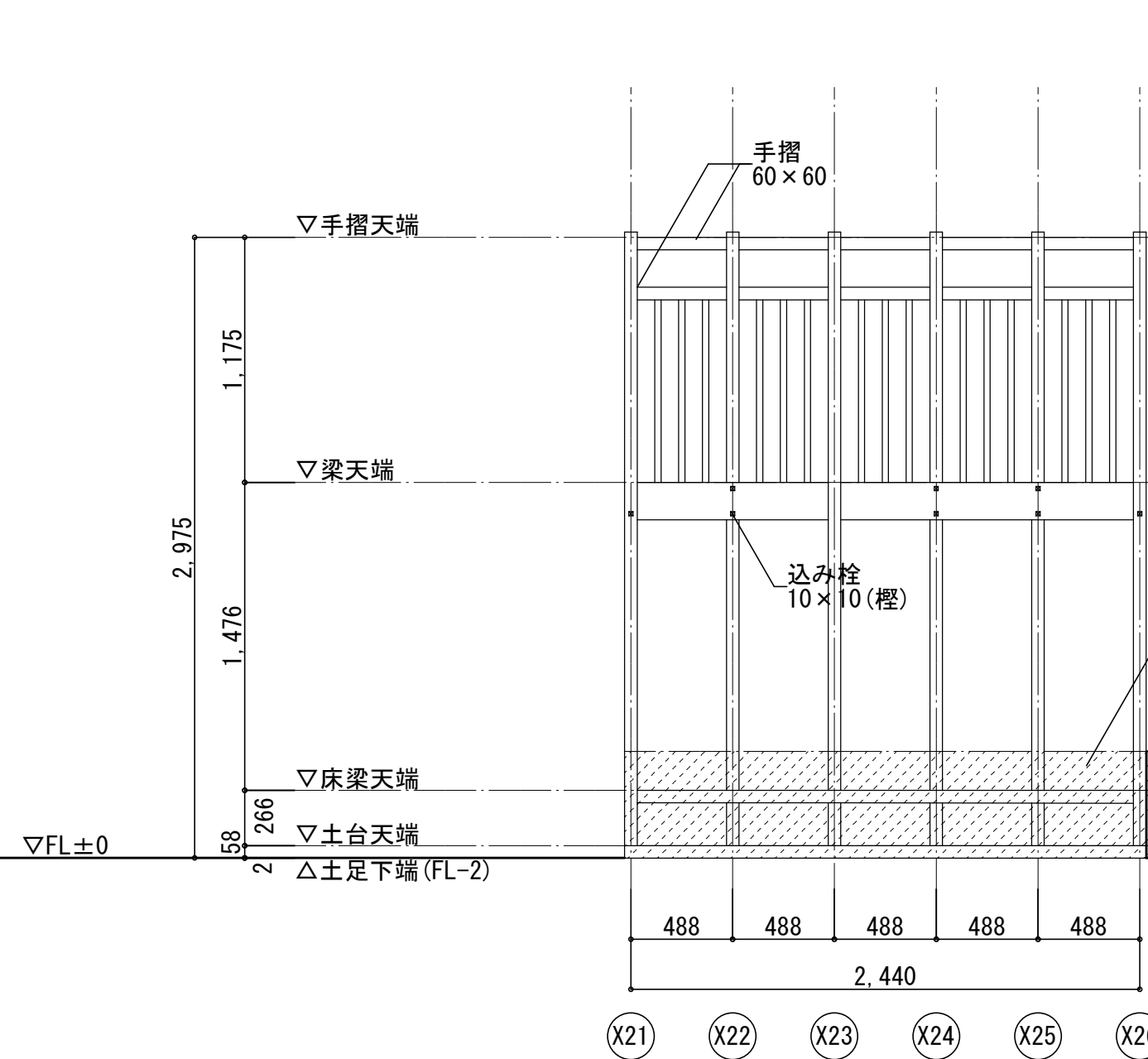
床天端 FL+360  
耐力壁とする合板の張り方は合板の張り方指示図(1)(2)(3)参照  
外周部四隅には、かど金物(コナタイ)を使用する



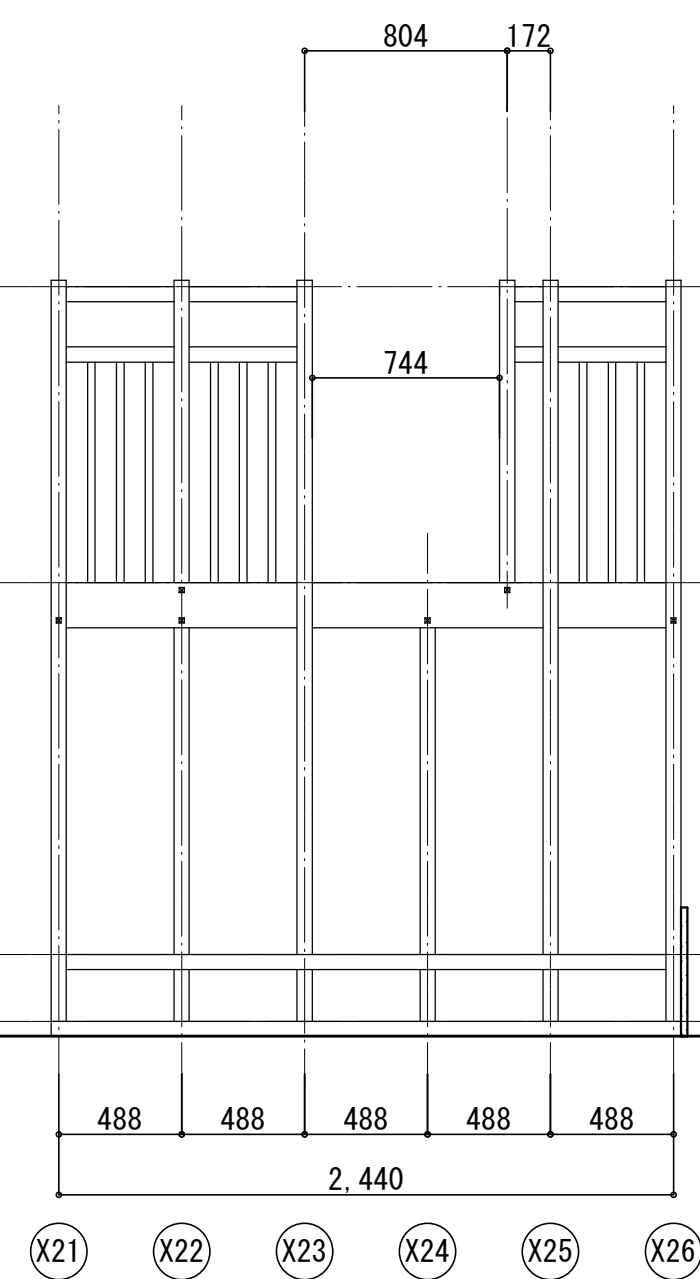
梁伏図 S=1/30 (A1)

特記事項

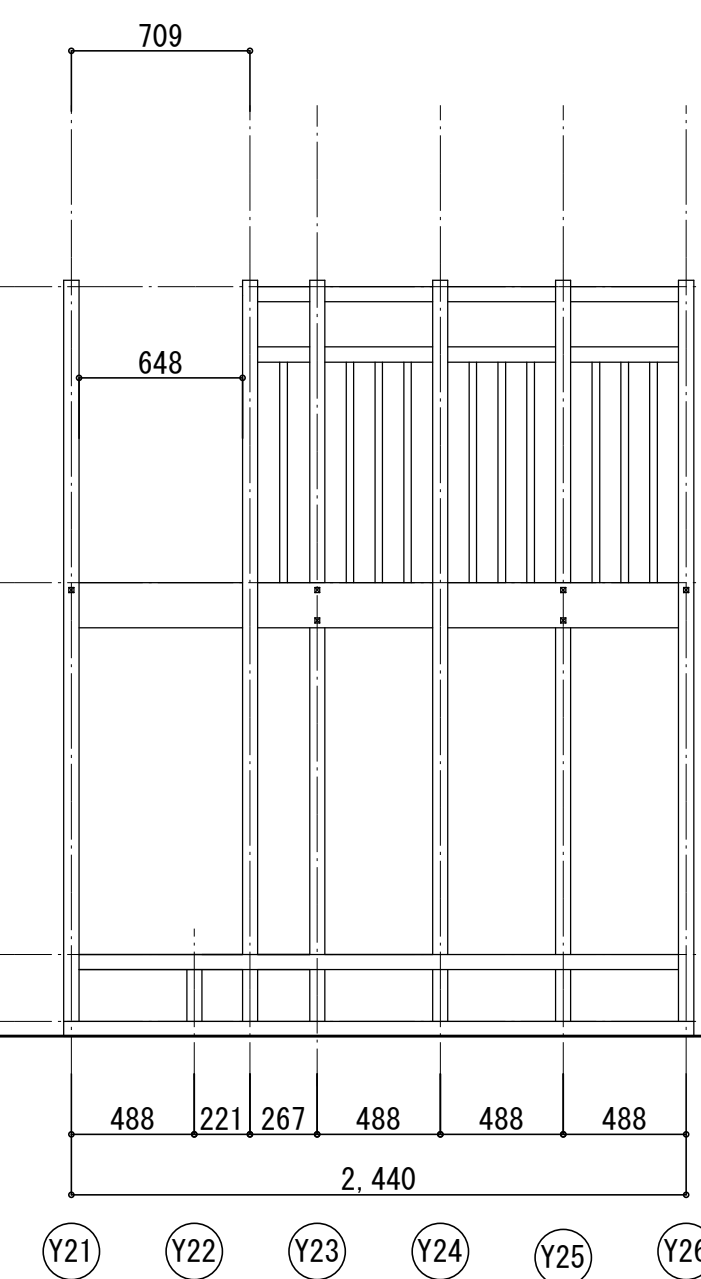
- ☒ 印は、柱(ヒキ・上小節以上)60×60を示す
- ⊗ 印の柱は手摺まで通す柱とする  
手摺まで通す柱(東)と土台・梁の接合部はかど金物(コナタイ)  
クマ 片クク同等品を使用する
- 印は、東(ヒキ・無等級以上)60×60とする  
土台(ヒキ・無等級以上)は外周部を90×60とし、内部は60×60とする  
土台下は敷き材にて高さ調整を行うこととする  
A接合部は接合詳細図(イ)とする
- ⋯ 印は、大引(ヒキ・無等級以上)60×60を示す  
特記無き梁(ヒキ・無等級以上)は60×90を示す  
梁・90×180はヒキ・上小節以上とする  
火打土台・梁は(ヒキ・無等級以上)60×60を示す  
B接合部は接合詳細図(ロ)とする
- 柱・小梁・梁の接合部は接合詳細図(ハ)とする  
手摺子はヒキ φ30@140以下とする
- △ 耐力壁(ヒキ合板t12 倍率2.5仕様)を示す  
耐力壁の両端柱(東)と土台・梁の接合部は、かど金物(コナタイ)を使用する
- 印は、接着系後施工フカ-M12用 L=60(接着系)を示す  
フカ-M12は耐力壁の左右近辺、外周四隅に施工し、既存土間コンクリートに止める  
フカ-M12が施工不可と思われる場合は監督員と協議すること



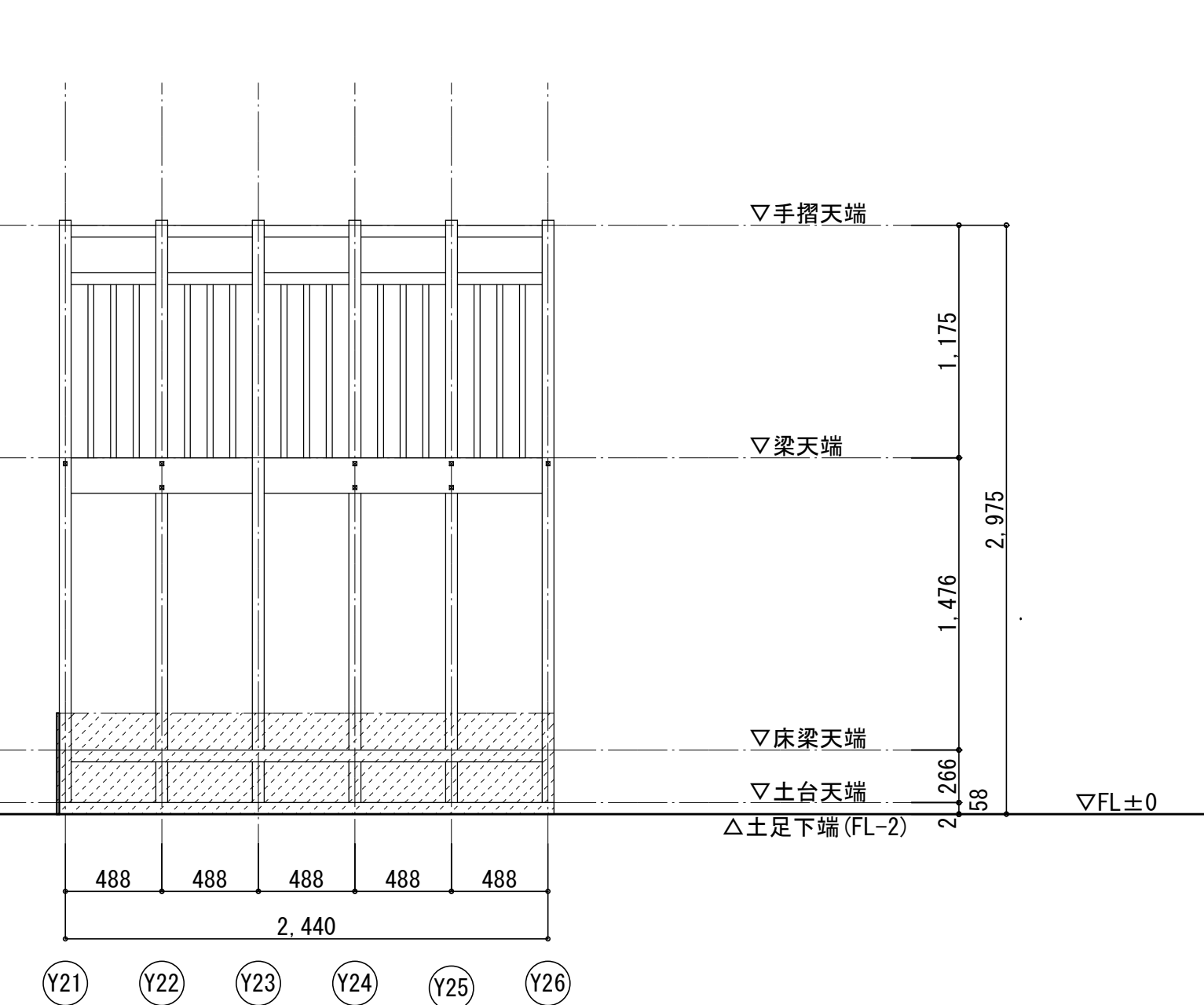
Y21通軸組図 S=1/30 (A1)



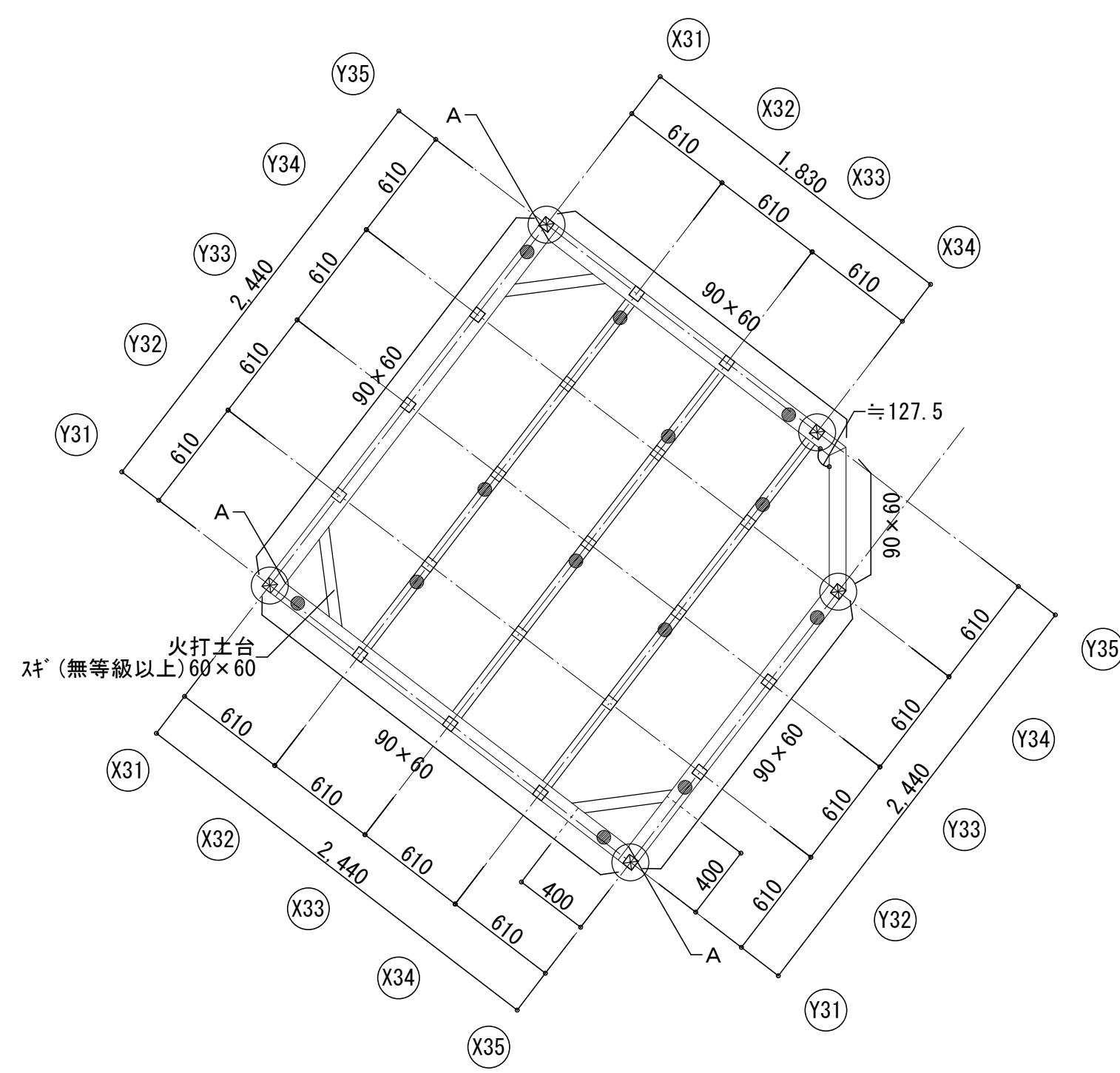
Y26通軸組図 S=1/30 (A1)



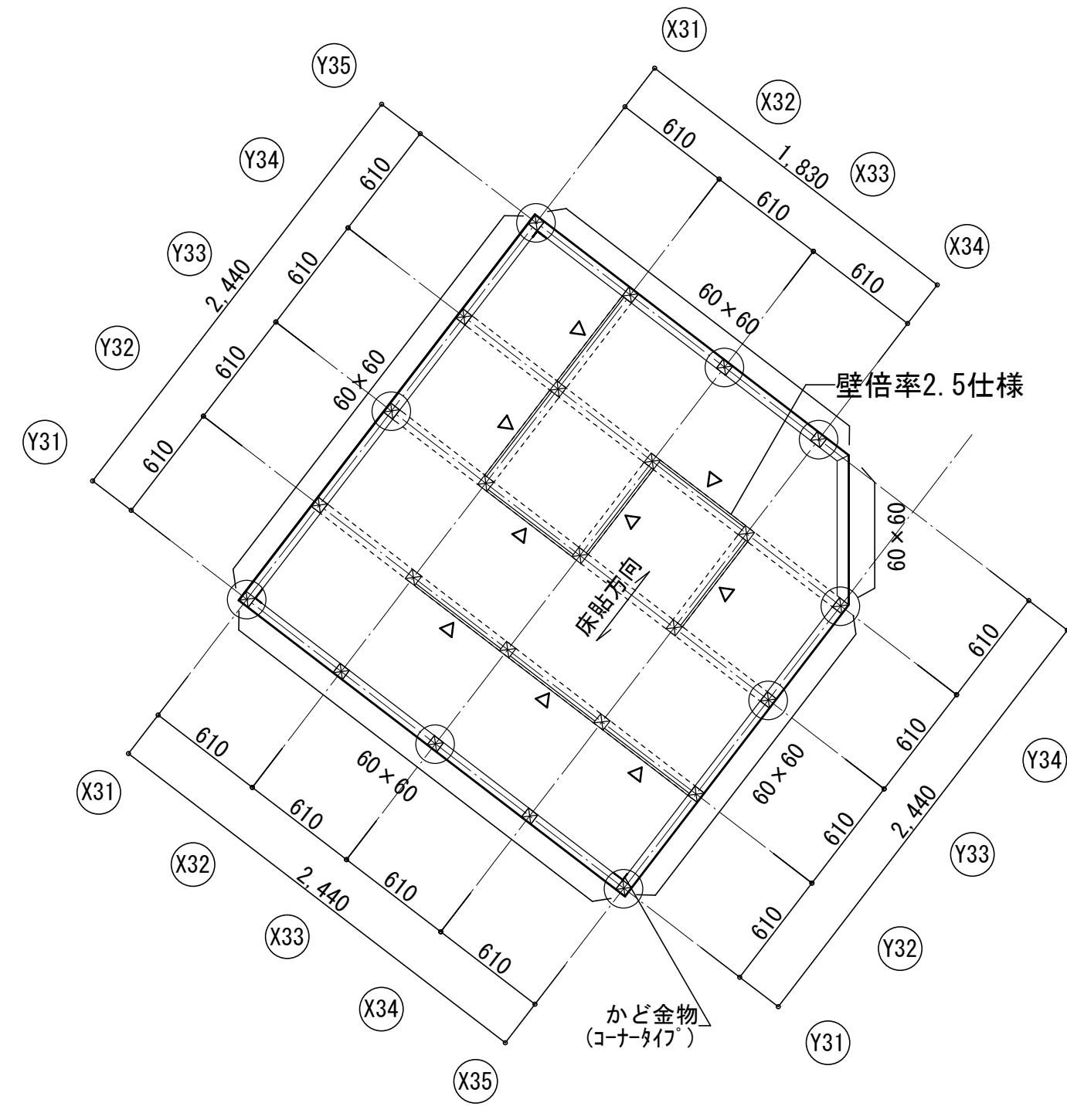
X21通軸組図 S=1/30 (A1)



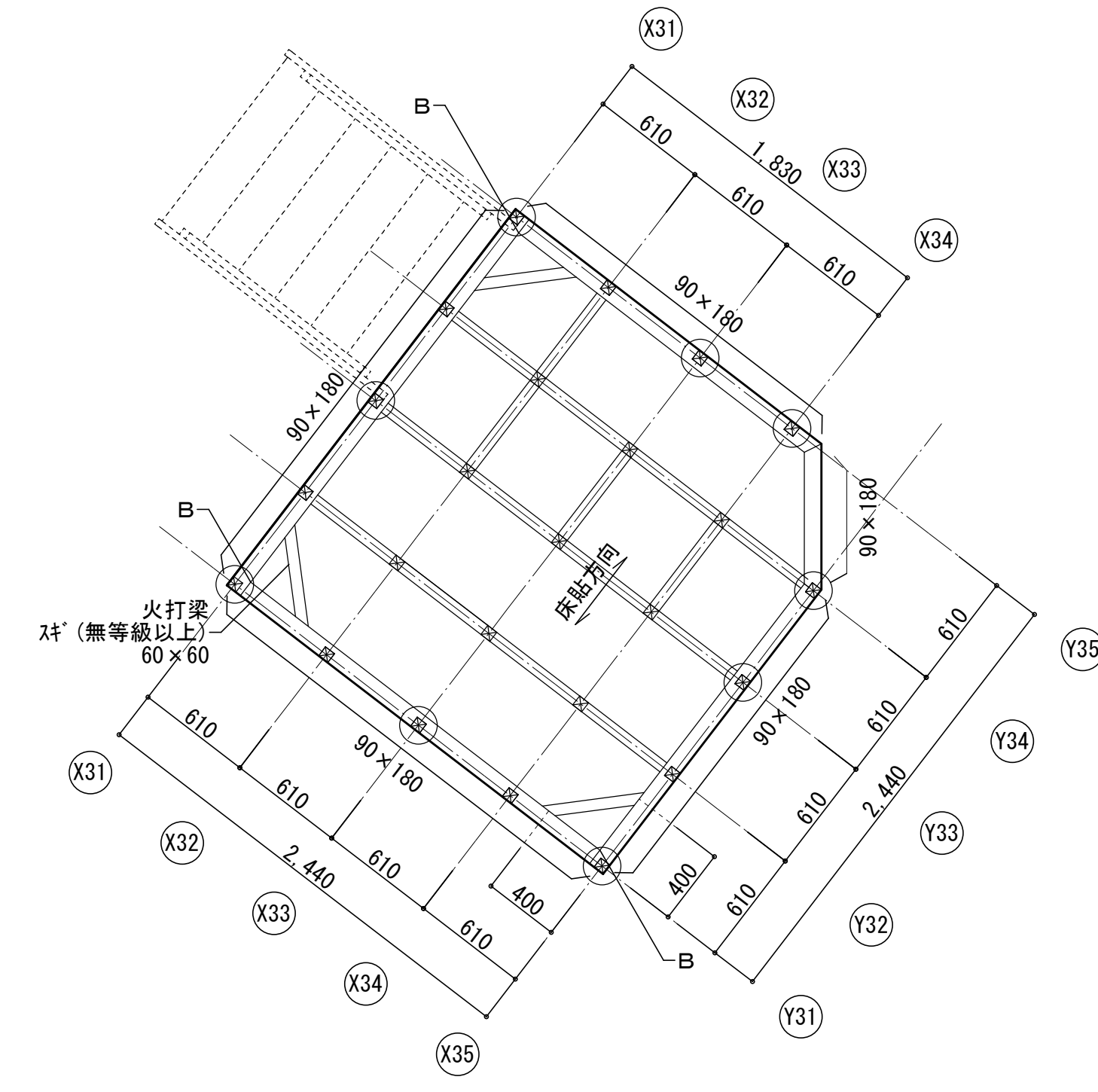
X26通軸組図 S=1/30 (A1)



土台伏図 S=1/30 (A1)



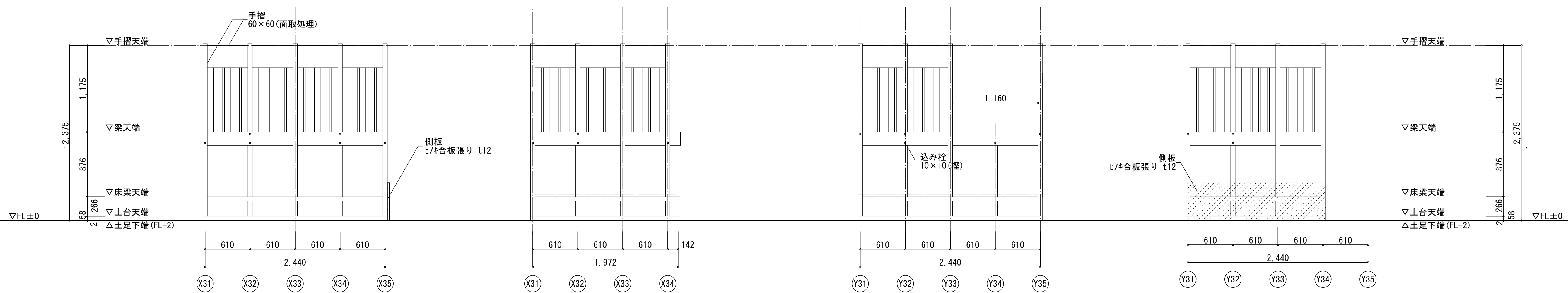
床伏図 S=1/30 (A1)



梁伏図 S=1/30 (A1)

床天端 FL+360  
 耐力壁とする合板の張り方は合板の張り方指示図(1)(2)(3)参照  
 外周部隅にはかど金物(コーナーアイ)を使用する

- 特記事項**
- ☒ 印は、柱(ヒキ・上小節以上)60×60を示す
  - ☒ 印の柱は手摺まで通す柱とする  
手摺まで通す柱(束)と土台・梁の接合部はかど金物(コーナーアイ)カヤマ 社'カク 同等品を使用する
  - 印は、束(スギ・無等級以上)60×60とする  
土台(ヒキ・無等級以上)は外周部を90×60とし、内部は60×60とする  
土台下は敷き砂にて高さ調整を行うこととする  
A接合部は接合詳細図(イ)とする
  - 印は、大引(ヒキ・無等級以上)60×60を示す  
特記無き梁(ヒキ・無等級以上)は60×90を示す  
梁・90×180はヒキ・上小節以上とする  
火打土台・梁は(スギ・無等級以上)60×60を示す  
B接合部は接合詳細図(ロ)とする  
柱・小梁の接合部は接合詳細図(ハ)とする  
手摺子はスギ φ30@140以下とする
  - △ 耐力壁(ヒキ合板t12 倍率2.5仕様)を示す  
耐力壁の両端柱(束)と土台・梁の接合部はかど金物(コーナーアイ)を使用する
  - 印は、接着系後施工アホカM12用 L=60(接着系)を示す  
アホカ M12は耐力壁の左右近辺、外周四隅に施工し、既存土間コンクリートに止める  
アホカ M12が施工不可と思われる場合は監督員と協議すること

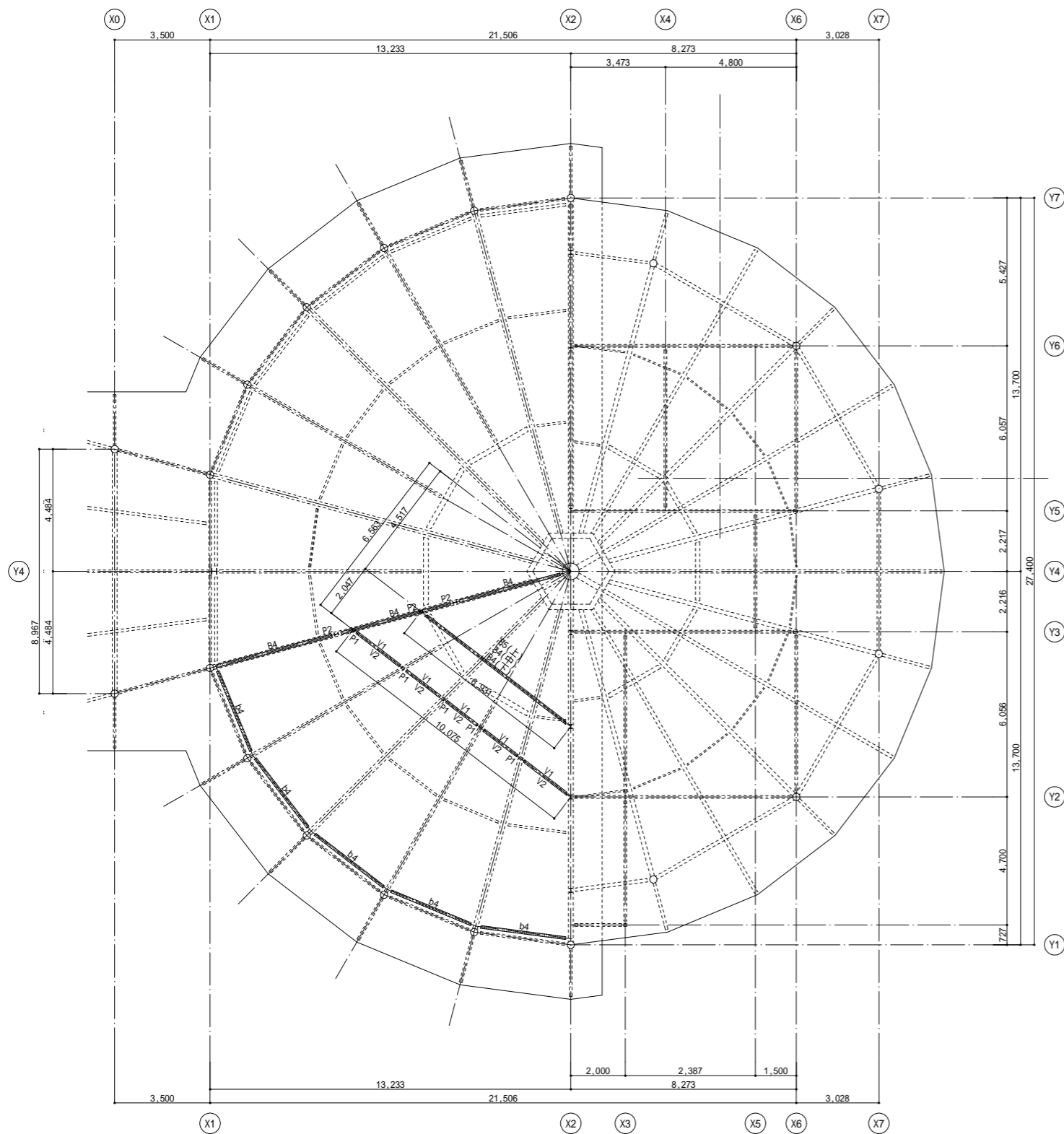


Y35通軸組図 S=1/30 (A1)

Y35通軸組図 S=1/30 (A1)

X31通軸組図 S=1/30 (A1)

X35通軸組図 S=1/30 (A1)



撤去部材リスト

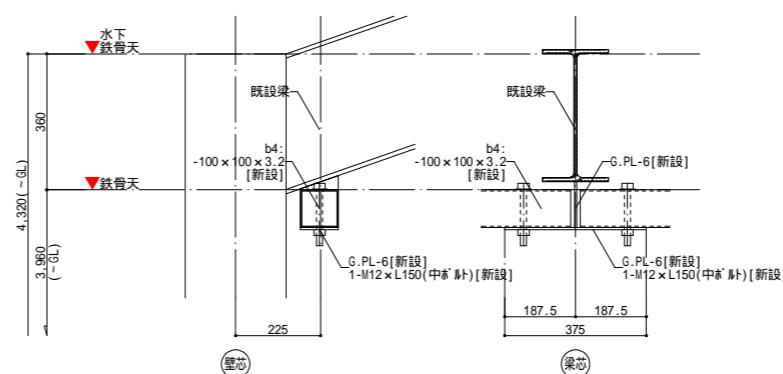
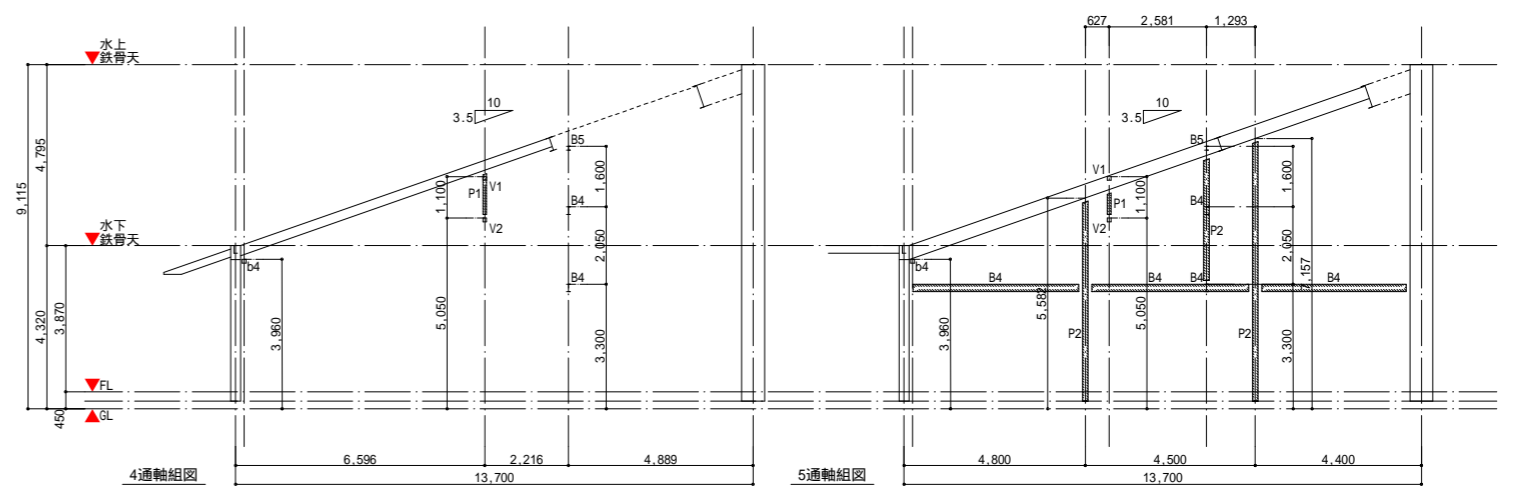
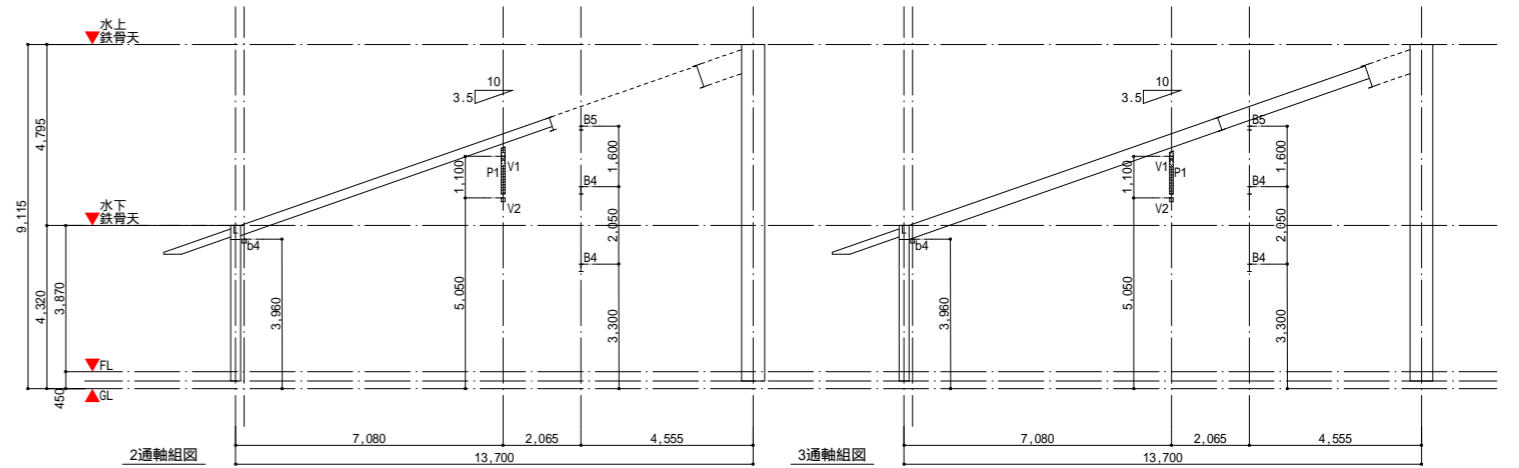
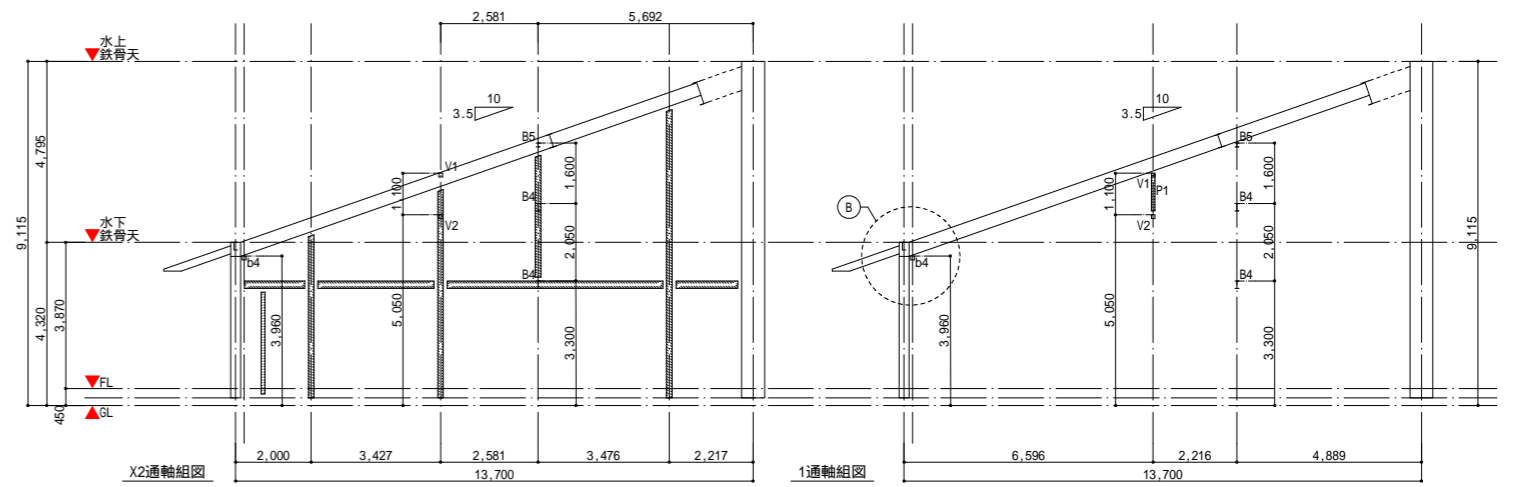
符号	部材寸法	プレート	ボルト
P1	-100 × 100 × 3.2	2G.PL-6	1-M16
V1	-100 × 100 × 3.2	L-100 × 75 × 6	1-M16
V2	-100 × 100 × 3.2	L-100 × 75 × 6	1-M16
P2	H-148 × 100 × 6 × 9	柱頭	G.PL-9
		柱脚	B.PL-200 × 200 × 19
B4	H-200 × 100 × 5.5 × 8	G.PL-6	A.Bolt 2-M16
B5	H-100 × 100 × 6 × 8	G.PL-6	2-M16

新設部材リスト

符号	部材寸法	プレート	ボルト
b4	-100 × 100 × 3.2 (STKR400)	G.PL-6 (SS400)	1-M12 (中ボルト) L150

梁伏図(改修前・改修後)

S = 1/100(A1) - 1/200(A3)



b部 部分詳細図([新設])

S = 1/10(A1) - 1/20(A3)

軸組図(改修前・改修後)

S = 1/100(A1) - 1/200(A3)

電気設備工事特記仕様書

1. 工事概要

1. 1 工事名称 **三重県民の森自然学展示館改修工事( )**

2. 工事場所 **三重県菟野町大字 種地 地内**

3. 建物概要 **自然学展示館 棟 種地 地上階建 延べ面積 419.92㎡**

4. 工事種目 **用途区分は消防法施行令別表第一による表記**

5. 共通仕様

6. 一般仕様

7. 主要機材

8. 電気工事

9. 電気保安技術者

10. 品質計画

11. 測定機器の校正等

12. 施工計画

13. 機材等

14. 工事写真

15. 施工条件

16. 電気設備

17. 配線

18. 電気設備

19. 電気設備

20. 電気設備

21. 電気設備

22. 電気設備

23. 電気設備

24. 電気設備

25. 電気設備

26. 電気設備

27. 電気設備

28. 電気設備

29. 電気設備

30. 電気設備

31. 電気設備

32. 電気設備

33. 電気設備

34. 電気設備

35. 電気設備

36. 電気設備

37. 電気設備

38. 電気設備

39. 電気設備

40. 電気設備

41. 電気設備

42. 電気設備

43. 電気設備

44. 電気設備

45. 電気設備

46. 電気設備

47. 電気設備

48. 電気設備

49. 電気設備

50. 電気設備

51. 電気設備

52. 電気設備

53. 電気設備

54. 電気設備

55. 電気設備

56. 電気設備

57. 電気設備

58. 電気設備

59. 電気設備

60. 電気設備

41. 総合評価方式

42. 総合評価方式

43. 総合評価方式

44. 総合評価方式

45. 総合評価方式

46. 総合評価方式

47. 総合評価方式

48. 総合評価方式

49. 総合評価方式

50. 総合評価方式

51. 総合評価方式

52. 総合評価方式

53. 総合評価方式

54. 総合評価方式

55. 総合評価方式

56. 総合評価方式

57. 総合評価方式

58. 総合評価方式

59. 総合評価方式

60. 総合評価方式

19. ボルト・ナット類

20. 環境に配慮した設備の採用

21. ケーブル及び配線

22. 配線器具

23. 配線器具

24. 配線器具

25. 分電盤、制御盤、キュービクル等

26. 受変電設備、発電設備の設置場所

27. 発電設備の燃料配給

28. 変圧器

29. 変圧器

30. 変圧器

31. 変圧器

32. 変圧器

33. 変圧器

34. 変圧器

35. 変圧器

36. 変圧器

37. 変圧器

38. 変圧器

39. 変圧器

40. 変圧器

41. 変圧器

42. 変圧器

43. 変圧器

44. 変圧器

45. 変圧器

46. 変圧器

47. 変圧器

48. 変圧器

49. 変圧器

50. 変圧器

51. 変圧器

52. 変圧器

53. 変圧器

54. 変圧器

55. 変圧器

56. 変圧器

57. 変圧器

58. 変圧器

59. 変圧器

60. 変圧器

(5) 電動機等の接地

(6) 分電盤

3. 雷保護設備

(1) 避雷針

(2) 避雷線

(3) 避雷線

(4) 接地抵抗の測定

(5) 接地抵抗の測定

(6) 避雷線

(7) 避雷線

(8) 避雷線

(9) 避雷線

(10) 避雷線

(11) 避雷線

(12) 避雷線

(13) 避雷線

【受変電設備】

1) 用途

2) 容量

3) 分電盤

4) 分電盤

5) 分電盤

6) 分電盤

7) 分電盤

8) 分電盤

9) 分電盤

10) 分電盤

11) 分電盤

12) 分電盤

13) 分電盤

14) 分電盤

15) 分電盤

16) 分電盤

17) 分電盤

18) 分電盤

19) 分電盤

20) 分電盤

21) 分電盤

22) 分電盤

23) 分電盤

24) 分電盤

25) 分電盤

26) 分電盤

27) 分電盤

28) 分電盤

29) 分電盤

30) 分電盤

31) 分電盤

32) 分電盤

33) 分電盤

34) 分電盤

35) 分電盤

36) 分電盤

37) 分電盤

38) 分電盤

39) 分電盤

40) 分電盤

41) 分電盤

42) 分電盤

43) 分電盤

44) 分電盤

45) 分電盤

46) 分電盤

47) 分電盤

48) 分電盤

49) 分電盤

50) 分電盤

51) 分電盤

52) 分電盤

53) 分電盤

54) 分電盤

55) 分電盤

56) 分電盤

57) 分電盤

58) 分電盤

59) 分電盤

60) 分電盤

Table with 1 column and multiple rows containing technical specifications for electrical equipment such as power equipment, lighting, and communication equipment.

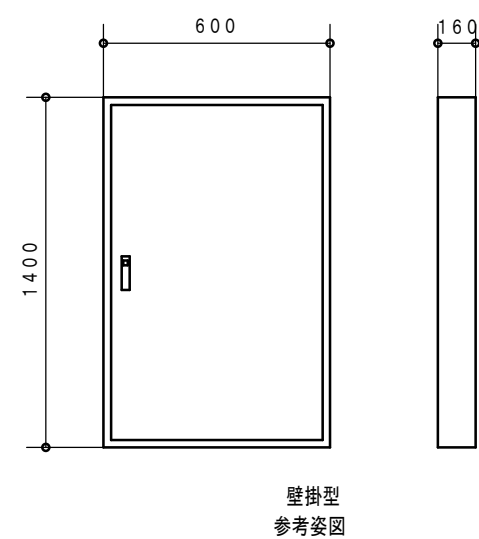
Table with 1 column and multiple rows containing technical specifications for fire alarm, fire extinguisher, and fire prevention equipment.

Table with 1 column and multiple rows containing technical specifications for fire extinguishers, fire alarms, and fire prevention equipment.

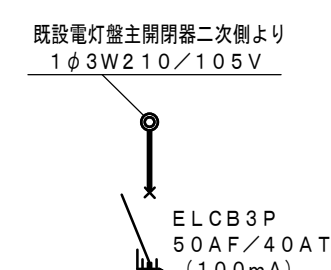
Table with 1 column and multiple rows containing technical specifications for fire extinguishers, fire alarms, and fire prevention equipment.

Table with multiple columns and rows containing project completion specifications, including equipment lists, drawings, and manuals.



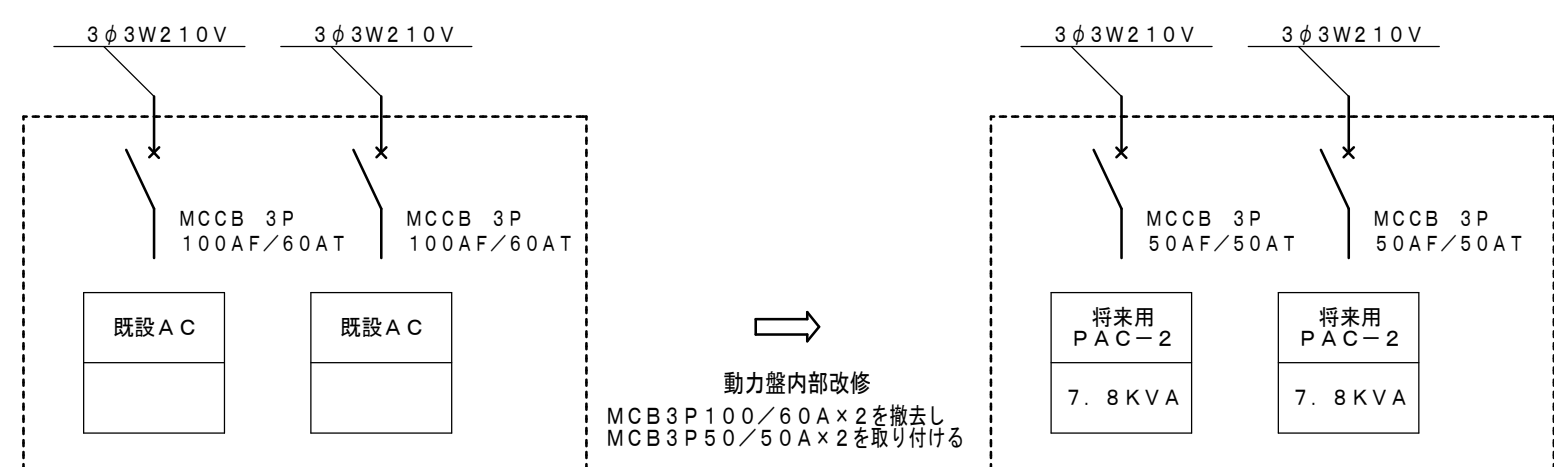


負荷名称	容量 (VA)	記号
照 明 (木貫ひらば)	544	①
照 明 (木貫ひらば)	228	②
照 明 (受付・倉庫等)	190	③
コンセント (受付・倉庫等)	400	⑦
コンセント (給湯器)	200	⑧
将来用コンセント (便所)	600	⑬
将来用コンセント (便所)	600	⑭
伝送ユニット リモコントランス		○
予備		○



記号	容量 (VA)	負荷名称
②	716	照 明 (木貫ひらば)
①	240	サイクルファン
③	200	アップ型コンセント (木貫ひらばフロア用)
⑥	200	コンセント (高台)
⑬	350	将来用コンセント (便所)
⑭	600	将来用コンセント (便所)
○		予備
○		予備
○		予備

1Pモジュール  
ELCB2P2E50AF/20AT×5 (100V)  
MCCB2P1E50AF/20AT×13 (100V)  
R-Ry1P×8  
R-Tr (100V)×1  
Ry-U (4)×2  
(5.066KVA)  
新設電灯分電盤  
L-R  
(壁掛型)  
(一般仕様)

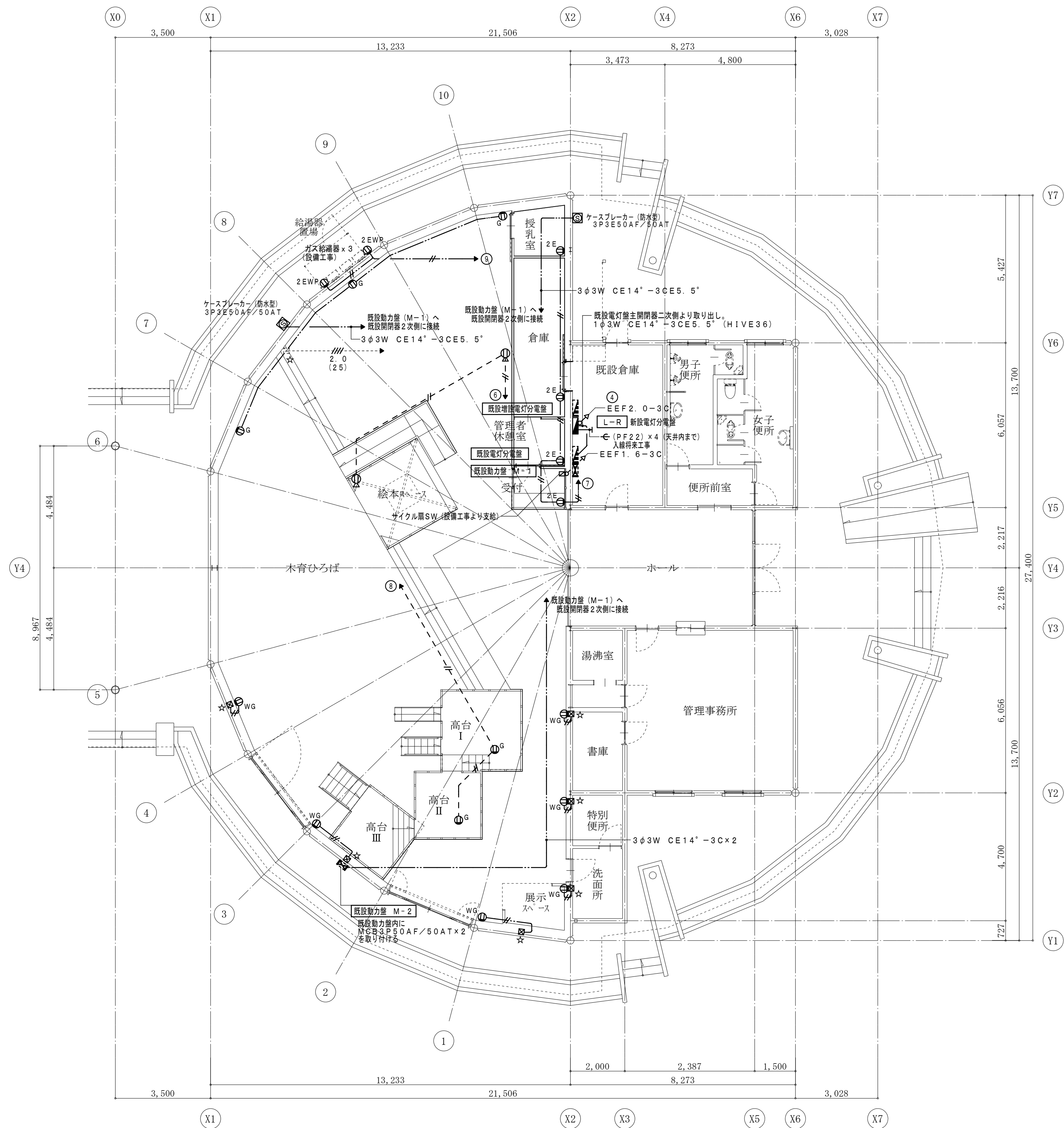
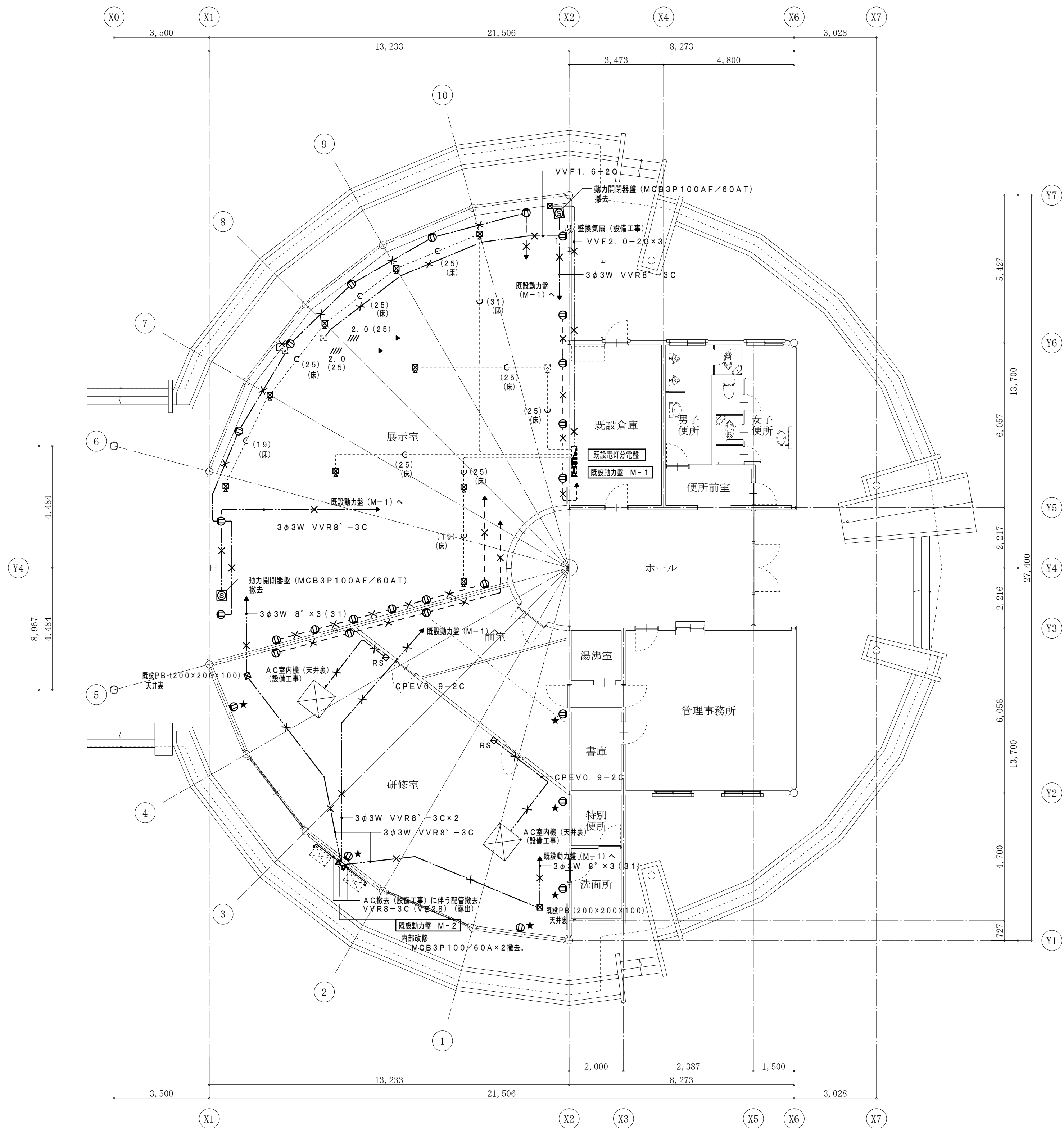


記号	器具名称	仕様	参考図	器具仕様
A43	傾斜天井LEDダウンライト 550形	LED内蔵クワコア (U&L) タイプ、電源ユニット内蔵、一般仕様タイプ 調光可能範囲 (約5%~100%)、3000K、Ra85、拡散タイプ 光源寿命: 40000時間 (光束維持率85%) 器具光束: 4790lm、消費電力: 42.4W、電圧: 100~242V 反射板 (上部): プラスチック (ホワイト) 反射板 (下部): アルミダイカスト (シルバーマタリックフッ素処理上) 枠: アルミダイカスト (ホワイト粉体処理上)、径込φ150	パナソニック XND5561AL-L29参考	本体: アルミ・白色塗装 セード: ポリカーボネート・乳白色 消費電力: 22.1W 光束光量: 2570lm 色温度: 300K 器具高さ: 50mm 器具幅: 25mm 重: 0.8kg
B31	傾斜天井LEDダウンライト 350形	LED内蔵クワコア (U&L) タイプ、電源ユニット内蔵、一般仕様タイプ 調光可能範囲 (約5%~100%)、3000K、Ra85、拡散タイプ 光源寿命: 40000時間 (光束維持率85%) 器具光束: 3445lm、消費電力: 30.7W、電圧: 100~242V 反射板 (上部): プラスチック (ホワイト) 反射板 (下部): アルミダイカスト (シルバーマタリックフッ素処理上) 枠: アルミダイカスト (ホワイト粉体処理上)、径込φ150	パナソニック XND3561AL-L29参考	本体: アルミ・ファインホワイト セード: ポリカーボネート・乳白色 消費電力: 16.4W/22.4W 色温度: 3500K
F22	ベースライト	ベースライト	コイズミ AH50561参考	G9: コイズミ XH14265L参考 G17: コイズミ XH14265L参考 G33: コイズミ XH14265L参考
H3	ベースライト	ベースライト	コイズミ AL92047L参考	消費電力: 43.2W 定格光束: 400lm 色温度: 2700K 重: 1.0kg 器具高さ: 11mm 器具仕様書用ケーブル1m×1個 器具仕様書用ケーブル4m×1個 器具仕様書用ケーブル6m×1個 器具仕様書用ケーブル2m×3個 器具仕様書用ケーブル3個
G9	ベースライト	L=300		
G17	ベースライト	L=600		
G33	ベースライト	L=1200		
H4	ベースライト	L=500		
I8	LEDスポットライト 100形電球1灯器具相当	電球色 (2700K)、Ra83 器具光束: 60lm、消費電力: 4W、電圧: 100V 拡散タイプ、壁掛・天井・埋込対応専用 セード: アルミダイカスト (ホワイト) 照射方向可動型、可動範囲上290度 回転方向300度	パナソニック LGB84550KLE1参考	
KB	LED B級・BH形 逆口誘導灯片面型	LED誘導灯コンパクトスクエア B級・BH形 片面型 壁掛型 一般型 (20分間) ニールム赤外線電球 リモコン自己誘導機能付 型式認定番号: 1AL111-3305	SH1-FBC20-BH	

照明器具姿図

記号	器具名称	仕様	参考図	器具仕様
SP-1	壁埋込スピーカー (ATT付き)	壁埋込スピーカー	壁埋込スピーカー (ATT付き) 参考図	定格入力: 3W (3.3kV) 出力音圧レベル: 91dB (1W/1m) 周波数特性: 150Hz~18kHz (標準20dB) 埋込スピーカー: 8cmワイドレンジコンスピア 仕様書: 仕様書 音響調整: 4段階

弱電機器姿図

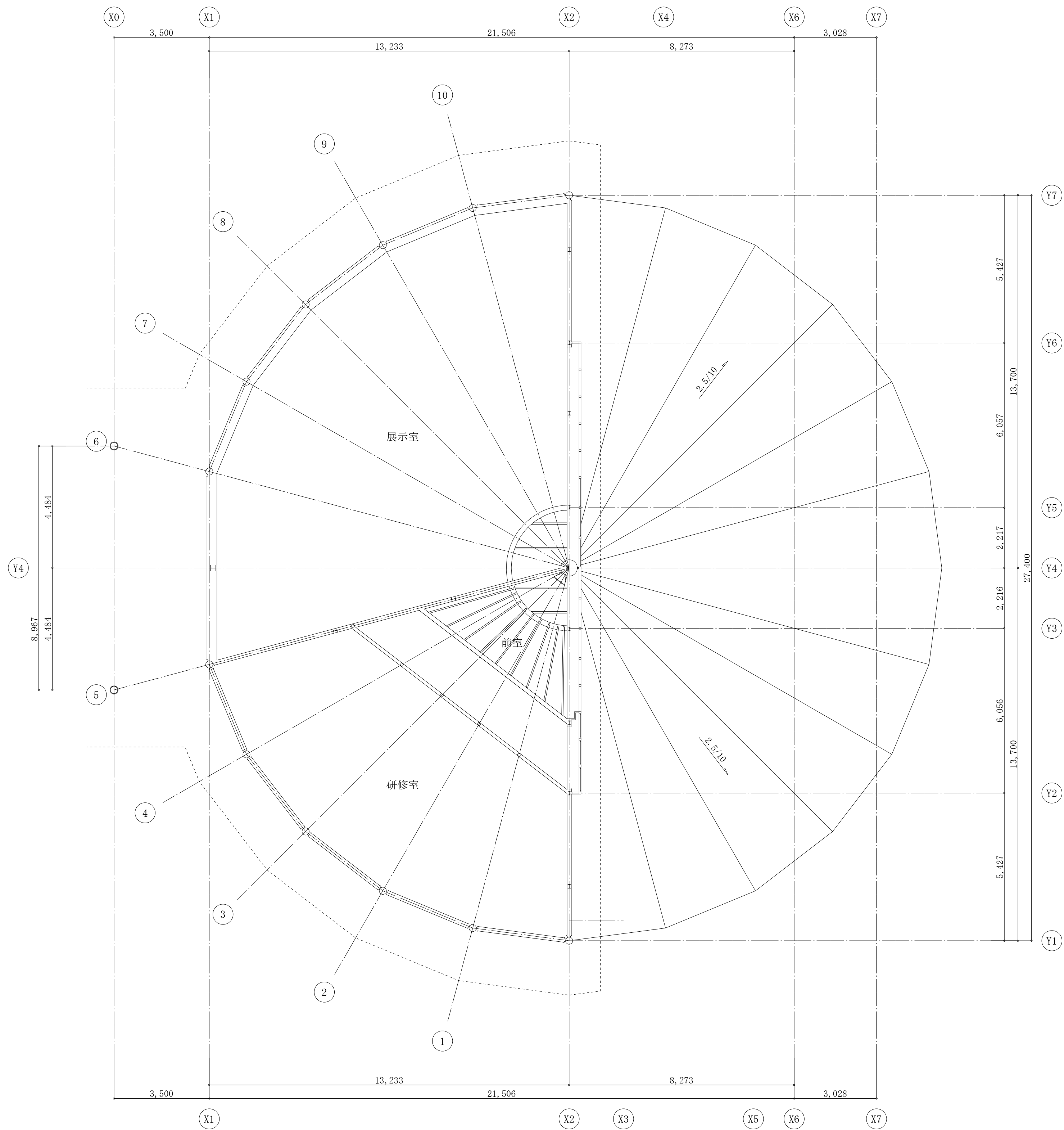


注記1) 特記なき配管配線は下記とする		注記3)
2.0x2(19)	天井内配線	
VVF2.0-2C	天井内配線	
いんべい配管	条数及びサイズは傍記	凡 例
いんべい配管	条数及びサイズは傍記	× 撤去を示す。
既設配管配線	天井内配線	★ 新品に取替えを示す。(改修工事)
	床内配線	⊙ コンセント 2P15A x 1
		⊙ コンセント 2P15A x 2
		⊙ フロアボックス (プレートのみ撤去)
		⊙ RS 空調リモコンSW
注記2)		
1) 箇中に於いて実線・破線・二点鎖線部分の機器及び配管配線は撤去(処分)を示す。		
2) 箇中に於いて点線部分の機器及び配管配線は現状保存を示す。		
3) 既設撤去工事に於いて、箇面に無き配管配線でも、今回工事で支障なき必要ものは撤去するものとする(打合せによる)。但し撤去不可能な配管等は現状のままとする。		

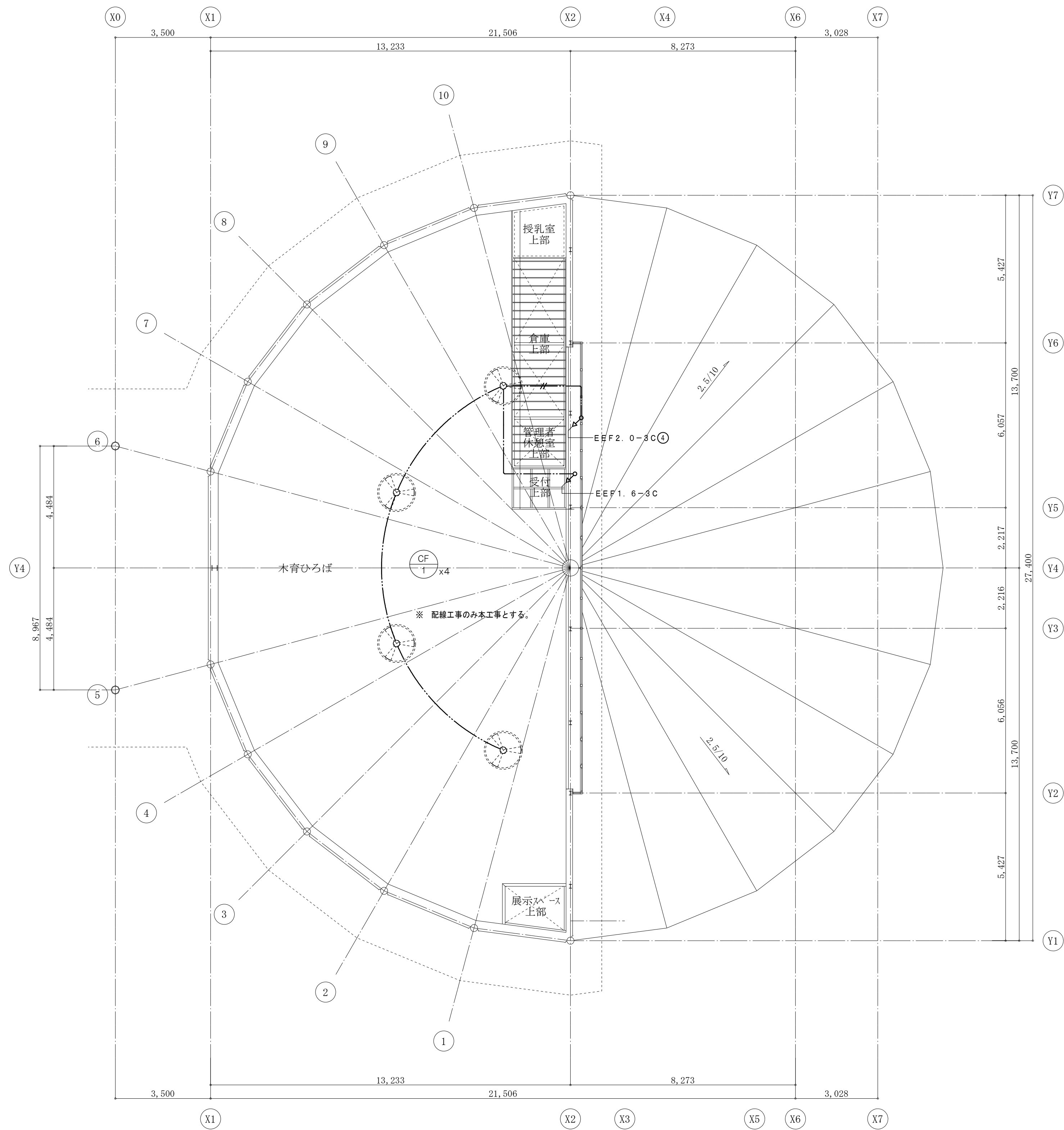
平面図(改修前)  
S=1/100(A1)・1/200(A3)

注記1) 特記なき配管配線は下記とする		注記3)
EEF2.0-3C(1C-E)(PF22)	床内配管	
EEF1.6-3C(1C-E)	床内配管	
EEF2.0-3C(1C-E)	床内配管	凡 例
既設配管配線		⊙ 2P15A x 2 コンセント
		⊙ 2P15A x 2 接地極付コンセント
		⊙ 2P15A x 2 接地極付コンセント 屋外防滴型
		⊙ 2P15A x 2 アップ型コンセント 床用
注記2)		
1) 箇中に於いて点線部分は既設配管配線を示す。		
2) 箇中に於いて二点鎖線部分はケーブル配線(天井)を示す。		
3) 箇中に於いて破線部分は床下・床内を示す。		
4) ケーブル配線に於いて壁立上げ、引下げ箇所は電線管(PF管)にて保護とする。		
5) 総本スペース・高台I・高台II・高台IIIコンセント取付工法は建築詳細図参考とする。		
		☆ 既設配線との接続を示す。
		G ガードプレート(キー付き)を示す。
		WG コンセント用継手及びガードプレート(キー付き)を示す。

平面図(改修後)  
S=1/100(A1)・1/200(A3)



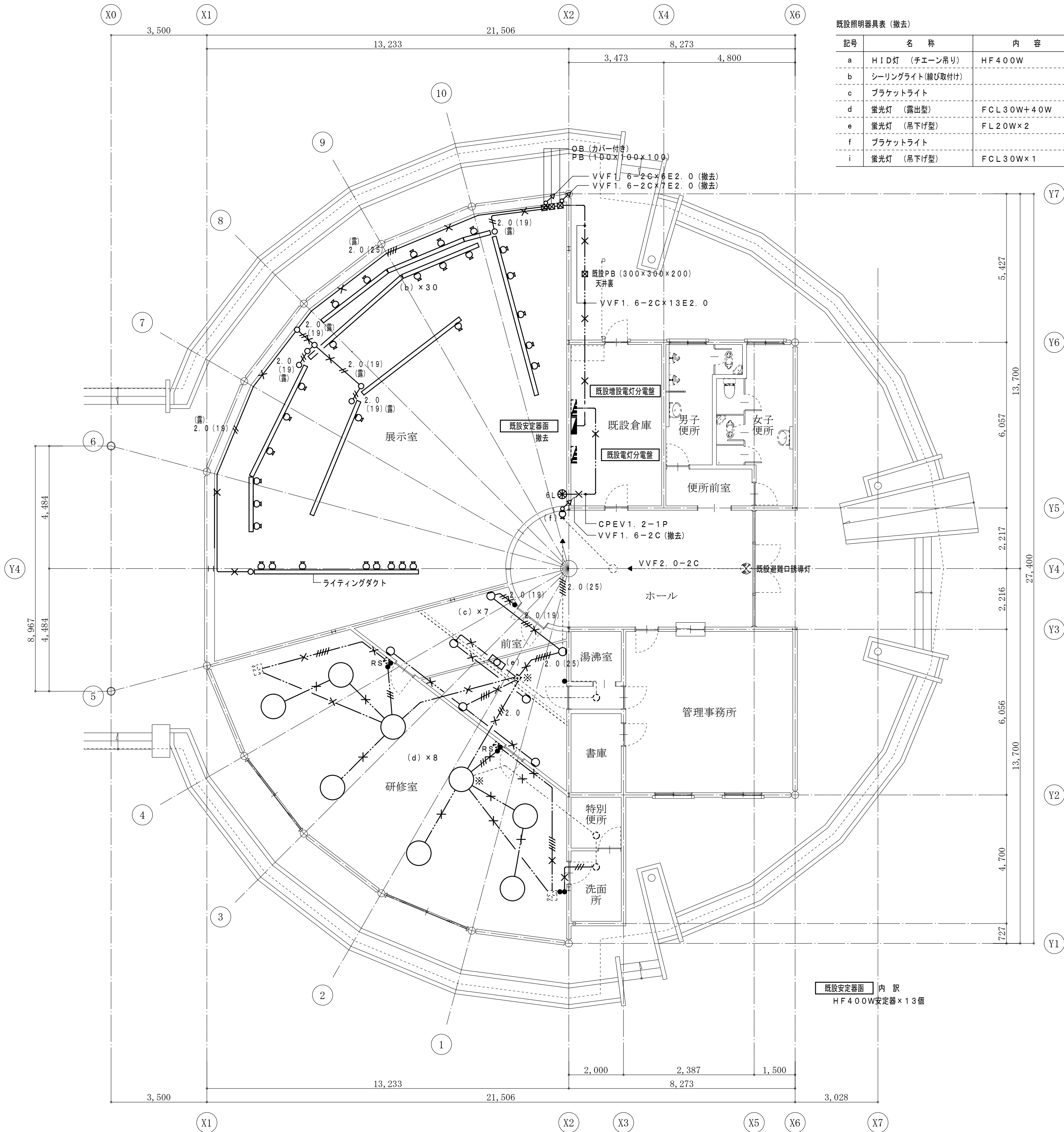
上部平面図(改修前)  
S=1/100(A1)・1/200(A3)



設備負荷表			
記号	負荷名	容量	備考
CF-1	サイクル扇	1φ100V 60.0VA	設備工事(将来工事)

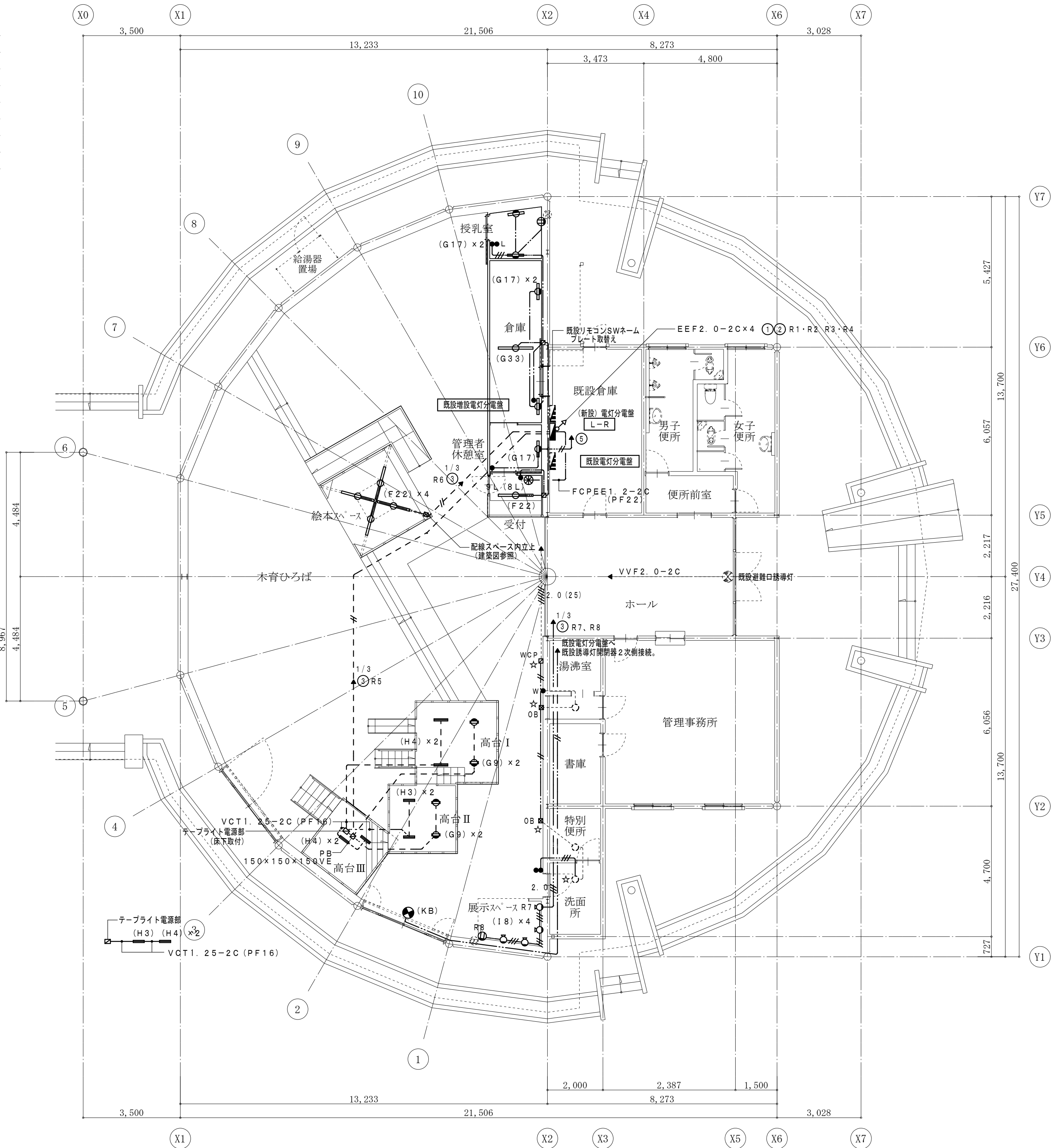
上部平面図(改修後)  
S=1/100(A1)・1/200(A3)

記号	名称	内容	台数
a	HID灯 (チーン吊り)	HF400W	13
b	シーリングライト (横び取付)		30
c	ブラケットライト		7
d	蛍光灯 (露出型)	FCL30W+40W	8
e	蛍光灯 (吊下げ型)	FL20W×2	1
f	ブラケットライト		2
i	蛍光灯 (吊下げ型)	FCL30W×1	2



既設安定器内訳  
HF400W安定器×13個

平面図 (改修前)  
S=1/100 (A1)・1/200 (A3)



—	EEF1. 6-3C (1C-E)	天井内配線
- - -	EEF2. 0-3C (1C-E)	"
—	EEF1. 6-2C×2 (1C-E)	"
- - -	EEF1. 6-2C+1. 6-3C (1C-E)	"
- - -	EEF2. 0-2C×2 (1C-E)	"
- - -	EEF1. 6-3C (1C-E) (PF22)	床下配管
- - -	EEF2. 0-3C (1C-E) (PF22)	床内配管
—	既設配管配線	

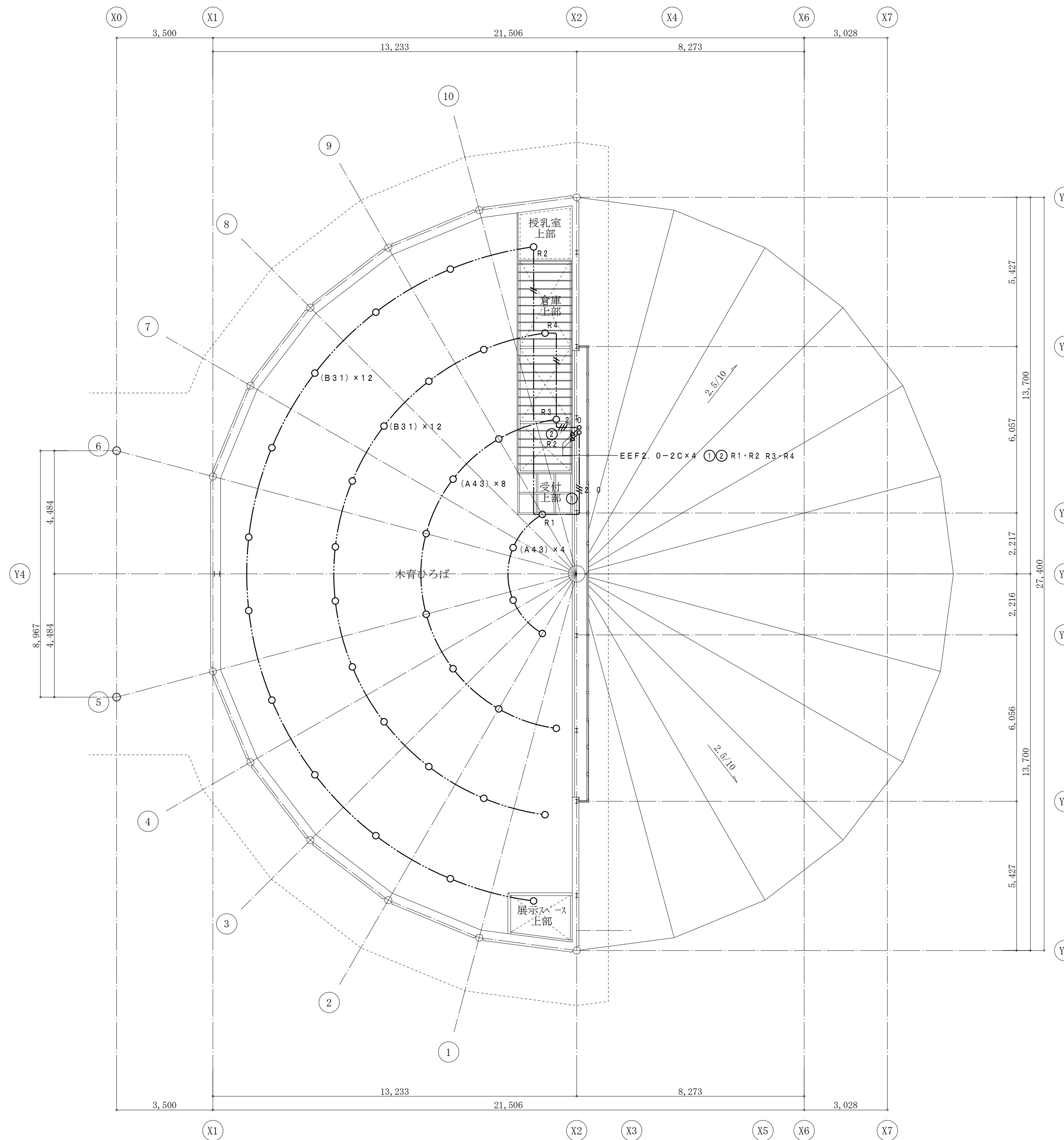
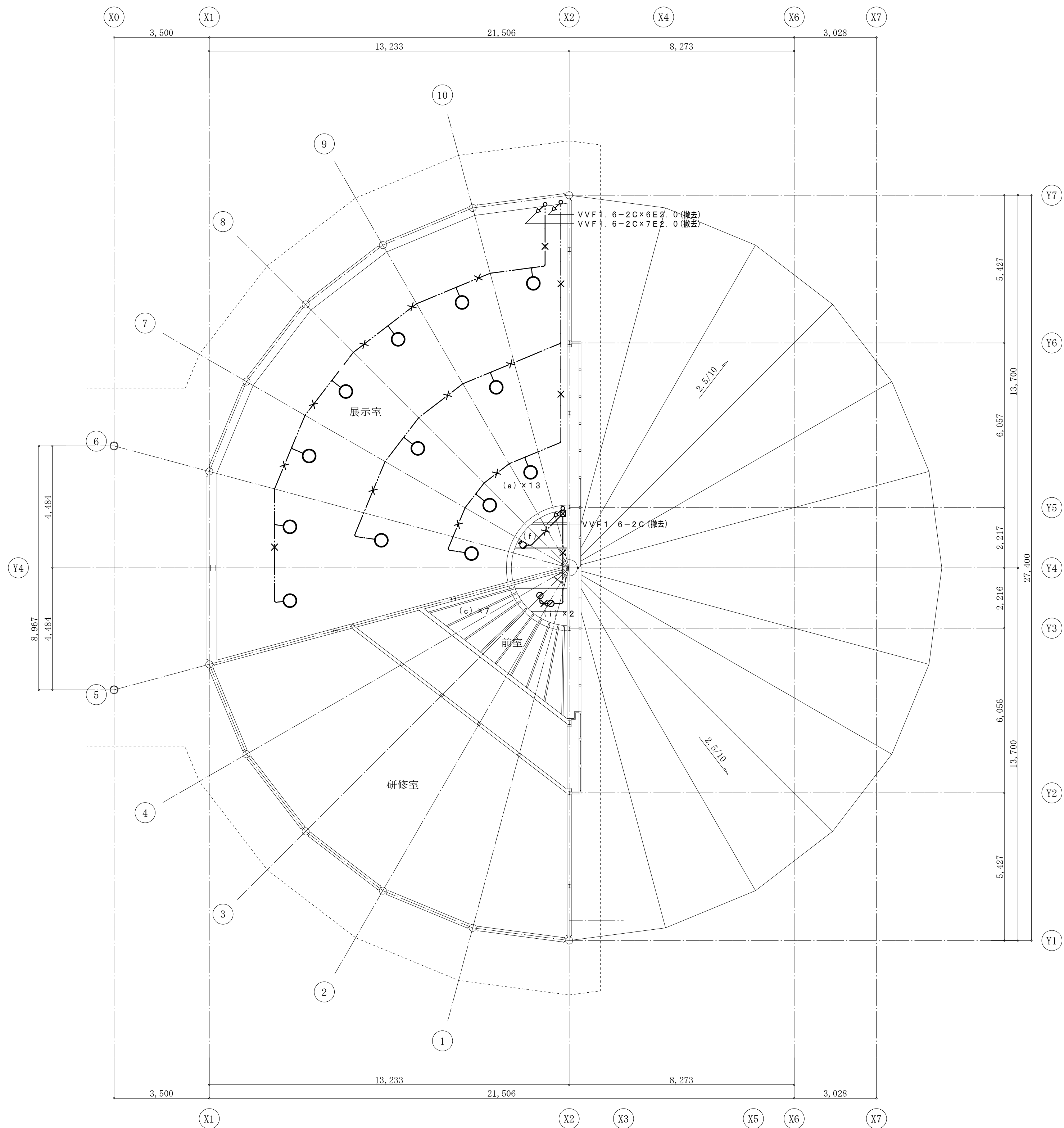
  

1)	箇中に於いて点線部分は既設配管配線を示す。
2)	箇中に於いて二点線部分はケーブル配線 (天井・露出) を示す。
3)	ケーブル配線に於いて壁立上げ、引下げ箇所は電線管 (PP管) にて保護とする。
4)	給本スペース・高台I・高台II・高台III照明器具取付工法は建築詳細図参照とする。

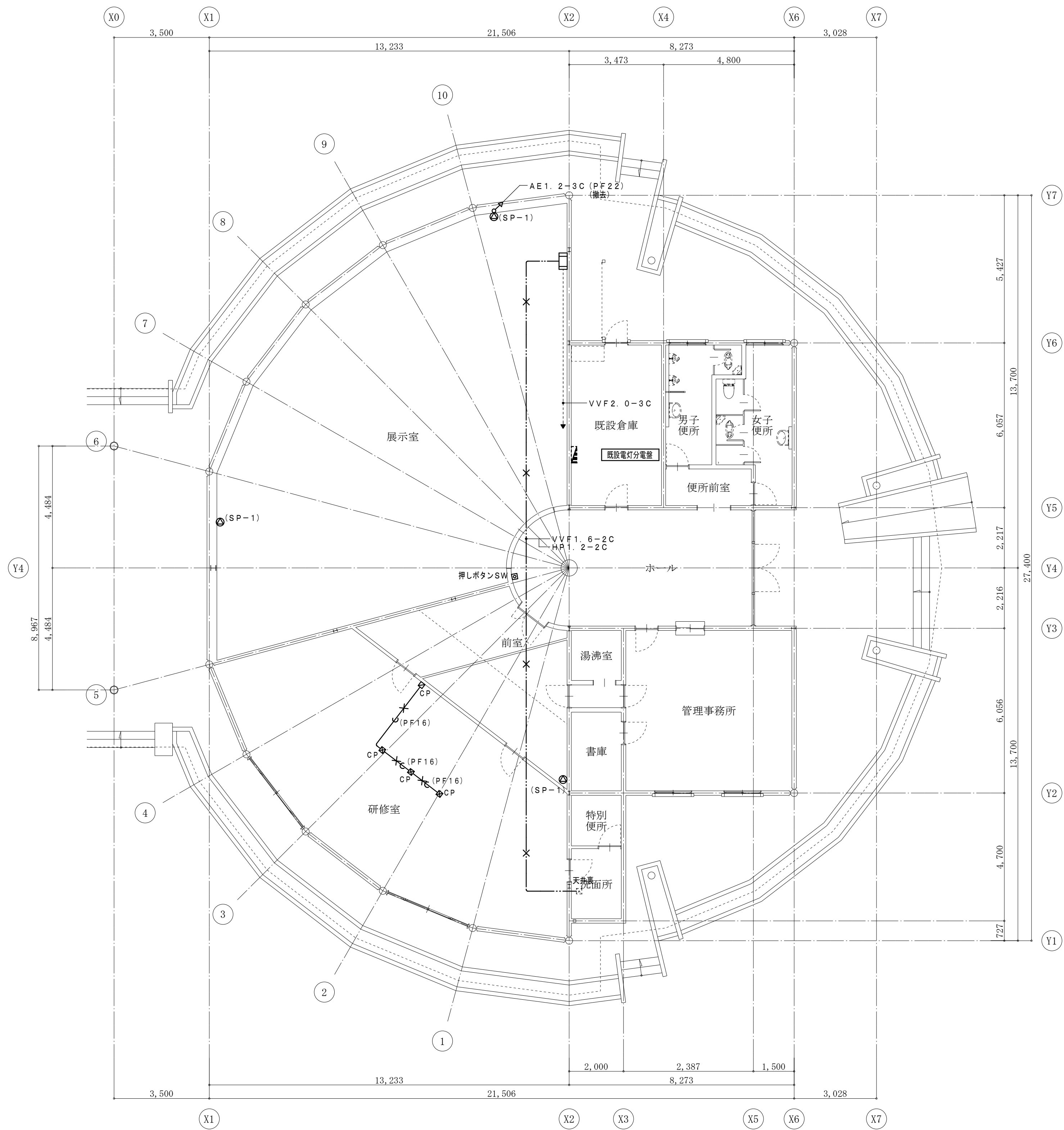
凡例	
×	撤去を示す。
★	新品に取替えを示す。(改修工事)
※	既設ケーブル切り離しを示す。
⊙RS	ACリモコン (設備工事)

平面図 (改修後)  
S=1/100 (A1)・1/200 (A3)



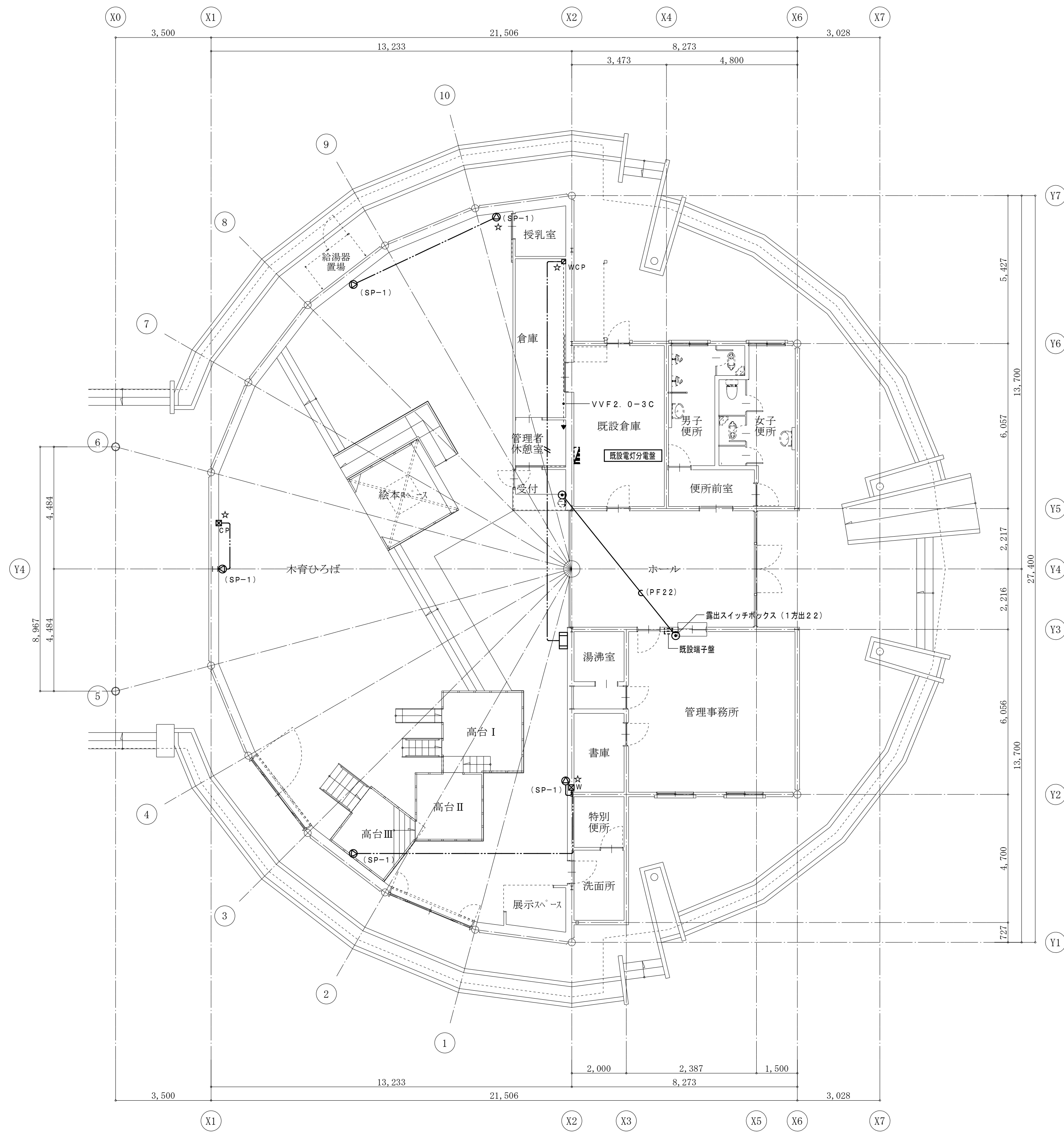
上部平面図(改修前)  
S=1/100(A1)・1/200(A3)

上部平面図(改修後)  
S=1/100(A1)・1/200(A3)



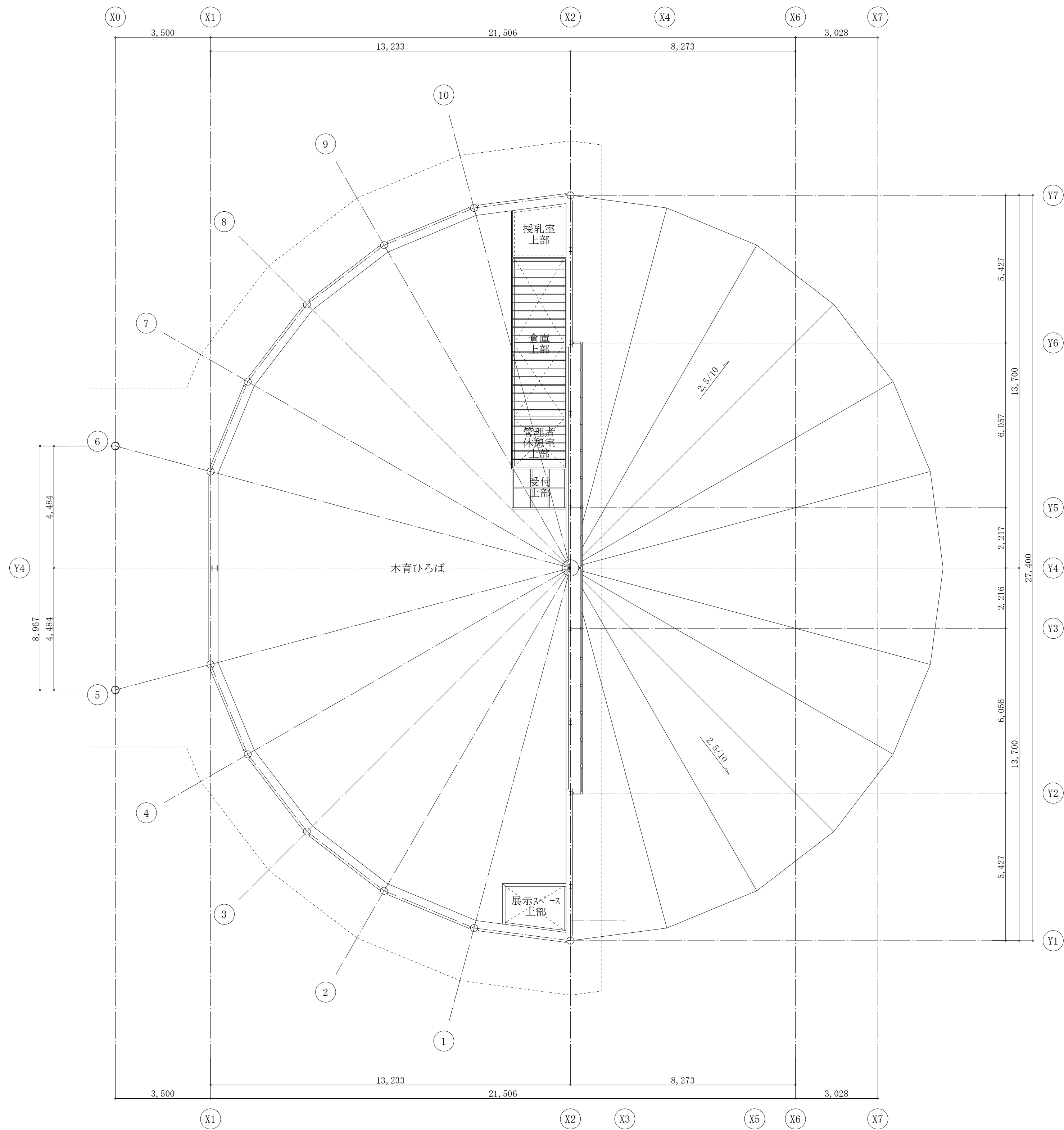
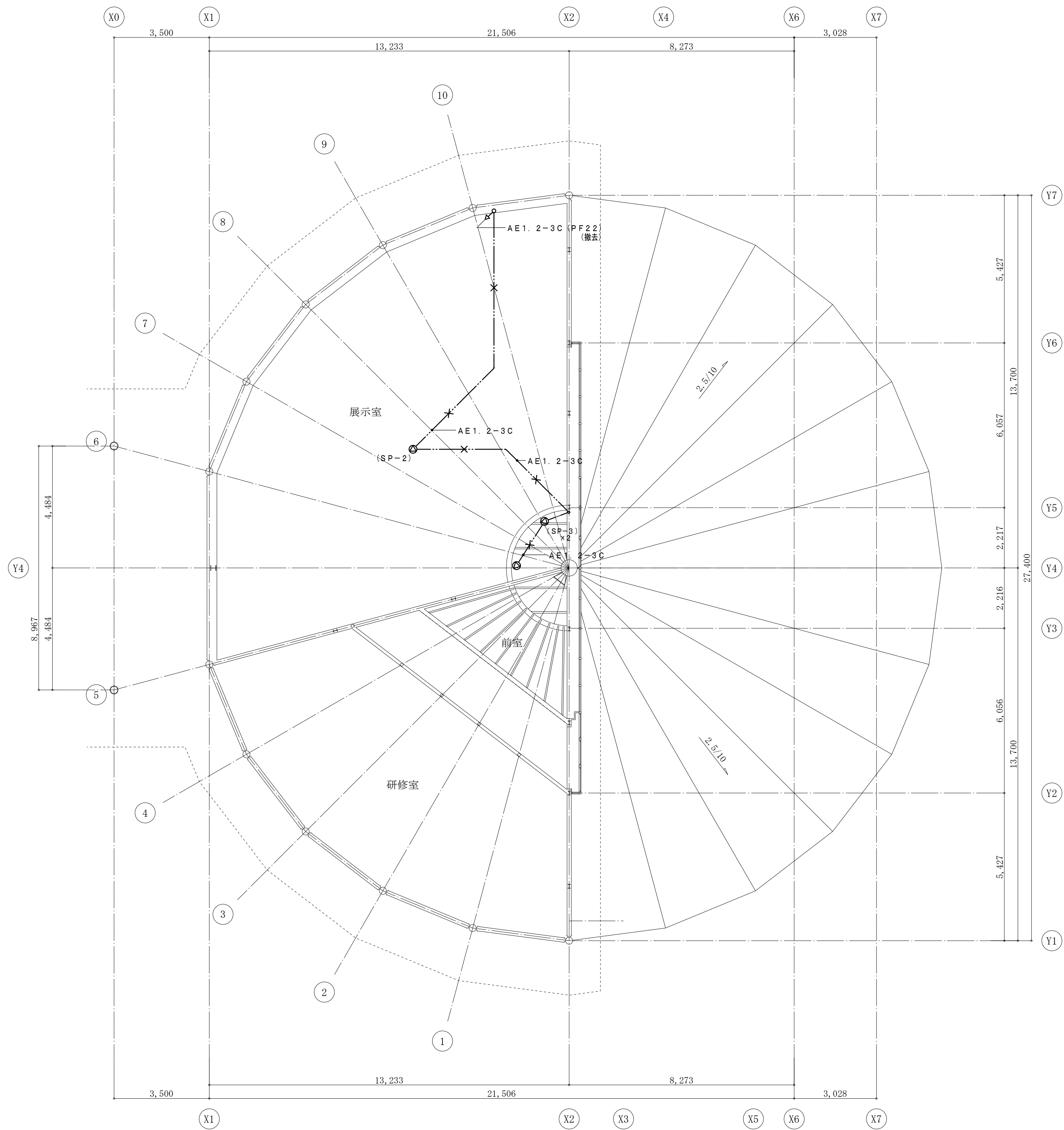
注記1) 特記なき配管配線は下記とする		注記3)	
---	天井内配線	凡例	
---	いんべい配管 条数及びサイズは傍記	×	撤去を示す。
- - -	いんべい配管 条数及びサイズは傍記	□	非常警報器 (複合型・壁掛型・縦取付型) 非常電池内蔵型
----	既設配線配管 条数及びサイズは傍記	⊙	(SP-1) 埋込型スピーカー
		⊙	(SP-2) 天井吊下型スピーカー
		⊙	(SP-3) 壁掛型スピーカー
注記2)			
1) 箇中に於いて実線機器及び配管配線は撤去 (処分) を示す。			
2) 箇中に於いて点線部分の機器及び配管配線は現状保存を示す。			
3) 既設撤去工事に於いて、箇面に無き配管配線でも、今回工事で支障なき不要なものは撤去するものとする (行合せによる)。但し撤去不可能な配管等は現状のままとする。			

平面図 (改修前)  
S=1/100 (A1)・1/200 (A3)



注記1) 特記なき配管配線は下記とする		注記3)	
---	天井内配線	凡例	
---	いんべい配管 条数及びサイズは傍記	×	撤去を示す。
- - -	いんべい配管 条数及びサイズは傍記	□	非常警報器 (複合型・壁掛型・縦取付型) 非常電池内蔵型
----	既設配線配管 条数及びサイズは傍記	⊙	(SP-1) 埋込型スピーカー
		⊙	(SP-2) 天井吊下型スピーカー
		⊙	(SP-3) 壁掛型スピーカー
注記2)			
1) 箇中に於いて点線部分の機器及び配管配線は撤去 (処分) を示す。			
2) 箇中に於いて点線部分のケーブル配線 (天井) を示す。			
3) ケーブル配線に於いて壁立上げ、引下箇所は電線管 (PF管) にて保護とする。			

平面図 (改修後)  
S=1/100 (A1)・1/200 (A3)



上部平面図(改修前)  
S=1/100(A1)・1/200(A3)

上部平面図(改修後)  
S=1/100(A1)・1/200(A3)







図示記号

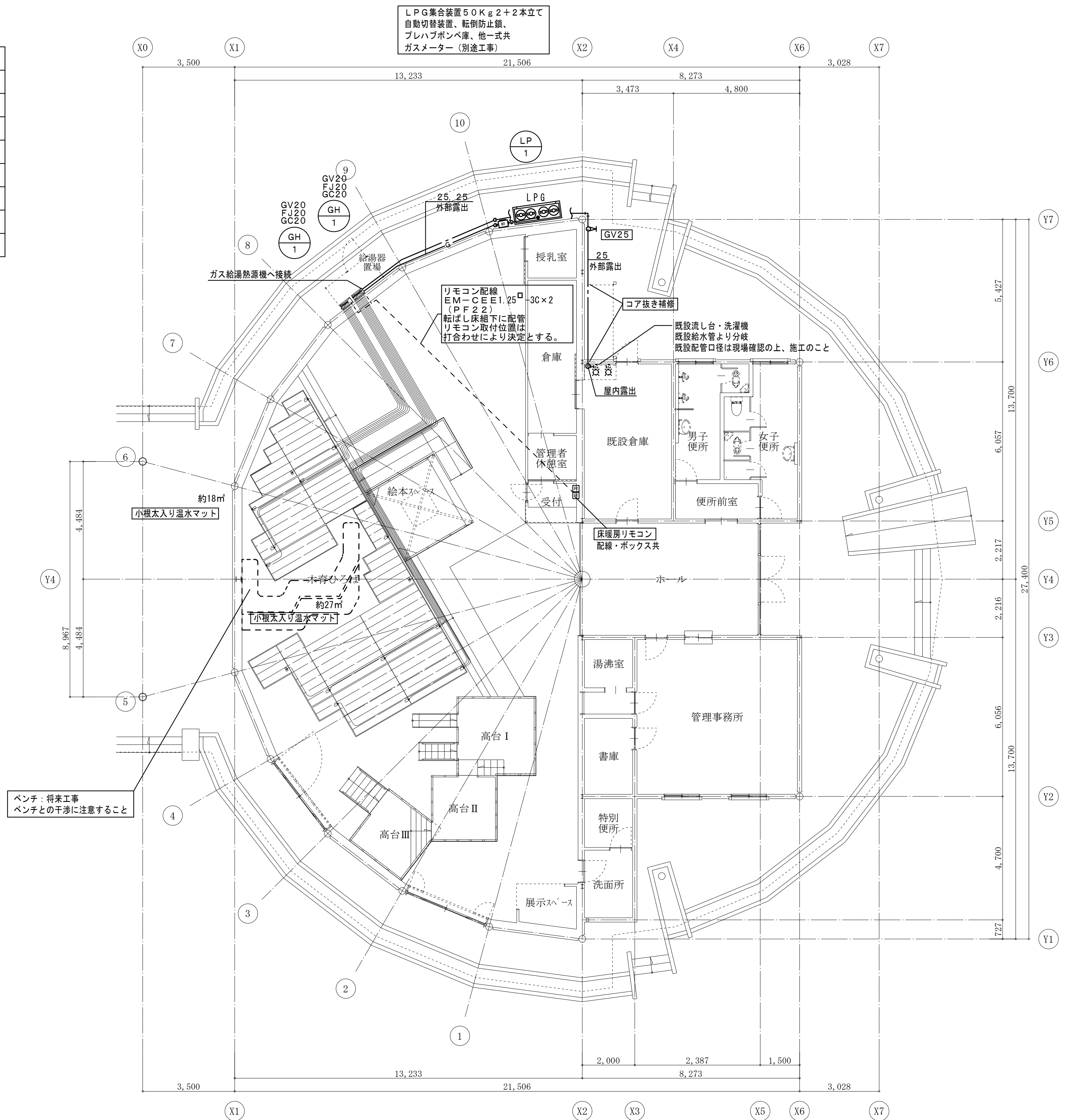
記号	名称	備考
— — — —	給水管	
— — — —	排水管	
- - - - -	通気管	
—   — — —	給湯管	
— G — — —	ガス管	
— R — — —	冷媒配管	
— D — — —	ドレン配管	
— — — —	ダクト	

記号	名称	備考
□	給水栓	
⊗	弁類	
⊖	床上掃除口	
⊙	排水金物	

衛生機器表

記号	名称	形式・仕様	電源	台数	設置場所	備考
GH 1	ガス給湯暖房熱源機 (床暖房用)	形式：屋外壁掛形 暖房能力：11.6kW 消費量：LPG 14.0kW 付属品：据置台、配管カバー、排気カバー、床暖房リモコン、他必要部材一式共	1φ100V 14.0W	2	屋外	配線・ボックス共
LP 1	LPガスボンベ庫 LPガス集合装置	鋼板製ボンベ庫収納庫（前後パネル、全面シャッター付）乙種防火仕様 50kgボンベ4本（2+2本）用 50kgボンベ2+2本用自動切替装置付属品一式 転倒防止鎖共 ガスメーター（別途工事）		1	屋外 基礎：建築工事	

注記）電気容量値等は参考とする



床暖房器具表

品名	仕様	個数	備考	品名	仕様	個数	備考
コンパクト熱源ヘッダー		2		小根太入り温水マット	2076 x 2121	1	
ヘッダー6SB		1		小根太入り温水マット	864 x 2727	1	
展りヘッダー9P		1		小根太入り温水マット	1773 x 606	1	
止水栓		2		小根太入り温水マット	1773 x 1515	1	
GH止水栓		3		小根太入り温水マット	1167 x 1212	1	
小根太入り温水マット	561 x 909	1		小根太入り温水マット	2682 x 909	1	
小根太入り温水マット	1470 x 1515	1		小根太入り温水マット	2076 x 2424	2	
小根太入り温水マット	2076 x 1818	2		小根太入り温水マット	561 x 909	1	
小根太入り温水マット	864 x 606	1		小根太入り温水マット	1773 x 2424	2	

リモコン取付位置は参考として別途打合せにより決定とする

凡例	
— — — — —	今回改修箇所を示す
— — — — —	今回既存箇所を示す

注記）  
既設配管サイズ、ルートは参考とし現場確認の上、施工のこと。

平面図(改修後)

S=1/100(A1)-1/200(A3)

空調機器表

記号	機器名 (参考型番)	機器仕様	電気容量		台数	設置場所	配線	閉閉器	備考
			電源	消費電力 (kW)					
PAC 1 機器 将来工事	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	形 式 天吊形 同時ツイン 冷房能力 20.0 (4.6~22.4) kW 暖房能力 22.4 (5.6~28.0) kW	3φ 200V	冷房 7.80 暖房 6.98 低溫 7.00	2	木育ひろば x 2 (北)	14.0	50A	
	RPC-AP224GHP7	冷媒配管 内機 液管 9.52φ ガス管 25.4φ 外機 (液9.52φ ガス15.88φ) x 2		圧縮機 4.0 送風機 (内) 0.20x2 送風機 (外) 0.20x2					
		附 属 品 ワイヤードリモコン、昇降グリルキット、 他標準付属品一式共		A P F 4.8					
		基 礎 既製コンクリート基礎、防振ゴム板敷							
PAC 2 機器 将来工事	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	形 式 天吊形 同時ツイン 冷房能力 20.0 (4.6~22.4) kW 暖房能力 22.4 (5.6~28.0) kW	3φ 200V	冷房 7.80 暖房 6.98 低溫 7.00	1	木育ひろば x 2 (南)	14.0	50A	既設RC基礎流用
	RPC-AP224GHP7	冷媒配管 内機 液管 9.52φ ガス管 25.4φ 外機 (液9.52φ ガス15.88φ) x 2		圧縮機 4.0 送風機 (内) 0.20x2 送風機 (外) 0.20x2					
		附 属 品 ワイヤードリモコン、昇降グリルキット、 他標準付属品一式共		A P F 4.8					
		基 礎 (既設RC基礎流用) 防振ゴム板敷							
PAC 3 機器 将来工事	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	形 式 天吊形 冷房能力 20.0 (4.6~22.4) kW 暖房能力 22.4 (5.6~28.0) kW	3φ 200V	冷房 7.80 暖房 6.98 低溫 7.00	1	木育ひろば x 2 (南)	14.0	50A	既設RC基礎流用
	RPC-AP224GH6	冷媒配管 内機 液管 9.52φ ガス管 25.4φ 外機 液管 9.52φ ガス管 25.4φ		圧縮機 4.0 送風機 (内) 0.20x2 送風機 (外) 0.20x2					
		附 属 品 ワイヤードリモコン、昇降グリルキット、 他標準付属品一式共		A P F 4.8					
		基 礎 (既設RC基礎流用) 防振ゴム板敷							

注記) \*1. 室外機-室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。 \*5. リモコンスイッチ用配線は、EM-CEE1. 25□-2C。  
\*2. 電源容量値、配線、閉閉器、備考数値は参考として納入メーカー仕様とする。 \*6. 断熱材被覆銅管 原管はJIS H3300による。  
\*3. 運転特性、能力はJIS条件による。 保温厚はガス管20mm、液管10mm (10φ以下は8mm) とする。  
\*4. 室外機：必要に応じて転倒防止支持金具取付のこと。 \*7. 高調波対策が必要な機器は高調波対策の事。 (\*該当がある場合、付属品に高調波フィルター追加とする)

換気機器表 フードは指定色焼付塗装とし、現場指示とする。

機器番号	機器名称 参考型番	形 式 ・ 仕 様		電 気 容 量	台数	設置場所・備考
				電 源 (V) 電 動 機 (W)		
CF 1 機器 将来工事	サイクル扇	形 式	天吊形	1φ-100	4	木育ひろば
	C140	羽 径	140 cm	60.0		
		風 量	14200 m <sup>3</sup> /h			
		付 属 品	天吊金具 (斜め天井取付)、速度調節器			
F 1	壁付換気扇	形 式	格子形 電気式シャッター	1φ-100	1	木育ひろば (授乳室)
	EX-20EK7	ダクト径	200 φ	13.5		
		風 量	480 m <sup>3</sup> /h			
		付 属 品	SUSウエザーカーバー (防鳥網付)、取付枠、他一式共			
FE 1	有圧換気扇	形 式	低騒音形 電動式シャッター	1φ-100	1	木育ひろば
	EWf-35CSA	ダクト径	350 φ	113.0		
		風 量	2000 m <sup>3</sup> /h			
		付 属 品	SUSウエザーカーバー (防鳥網付)、電動式シャッター、 取付枠、他一式共			
OA 1	給気グリル	形 式	給気グリル (フィルター付) 壁付	--	2	木育ひろば
	P-23GHF4	ダクト径	200 φ	--		
		付 属 品	SUS深形フード (防虫網付)、他一式共			

注記 図示24Hと表記は24時間換気とし、記載風量を確保する運転とする。  
フードは指定色焼付塗装とし、現場指示とする  
図示FDと表示は防火ダンパー取付とする。

既設機器表 (撤去)

記号	名 称	形 式	数量	設置場所	備 考
AC 1	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン	形 式 天井カセット形 冷房能力 10.0 kW相当 基 礎 RCコンクリート基礎 (既設のまま)	2	研修室	撤去 冷媒回収破壊処理
AC 2	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン	形 式 床置形 冷房能力 20.0 kW相当 基 礎 既製基礎共 撤去	2	展示室	撤去 冷媒回収破壊処理

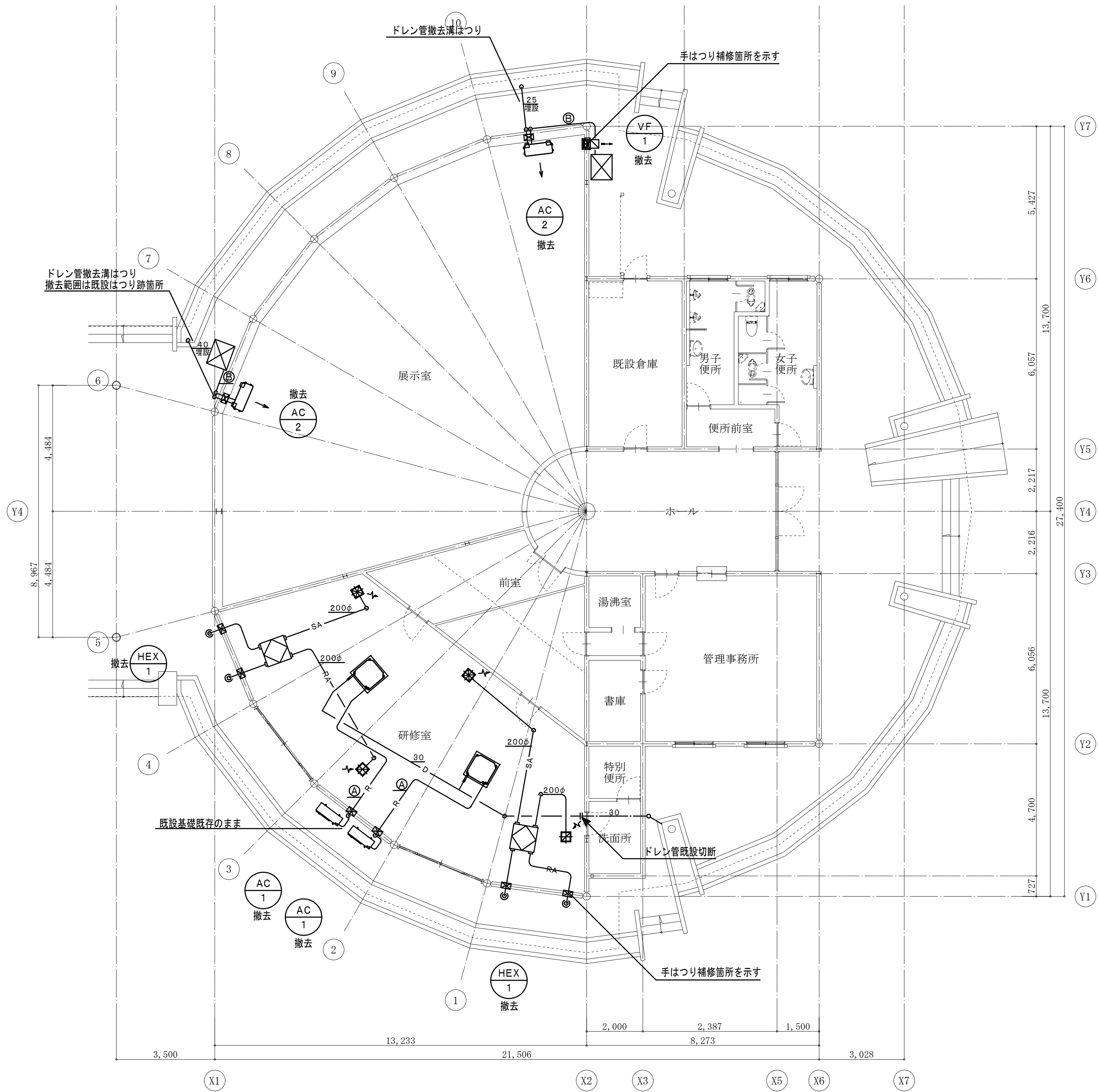
備考 容量等は参考値とする

既設機器表 (撤去)

記号	名 称	形 式	数量	設置場所	備 考
VF 1	壁付換気扇	形 式 壁付形 羽根径 20cm 付属品 ウェザーカバー、他一式共	1	展示室	撤去
HEX 1	空調換気扇	形 式 天井埋込型 風 量 430m <sup>3</sup> /h 付属品 給排気グリルx2、バンドキャップx2、リモコン、他一式共	2	研修室 x 2	撤去

既設機器表 (既存)

記号	名 称	形 式	数量	設置場所	備 考
VF 1	壁付換気扇	形 式 壁付形 羽根径 20cm 付属品 ウェザーカバー、他一式共	2	男子便所 女子便所	既存のまま

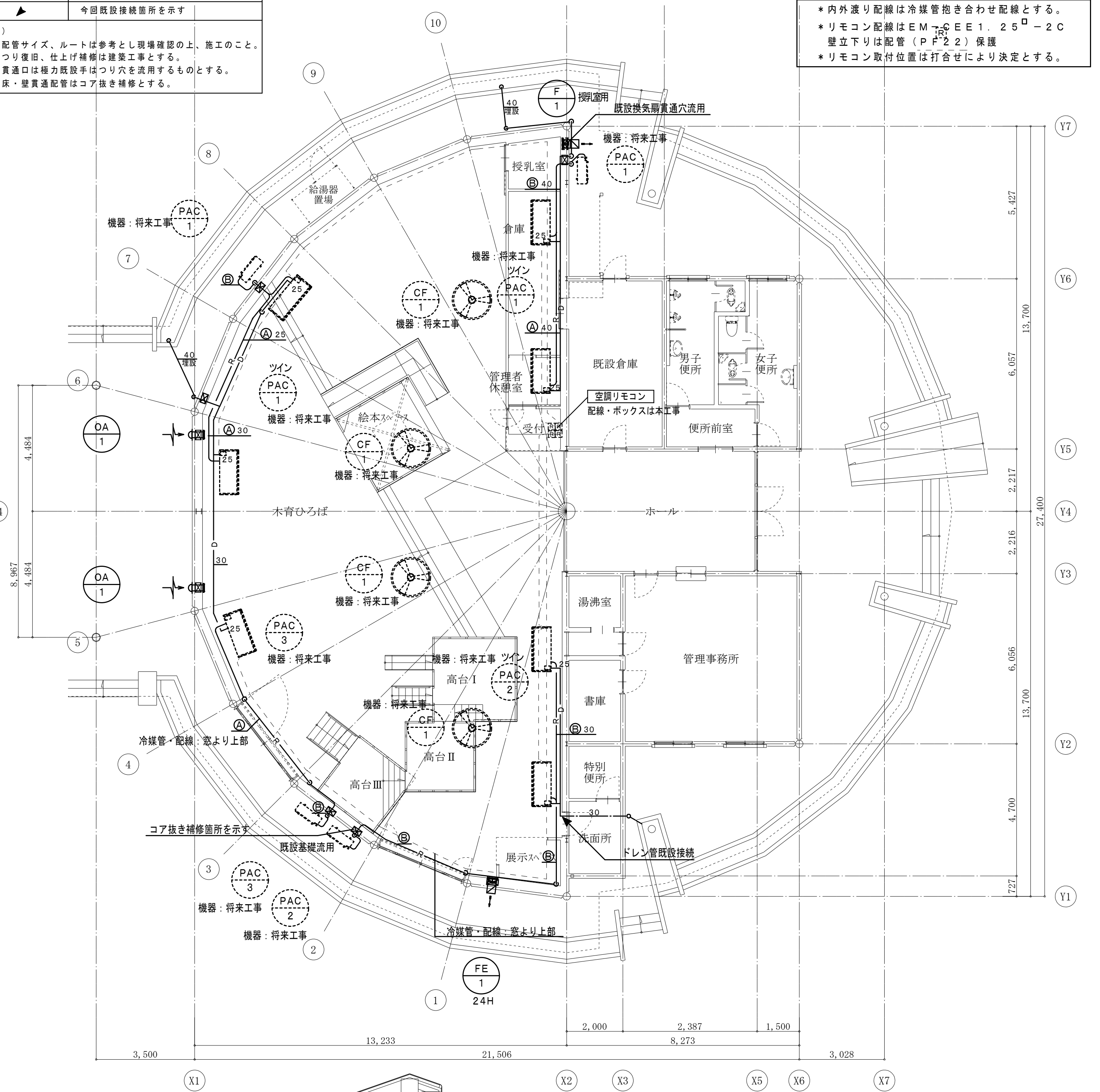


凡例	
—	今回改修箇所を示す
---	今回既存箇所を示す
---	将来工事箇所を示す
⊗	コア抜き補修箇所を示す
☒	既設手はつり穴流用箇所を示す
▲	今回既設接続箇所を示す

注記)  
 既設配管サイズ、ルートは参考とし現場確認の上、施工のこと。  
 床はつり復旧、仕上げ補修は建築工事とする。  
 配管貫通口は極力既設手はつり穴を流用するものとする。  
 既存床・壁貫通配管はコア抜き補修とする。

冷暖配管配線セットサイズ表 (参考)			
記号	液	ガス	連絡配線
Ⓐ	9.5φ	15.9φ	EM-C EE 2 <sup>□</sup> -3C
Ⓑ	9.5φ	25.4φ	EM-C EE 2 <sup>□</sup> -3C

リモコンスイッチ (将来工事)  
 リモコン配線  
 \*内外渡り配線は冷暖管抱き合わせ配線とする。  
 \*リモコン配線はEM-C EE 1.25<sup>□</sup>-2C  
 壁立下りは配管 (PF 2.2) 保護  
 \*リモコン取付位置は打合せにより決定とする。

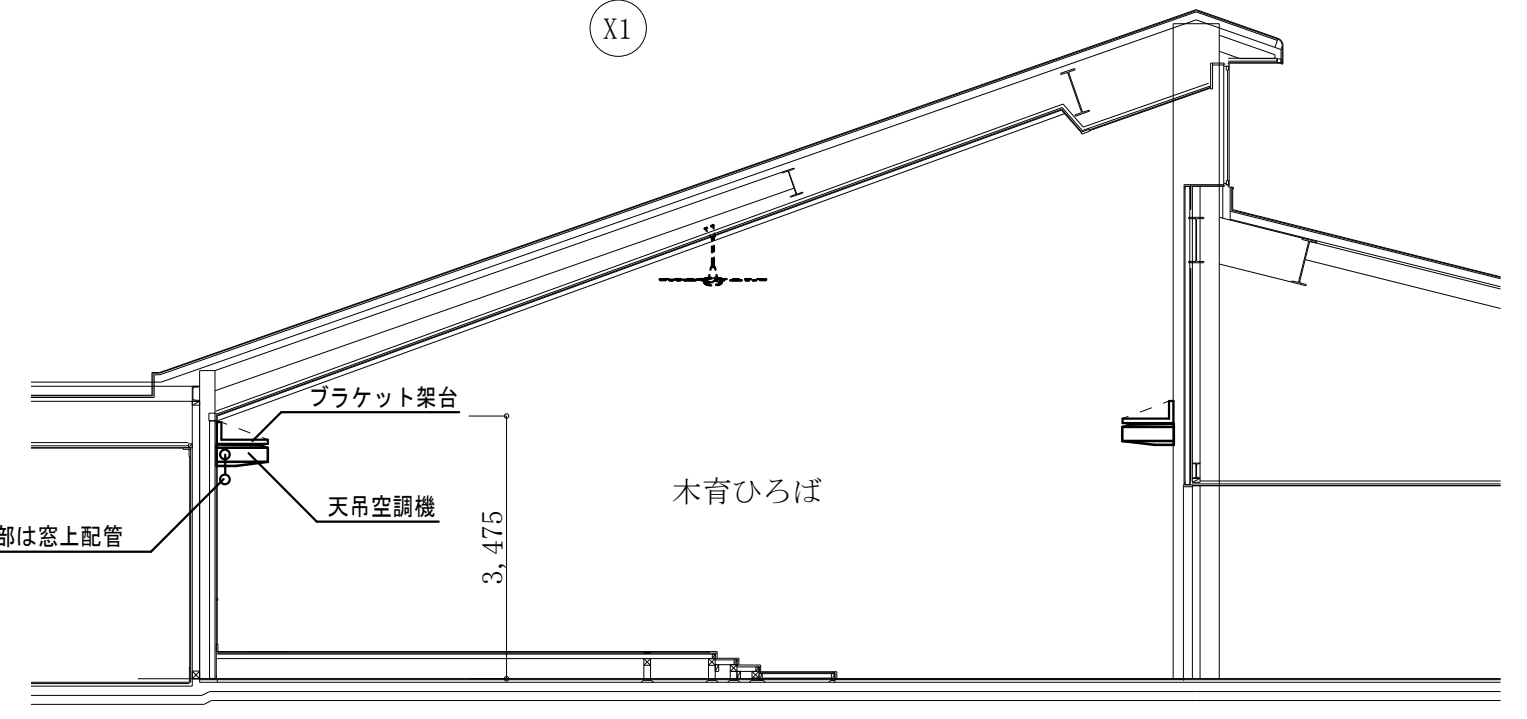


凡例	
—	今回撤去箇所を示す
---	今回既存箇所を示す
×××	今回既存放棄箇所を示す
⊗	今回手はつり箇所を示す
▲	今回既設切断箇所を示す

注記)  
 既設配管サイズ、ルートは参考とし現場確認の上、施工のこと。  
 既存床・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。  
 土間はつり復旧、仕上げ補修は建築工事とする。  
 床はつり復旧、天井解体復旧、仕上げ補修は建築工事とする。

冷暖配管配線セットサイズ表 (参考)		
記号	液	ガス
Ⓐ	9.5φ	15.9φ
Ⓑ	9.5φ	19.1φ

内外渡り配線、リモコン、配線共撤去  
 平面図 (改修前)  
 S=1/100 (A1)・1/200 (A3)



参考断面図

平面図 (改修後)  
 S=1/100 (A1)・1/200 (A3)